大学番号:私264 注3

[平成31年度設置]

計画の区分: 学部の設置

注1



広島経済大学 経営学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人石田学園 令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

職名・氏名 課長補佐 西川 美江

電話番号 082-871-1000

(夜間) 082-871-1000

F A X 082-871-1005

e -mail ssc@hue.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・ 短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経営学部

< 紅	Y 営学科>																	\ °	ージ
1.	調査対象大学等の概要等 ・・	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	13
4.	既設大学等の状況・・・・・・	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 4
5.	教員組織の状況 ・・・・・・	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
6.	附帯事項等に対する履行状況等		•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	33
7.	その他全般的事項 ・・・・・	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	34
<>>	スポーツ経営学科>																	^ ∘	ージ
1.	調査対象大学等の概要等 ・・	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	37
2.	授業科目の概要 ・・・・・・	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	41
3.	施設・設備の整備状況、経費	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	49
4.	既設大学等の状況・・・・・・	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	50
5.	教員組織の状況 ・・・・・・	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	51
6.	附帯事項等に対する履行状況等		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	67
7.	その他全般的事項 ・・・・・	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	68

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人石田学園

- (2) 大 学 名 広島経済大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒731-0192 広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(イシダ ツネオ) 石田 恒夫 (現職就任平成11年9月)		
学 長	(オダニ ユキオ) 小谷 幸生 (現職就任平成29年4月)		
学 部 長	(ヤナガワ カズマサ) 柳川 和優 (現職就任平成31年4月)		
学科長等	(ヌカヤヒデキ) 糠谷 英輝 (現職就任平成31年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30) 令和元年度に報告する内容 → (元)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)です</u>が、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	畑 右
経営学部 経営学科 学士(経営学)	経済学関係	年 4	310	年次 人 一	1, 240	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	令和力	元年度	f	介和 2	2 年度		令	和:	3年	芰	令和	和 4	年月	隻	令	和5	5年原	叓	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	7	春季入学	その他の学期	春季	入学	その他の	学期	春季入	、学	その他	の学期	春季入	、学	その他の	の学期	春季刀	(学	その他	の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1)用	45
		人 3	人 10		人		人		人		人		人		人		人		人				
Α	入学定員	(-	-)	(()		()	())	(,)				
		Į-	-]	L				L]	L]	L]				
		1, 313	_																				
Ī	志願者数	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()				
		[20]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]				
		1, 304	_																				
ě	受験者数	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()	1. 00倍	倍		
		[20]	Γ—1	Г	1	١r	1	Γ	1	Γ	1	ſ	i	Γ	1	Γ	1	Γ	1	1.001百	10		
		704		<u> </u>		_		_		_		-	_			-		-	-				
1	合格者数	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()				
		[20]	[-]	Ì	j	Ē	ĺ	Ī	ĺ	[j	Ĺ	j	[j	[j	Ī	j				
		313				_	-		_		_	-	_		_		_		_				
В	入学者数	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()				
		[10]	[-j	Ĺ	í]	ĺ	Ī	ĺ	Ĺ	ĺ	į	j	į.	j	[ĺ	Ĺ	j				
入学	学定員超過率 B/A		00	_			-			-	_				_	-		-	_				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	令和元	元年度	令和	2 年度	令:	和3	3年度	令和]4	年度		令和5	5年	度	備考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	≛ その他の学期	春季入	(学	その他の学期	春季入	学そ	の他の学期	春:	季入学	その他	也の学期	
		313	_													
	1 年次	[10]	[-]	[]] []	[]	[]	[] []	[]	[]	
		(-)	(-)	()	()	()	()								
	2 年次			[]] []	[]	[]	[] []	[]	[]	
				()	()	()	()	())	()	()	()	
							_		_			_				
	3 年次					L]	[]	[] [.]	[]	L]	
				_		()	()	())	()	()	()	
	4 5 7 7 7								_	, ,		_	,	_	,	
	4 年次					_	/		L] [.]	[]]	
			10						()	()	()	()	
	= ⊥		13	_	_	_		_	_			١.	_		_	
	計		0]	[]			,	L]	اا	L		7	
		(-	-)	()	()	()	(()	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数

 を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				±=0		
	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	 '者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
対象年度			入学した年度	25.7	うち留学生数	(笛子生の理由は』書き)
令和元年度	313 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	1	人	令和元年度	人	人	
77412年度	人	^	令和2年度	人	人	
			令和元年度	人	Д	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
17414千尺			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
- (5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

 令和元年度の退学者数(a)
 =
 0

 令和元年度の在学者数(b)
 313
 =
 0

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科	目	155 ME 74 C = 5 76	配当		单位数				員等			兼任
区		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
土力	小基	∴枚苯≅∧ T	.	修	択	由	授	授	師	教	手	担
100	国礎	必修英語A I 必修英語A Ⅱ	1前	1								7
排記	吾科 斗目	必修英語BI	1後	1								
\ E	1	必修英語BII	1前 1後	1								9
Ę		必修英語C I	1通	1								2
ß		必修英語CⅡ	2通	1								1
芦 斗		英語理解•基礎徹底 I	2前	'	1							2
ŧ		英語理解·基礎徹底 II	2後		1							2
五		英語理解·標準 I	2前		1							3
		英語理解・標準Ⅱ	2後		1							3
		英語理解·発展I	2前		1							2
		英語理解·発展Ⅱ	2後		1							2
		英語表現·基礎徹底 I	2前		1							2
		英語表現·基礎徹底 II	2後		1							2
		英語表現·標準 I	2前		1							5
		英語表現•標準Ⅱ	2後		1							5
		英語表現·発展I	2前		1							1
		英語表現・発展 Ⅱ	2後		1							1
		海外研修英語 I	1前		1							1
		海外研修英語Ⅱ	1後		1							1
		ビジネス英語 I	1前		1							1
		ビジネス英語 Ⅱ	1後		1							1
		基礎英会話 I	1前		1							1
		基礎英会話Ⅱ	1後		1							1
		発展英会話 I	1前		1							1
		発展英会話 Ⅱ	1後		1							1
		資格英語 I	1前		1							2
		資格英語Ⅱ	1後		1							2
		資格英語Ⅲ	1前		1							1
		資格英語Ⅳ	1後		1							1
		Academic Writing in English	2休		1							1
		フランス語I	1前		1							1
		フランス語 II ドイツ語 I	1後		1							1
		ドイツ語エ	1前		1							1
		トイン語 I スペイン語 I	1後		1							1
		スペイン語Ⅱ	1前		1							1
		中国語 I	1後 1前									1
		中国語Ⅱ	1後		1							1
		韓国語 I	1前		1							1
		韓国語Ⅱ	1後		1							1
		インドネシア語 I	1前		1							1
		インドネシア語 Ⅱ	1後		1							1
		小計(43科目)	-	6	37	0						30
r	日	日本語文章表現	1前・後	2								11
	本語	文章検演習	4前・後			2						2
	文	ビジネス日本語演習	1前・後		2							3
	章 表	日本語演習·標準	1前・後		2							1
	現	文章表現演習·標準	1前・後		2							4
	科 目	日本語演習·発展	2前		2							1
		文章表現演習·発展	2前・後		2							1
L	#-	小計(7科目)	-	2	10	2						11
	自己	日本の歴史 I	1前		2							1
	理	日本の歴史Ⅱ	1前		2							1
	解系	日本の歴史Ⅲ	1後		2							1
	科	広島の歴史と文化	1後		2							2
	目	日本の思想と文化	1前		2							1
		日本の宗教	1後		2							1
		日本の地理	1前・後		2							1
		日本の法律	1後		2							1
1		日本の政治	1前・後		2							1

【令和元年度】

			配	È	单位数	女	専	任教]員等	の配	置	兼任
科区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
共産		必修英語A I	1前	1								7
科語	5科	必修英語AⅡ	1後	1								7
目科	目	必修英語B I	1前	1								9
全	1	必修英語BⅡ	1後	1								9
学部		必修英語C I	1通	1								2
学		必修英語CⅡ	2通	1								1
科共		英語理解・基礎徹底 I	2前		1							2
通		英語理解·基礎徹底Ⅱ ####################################	2後		1							2
)		英語理解·標準I	2前		1							3
		英語理解・標準Ⅱ	2後		1							3
		英語理解·発展 I 英語理解·発展 II	2前		1							2
		英語表現•基礎徹底 [2後		1							2
		英語表現·基礎徹底 II	2前		1							2
		英語表現·標準I	2後		1							3
		英語表現·標準 II	2前 2後		1							3
		英語表現·発展I	2前		1							1
		英語表現・発展Ⅱ	2後		1							1
	1	海外研修英語 I	2饭 1前		1							1
		海外研修英語Ⅱ	1後		1							1
		ビジネス英語 I	1前		1							1
		ビジネス英語Ⅱ	1後		1							1
		基礎英会話 I	1前		1							1
		基礎英会話Ⅱ	1後		1							1
		発展英会話 I	1前		1							1
		発展英会話Ⅱ	1後		1							1
		資格英語 I	1前		1							2
		資格英語Ⅱ	1後		1							2
		資格英語Ⅲ	1前		1							1
		資格英語Ⅳ	1後		1							1
		Academic Writing in English	2休		1							1
		フランス語 Ι	1前		1							1
		フランス語 II	1後		1							1
		ドイツ語 I	1前		1							1
		ドイツ語 Ⅱ	1後		1							1
		スペイン語 I	1前		1							1
		スペイン語 Ⅱ	1後		1							1
		中国語 I	1前		1							1
		中国語Ⅱ	1後		1							1
		韓国語 I	1前		1							1
	1	韓国語Ⅱ	1後		1							1
	1	インドネシア語 I	1前		1							1
	1	インドネシア語 II	1後	_	1							1
L		小計(43科目)	-	6	37	0						28
	日 本	日本語文章表現	1前・後	2								11
	語	文章検演習	4前・後		_	2						2
	文 章	ビジネス日本語演習	1前・後		2							3
	表	日本語演習・標準	1前・後		2							1
	現 科	文章表現演習・標準	前・後		2							3
	目	日本語演習·発展 文章表現演習·発展	2前		2							1
		小計(7科目)	2前・後	n	2	0						1
۱þ	自	小計(/科日) 日本の歴史 I	1前	2	10	2						12
	己	日本の歴史Ⅰ日本の歴史Ⅱ	1前 1前		2							
	理 解	日本の歴史Ⅲ	1前 1後		2							1
	系	広島の歴史と文化	1後		2							2
	科 目	日本の思想と文化	1前		2							1
	7	日本の宗教	1後		2							1
		日本の地理	1前・後		2							1
		日本の法律	1後		2							1
		日本の政治	1前・後		2							1
5					_							<u> </u>

Γ			配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
-	- / 3		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	科自	日本国憲法 I	1前		2							1
通科	目己理	日本国憲法Ⅱ	1後		2							1
目	解											
へ 全	系	小計(11科目)	ı	0	22	0						9
学	他者	世界の歴史 I	1前		2							2
部学	理	世界の歴史Ⅱ	1後		2							2
科	解系	世界の思想と現代社会 I	1前・後		2							1
共通	科	世界の思想と現代社会 II			2							1
\sim	目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1 111		2							1
		世界の宗教	1前		2							2
		世界の地理Ⅰ	1後		2							1
		世界の地理Ⅱ	1前		2							1
		世界の憲法	1後		2							1
		小計(9科目)	-	0	18	0						8
	基	社会心理学	1後	Ť	2	Ť						1
	礎教	生命倫理	1前		2							1
	養	日本文学A	1前		2							1
	科目	日本文学B	1後		2							1
	П	外国文学A	1後		2							3
		現代社会と人権	1後		2							1
		環境法	1後		2							1
		テクノロジーと社会・経済	1前		2							1
		情報とネットワーク社会	1後		2							1
		数学A	1前		2							1
		数学B	1後		2							1
		数学C	2前		2							1
		自然科学A	1前		2							1
		自然科学B	1後		2							1
		自然科学C	1休		2							1
		スポーツ科学	1後		2							1
		健康科学	1後		2							1
		メンタルヘルス論	1後		2							1
		スポーツ実習	1前・後	_	1	_						3
	情	小計(19科目)	1前・後	0	37	0						17
	報	情報処理入門 I 情報処理入門 II	1前・後		2							3
	処理	情報処理の基礎 I	1前・後		2							3
	科	情報処理の基礎Ⅱ	1前・後		2							3
	目	情報処理の基礎Ⅲ	1前		2							ა 1
		情報処理の基礎Ⅳ	1後		2							1
		情報処理の基礎V	1前・後		2							1
		小計(7科目)	-	0	14	0						7
۲		共通科目計		8	138	2						H
L		大学入門ゼミ	1前・後	2			9	4		3		18
全学	1.2	興動人入門ゼミ	1前・後	2			9	4		3		18
部	ゼミ	プレゼミ	2後	2			9	4		3		28
学科	科	演習 I	3通	4			9	4		3		28
共通	目	演習Ⅱ	4通	6			9	4	L	3		28
~		小計(5科目)	-	16	0	0	9	4		3		36
		ガミ科日計		16	Λ	٥		,			,	

	_		配	<u>í</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任				配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	↓目 ☑分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助			科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担				次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
共	科自	日本国憲法 I	1前		2							1	共	科自	日本国憲法 I	1前		2							1
週科	目己 理	日本国憲法Ⅱ	1後		2							1		目目		1後		2							1
目	解												Ē	角	日本外交史	1前		2							1
へ 全	系	小計(11科目)	-	0	22	0						9	全	3	小計(12科目)	-	0	24	0						10
学部	他	世界の歴史 I	1前		2							2	学	他	世界の歴史 I	1前		2							1
部学	者理	世界の歴史Ⅱ	1後		2							2	部学	理	世界の歴史 II	1後		2							1
科	解	世界の思想と現代社会 I	1前・後		2							1	科	解	世界の思想と現代社会 I	1前・後		2							1
共通	系科	世界の思想と現代社会 II	1後		2							1	共通	系科	世界の思想と現代社会 II	1後		2							1
$\overline{}$	目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2							1	Ü	目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2							1
		世界の宗教	1前		2							2			世界の宗教	1前		2							2
		世界の地理 I	1後		2							1			世界の地理 I	1後		2							1
		世界の地理Ⅱ	1前		2							1			世界の地理Ⅱ	1前		2							1
		世界の憲法	1後		2							1			世界の憲法	1後		2							1
		1.71/251.77													国際関係史	1後		2							1
		小計(9科目)	-	0	18	0						8			小計(10科目)	-	0	20	0						8
	基礎	社会心理学	1後		2							1		基礎	社会心理学	1後		2							1
	教	生命倫理	1前		2							1		教	生命倫理	1前		2							1
	養科	日本文学A	1前		2							1		養科	日本文学A	1前		2							1
	目	日本文学B	1後		2							1		目	日本文学B	1後		2							
		外国文学A	1後		2							3			外国文学A	1後		2							3
		現代社会と人権 環境法	1後		2										現代社会と人権 環境法	1後		2							
		^{環境法} テクノロジーと社会・経済	1後		2							1			^{環境広} テクノロジーと社会・経済	1前		2							
		情報とネットワーク社会	1前 1後		2							1			情報とネットワーク社会	1前 1後		2							1
		数学A	1版 1前		2							1			数学A	1前		2							<u>'</u>
		数学B	1後		2							1			数学B	1後		2							
		数学C	2前		2							1			数学C	2前		2							;
		自然科学A	2 m 1前		2							1			自然科学A	2m 1前		2							1
		自然科学B	1後		2							1			自然科学B	1後		2							1
		自然科学C	1休		2							1			自然科学C	1休		2							1
		スポーツ科学	1後		2							1			スポーツ科学	1後		2							1
		健康科学	1後		2							1			健康科学	1後		2							1
		メンタルヘルス論	1後		2							1			メンタルヘルス論	1後		2							1
		スポーツ実習	1前・後		1							3			スポーツ実習	1前・後		1							3
		小計(19科目)	-	0	37	0						17			小計(19科目)	-	0	37	0						17
	情	情報処理入門 I	1前・後		2							3		情	情報処理入門 I	1前・後		2							3
	報処	情報処理入門Ⅱ	1前・後		2							3		報処	情報処理入門Ⅱ	1前・後		2							3
	理	情報処理の基礎 I	1前・後		2							2		理	情報処理の基礎 I	1前・後		2							2
	科日	情報処理の基礎Ⅱ	1前・後		2							3		科目	情報処理の基礎Ⅱ	1前・後		2							3
	_	情報処理の基礎Ⅲ	1前		2							1		_	情報処理の基礎Ⅲ	1前		2							1
		情報処理の基礎Ⅳ	1後		2							1			情報処理の基礎Ⅳ	1後		2							1
		情報処理の基礎V	1前・後		2							1			情報処理の基礎V	1前・後		2							1
		小計(7科目)	_	0	14	0						7			小計(7科目)	-	0	14	0						7
		共通科目計		8	138	2									共通科目計	-	8	142	2						
_		大学入門ゼミ	1前・後	2			9	4		3		18	_		大学入門ゼミ	1前・後	2			9	4		3		18
全学	ゼ	興動人入門ゼミ	1前・後	2			9	4		3		18	全学	ぜ	興動人入門ゼミ	1前・後	2			9	4		3		18
部学	111	プレゼミ	2後	2			9	4		3		28	部学	111	プレゼミ	2後	2			9	4		3		28
全学部学科共通	ミ科目	演習 I	3通	4			9	4		3		28	全学部学科共通	科目	演習 I	3通	4			9	4		3		28
通	-	演習Ⅱ	4通	6			9	4		3		28	通		演習Ⅱ	4通	6			9	4		3		28
Ľ		小計(5科目)	-	16	0	0	9	4		3		36	ľ		小計(5科目)	-	16	0	0	9	4		3		36
L		ゼミ科目計		16	0	0							L		ゼミ科目計	-	16	0	0						

程度分 授業科目の名言 授業科目の名言 授業科目の名言 財業 科目の名言 財	Px 前後前後 - 前後前後 - 前後前後 - 後前前 - 前後 - 2 2 2 1 2 2 1 2 2 1 1	必 修 0 0 0 0 0	選 4 4 4 4 4 8 4 2 2 8 4 4 4 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	自 由 0 0 0	教授 1 1 1	准教授	講師	助 教	助手	任 ・ 兼担 1 1 1 1 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
カ開発科目 (全学部学科共通) 解	1前後前後 - 前後前後 - 前後前後 - 前後前前 - 前後 2 2 2 前 - 2 1 2 2 前 - 2 2 1 元 2 2 元 - 元 前 2 2 元 - 元 前 2 元 - 元	0 0 0 0 0 0	4 4 4 16 4 8 4 2 2 8 4 4 4 8 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0 0	1		師	教	手	担 1 1 1 1 3 3 3 1 1 1 1 1 1
カ開発科目 (全学部学科共通)	1後 1 1後 - 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1	0 0 0 0	4 4 4 16 4 8 4 2 2 8 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0						1 1 1 3 3 3 1 1 1 1 1
開発 開発 開発 開発 開発 開発 開発 開	1前後 - 2前後 - 2前後 - 2前 - 2前 - 2前 - 2前 - 2前 - 2前 - 2前	0 0 0 0	4 4 16 4 4 8 4 2 2 8 4 4 4 8 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0						1 1 3 3 3 1 1 1 1 1
科目 (全学部学科共通)	1後 - 2前後 - 1後前前 - 2前 - 2前 - 2前 - 2前 - 2前 - 2前 - 2前	0 0 0 0	4 16 4 4 8 4 2 2 8 4 4 4 8 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0						1 3 3 1 1 1 1 1
日 (全 財務語) (4 科目) (全 学 部 学 1	- 2前 2後 1後 2前 2前 2前 2前 2前 - 2前 - 2前 - 2前	0 0 0 0	16 4 4 8 4 2 2 8 4 4 4 8 2 2 1 XIX	0 0						1 3 3 1 1 1 1 1
全学部学科共通 () 不	2後 - 1後前前 - 前2 2前 - 2前 - 2前 - 2 	0 0 0 0	4 4 8 4 2 2 8 4 4 4 8 2 2	0 0						3 3 1 1 1 1 1
学 部 当 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2後 - 1後前前 - 前2 2前 - 2前 - 2前 - 2 	0 0 0	4 8 4 2 2 8 4 4 8 2 2	0						3 1 1 1 1 1 1
学 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	- 1後 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2前 2 = 2 = 2 =	0 0 0	8 4 2 2 8 4 4 8 2 2	0						3 1 1 1 1 1
科共通 (2科目) (3科目) (3AHI) (3	2前 - 2前 2前 2後 - 2前 - 2前 - 2 	0 0 0	4 2 2 8 4 4 8 2 2 1又は2	0						1 1 1 1 1
英國等 (1 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	2前 - 2前 2前 2後 - 2前 - 2前 - 2 	0 0	2 2 8 4 4 8 2 2	0						1 1 1 1
日 報報	2前 - 2前 2後 - 2前 - 2前 - 2 - 2 	0 0	2 8 4 4 8 2 2	0						1 1 1 1
明 (3科目)	- 1 2 前 2後 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前 - 2 前	0 0	8 4 8 2 2 1×1tt2	0						1 1 1
1	2後 - **投資 2前 - ** 2 - - 2前	0 0	4 4 8 2 2 1又は2	0						1
情報化技術	2後 - **投資 2前 - ** 2 - - 2前	0	4 8 2 2 1又は2							1
	#投資 2前 - 定 2 - - - 2前	0	8 2 2 1又は2							
第一条 資本市場の役割と証明	- 2 - 2 - 2 1	0	2 2 1又は2							1
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	- 2 - 2 - 2 1	0	2 1又は2	0						1
1	_ _ _ _ _ _ _ _	0	1又は2	U						1
# 1	_ _ _ _ _ _ _ _				-					H
能力開発科目計 キ 50	-133		1又は2	0						
キ	-133		43又は	0						
マリック キャリアスキルズ II	-133		2	Ť						1
科 國② 目 ARR 社会人基礎学力基	- 12		2							1
科 開② 社会人基礎学力基		0	4	0						2
口 料職	礎 1前	Ť	2	_						1
			2							1
全 * 小計(2科目)	-	0	4	0						2
学 教職教養	3後		2							1
学 目 思考力開発	3後		2							1
科	-	0	4	0						1
通 日本等 女子学生のためのキャリア形	^{城入門} 1前		2							3
** 小計(144日)	_	0	2	0						3
^{シ ⑤} ッィ インターンシップ I ([国内)2前		2		1					9
タ インターンシップ Ⅱ (別	海外) 3通		4							3
* 小計(2科目)		0	6	0	1					12
学校インターンシッ	プ 2		2							
** 小計(1科目)	_	0	2	0						
キャリア科目計	-	0	22	0						
興 元 わが人生の転機 I (教職動 気)	1 13 3		2		1					1
館 力 わが人生の転機 II (同窓			2		1					1
科 「笑い」のパワー・生き 目 _{神(ZEN)で元気なこころとからだ}			2							2
#(ZEN)で元気なこころとからた 字イフプラン(人生設計)でやる			2							2
学 小計(5科目)	レハ ノハッ 1 前・後	0	10	0	2					7
部	信しよう 1前	٦	2	U						1
科画企画力養成講座	1前		2							1
共 力 経営実践	1休		2							1
連			2							1
プロスポーツによる広島活性	. 133		2							1
「私たちの広島」PR	1 199		2							1
文芸創作実践	1後		2							1
コピーライティング実践			2							1
興動館プロジェクトと企			2							1
人の行動を経済学で読			2							3
小計(10科目)	-	0	20	0						12
行ビジネス・シミュレーション・	ゲーム 1前		2							3
動 身近なボランティア			2							1
NPO・NGOの立ち上げ	と活動 1前		2							1
戦略MG(マネジメントゲ			2							1
興動館プロジェクトの計画	と実施 1前		2							1
興動館プロジェクトの評価	iと改善 1後		2							1
森の社会貢献実践	1休		2							1
興動館プロジェクトの経営			2							1
小計(8科目)	_	0	16	0						6

		配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
能目① 力 税	77, 110 (11)	1前		4							1
開 理発 士	簿記論 Ⅱ 財務諸表論 I	1後 1前		4							1
科関	財務諸表論Ⅱ	1後		4							1
目 係	小計(4科目)	-	0	16	0						1
全 5.79	資産運用実務 I	2前		4							3
部 第775	資産運用実務Ⅱ	2後		4							3
科 +③	小計(2科目) 不動産実務法務 I	- 1休	0	8	0						3
共 関宅 係地	不動産実務法務Ⅱ	11 小 2前		2							1
) 日物 取	不動産実務法務Ⅲ	2前		2							1
31	小計(3科目)	1	0	8	0						1
関I 係T	IT戦略とマネージメント	2前		4							1
料パ目スポ	情報化技術 小計(2科目)	2後	_	4	•						1
別 へ ① 係 株 野	ブ・61 (214 日 / 資本市場の役割と証券投資	- 2前	0	8	0	1					1
科 · 村 目提證 供券	小計(1科目)	-	0	2	0	1					1
ブ大心 ロ字中 グ校研会 ム修業	中小企業大学校研修プログラム ※受講する科目数によって単位を決定	2		1又は2							
ラ研企 ム作業	小計(1科目)	-	0	1又は2	0						
自	上 力開発科目計	-	0	43又は 44	0						
ヤッチャックラック	キャリアスキルズI	2前		2							1
ヤ グャ リ パック ロ カ カ カ カ カ ン	キャリアスキルズ II 小計(2科目)	2後	0	2	0						2
目製②	社会人基礎学力基礎	1前	_	2	U						1
全科職学日対策	社会人基礎学力応用	1後		2							1
部 は 学	小計(2科目)	ı	0	4	0						2
科関③保教科員	教職教養	3後		2							1
通用規則	思考力開発	3後	_	2	•						1
股 日女名 提女 日子	小計(2科目) 女子学生のためのキャリア形成入門	- 1前	0	2	0						3
間子 係学 料生	小計(1科目)	1 BIJ	0	2	0						3
シ⑤	インターンシップ I (国内)	2前	Ť	2	Ť	1					9
ブン タ ー	インターンシップ Ⅱ (海外)	3通		4							3
ン	小計(2科目)	-	0	6	0	1					12
ブタ® 学 ン 校 シィ ッン	学校インターンシップ	2	_	2	•						
	小計(1科目) キャリア科目計	-	0	22	0						
興 元	わが人生の転機 I (教職員編)	1前	_	2	0	1					1
動気館力	わが人生の転機 II (同窓生編)	1後		2		1					1
科	「笑い」のパワー・生きるカ	1休		2							2
目 ①	揮(ZEN)で元気なこころとからだをつくろう			2							2
全 学	ライフプラン(人生設計)でやる気づくり	1前·後	_	2	•	_					1
部 企	小計(5科目) 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう	- 1前	0	10 2	0	2					7
科共力	企画力養成講座	1前		2							1
通	経営実践	1休		2			1				0
_	みんなで教材を創ろう	1前		2							1
	プロスポーツによる広島活性化講座	1前		2							1
	「私たちの広島」PR実践	1後		2							1
	文芸創作実践コピーライティング実践講座	1後 1前		2							1
	興動館プロジェクトと企画力	1前		2							1
	人の行動を経済学で読み解く	1後	L	2		L	L	L	L		3
	小計(10科目)	-	0	20	0		1				11
行動	ビジネス・シミュレーション・ゲーム	1前		2							3
ž	身近なボランティア活動 NPO・NGOの立ち上げと活動	1後		2							1
	NPO・NGOの立ち上げと活動 戦略MG(マネジメントゲーム)	1前 ^{1前・後}		2							1
	興動館プロジェクトの計画と実施	1前		2							1
	興動館プロジェクトの評価と改善	1後		2							1
	森の社会貢献実践	1休		2							1
	興動館プロジェクトの経営戦略	1後		2							1
	小計(8科目)	-	0	16	0						6

Г			配	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗目 ≅分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
96	#		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
典動館科目	共生	広い世界に飛び出そう ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう	1後 1後		2		1					2
	カ	スポーツで学ぶ共生力	1前		2		'					1
〈 全学部学		コミュニケーション実践	1後		2							1
学科共通		広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人	1前		2							2
2		興動館プロジェクトとコミュニケーション	1後		2							1
		ユニバーサルデザイン実践	1後		2							1
		小計(7科目)	-	0	14	0	1					7
留	正	興動館科目計	-	0	60	0						_
学	規	日本語A 日本語B	1前・後		2							2
生科	留学	日本語(基礎A)	1前		1							1
目	生の	日本語(基礎B)	1前		1							1
全	日	日本語(基礎C)	1前		1							1
学部	本語	日本語(基礎D)	1後		1							1
学	関	日本語(基礎E)	1後		1							1
科共	係科	日本語(基礎F)	1後		1							1
通	目	日本語(発展A)	2前		1							1
		日本語(発展B) 日本語(発展C)	2前		1							1
		ビジネス日本語A	2前 2後		1							1
		ビジネス日本語B	2後		1							1
		ビジネス日本語C	2後		1							1
		小計(14科目)	-	0	16	0						5
	交換	Practical Management Theory for International Students I	1前		2							1
	留	Practical Management Theory for International Students II	1後		2							1
	学生	Independent Study I	1前		2							1
	科	Independent Study II	1後		2							1
	目	Independent StudyIII Independent StudyIV	1前 1後		2			1				
		Japanese Law and Society I	1前		2			'				1
		Japanese Law and Society II	1後		2							1
		International Trade	1前・後		2							1
		Environment and Business	1前・後		2							1
		Theory and Practice of Budo	1前・後		2							2
		Issues in Contemporary Japan	1前・後		2							1
		Japan and the Environment Study on International Issues and Challenges	1前・後		2							1
		Japanese Religion and Culture	1前・後		2							
		小計(15科目)	-	0	30	0		1				6
		留学生科目計	-	0	46	0						
教職	各目に料 飲の間か 料うも選 が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	商業科教育法Ⅰ	3前			2	1					
関			3後			2	1					
連科	関育	教職入門	1前			2						2
目	すの	教育原理 教育心理学 I	1後 1後			2						1
	科礎	教育心理学 IT	1仮 2前			2						1
	目的理	l	2休			1						1
	解		2前			2						1
	数等道 育の想 相指、	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	3後			2						1
	教育経験に関する科目 物の指導法及び生徒指導、 連携、総合的な学習の時間	教育方法学	2後			2						1
1	すびなる生学 科技習 日知の	生徒・進路指導論	2前			2	1					
		教育相談	2後			2						1
	す育	教育実習 I	3後・4通			1	1					4
	る実科践	教育実習Ⅲ 教職実践演習(中·高)	4前 4後			2	1					4 1
	目に	小計(15科目)	+1友	0	0	28	1					8
-		大職関連科目計 大職関連科目計	-	0	0	28	Ė					Ť
_				-	_							

			配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
-	_/,		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
與動	共	広い世界に飛び出そう	1後		2							2
館料目	生力	ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう	1後		2		1					
	/3	スポーツで学ぶ共生力	1前		2							1
学部		コミュニケーション実践	1後		2							1
学科井		広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人	1前		2							2
共通		興動館プロジェクトとコミュニケーション	1後		2							1
		ユニバーサルデザイン実践	1後		2							1
		小計(7科目)	-	0	14	0	1					7
		興動館科目計	_	0	60	0						Ė
留	正	日本語A	1前・後		2	_						2
学生	規留	日本語B	1前・後		2							2
土科	学	日本語(基礎A)	1前		1							1
目	生	日本語(基礎B)	1前		1							1
へ 全	の日	日本語(基礎C)	1前		1							1
学	本	日本語(基礎D)	1後		1							1
部学	語	日本語(基礎E)	1後		1							1
字科	関係	日本語(基礎F)	1仮 1後		1							1
共	科	口本語(基礎F) 日本語(発展A)										۱ ۱
通)	目		2前		1							1
		日本語(発展B)	2前		1							1
		日本語(発展C)	2前		1							1
		ビジネス日本語A	2後		1							1
		ビジネス日本語B	2後		1							1
		ビジネス日本語C	2後	_	1							1
	<i>*</i>	小計(14科目)	-	0	16	0						5
	交換	Practical Management Theory for International Students I	1前		2							1
	留	Practical Management Theory for International Students II	1後		2							1
	学生	Independent Study I	1前		2							1
	科	Independent Study II	1後		2							1
	目	Independent StudyⅢ	1前		2			1				
		Independent StudyIV	1後		2			1				
		Japanese Law and Society I	1前		2							1
		Japanese Law and Society II	1後		2							1
		International Trade	1前・後		2							1
		International Economics	1前-後		2							1
		Environment and Business	1前・後		2							1
		Theory and Practice of Budo	1前・後		2							2
		Issues in Contemporary Japan	1前・後		2							1
		Japan and the Environment	1前・後		2							1
		Study on International Issues and Challenges	1前・後		2							1
		Japanese Religion and Culture	1前・後		2							1
		小計(16科目)	-	0	32	0		1				7
		留学生科目計	-	0	48	0						
教	各目に料飲の間の	商業科教育法I	3前			2	1					
職関	各目に料め 飲みする 料のする 排 の 料 の 料 の 料 の に 料 の り る の り る り る り る り る り る り る り る り る	商業科教育法Ⅱ	3後			2	1					
連	に教	教職入門	1前			2						1
科口	関育	教育原理	1後			2						1
目	多める基	教育心理学 I	1後			2						1
l	科礎	教育心理学Ⅱ	2前			2						1
	目的理	特別支援教育概論	2休			1						1
	解	教育制度論	2後			2						1
	数等道 育の徳	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	3後			2						1
	相指 、 族導館 に進音	教育方法学(教育課程論を含む)	2後			2						1
	関及的 すびな る生学	生徒・進路指導論	2版 2前			2	1					Ι'
	育相談に関する科目 の指導法及び生徒指導、	教育相談	2削 2後			2	l '					1
	関教		21天 3後・4通	<u> </u>			-					_
ĺ	す育	教育実習Ⅲ				1	1					3
l	る実科課	教職実践演習(中·高)	4前			2	1					3
l	科成		4後	_	^	2	-					1
H	#	小計(15科目) x職関連科目計	_	0	0	28	1					9
ட	33	(収) 因 進行 日 司	_	0	0	28						

Γ				配	È	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗目 ≅分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
経営	고 門		経済入門	1後	2								3
学科	科目		経営入門 簿記入門	1前	2			1			1		1
科		1	海記入门 初級簿記 I	1前・後	2				1		1 2		4
目			松堂学概論	1後	2			2	1				4
経			小計(5科目)	· 1及	10	0	0	3	2		3		8
済学	基	ţ	経営管理論基礎	2前	10	2	_	Ů			1		_
関	破科		経営史	2前		2		1					
係分	B		企業形態論	2前		2		1					
野科			初級簿記演習	2後		2							1
目			初級簿記Ⅱ	2前		2					2		
\sim			会計学基礎	2前		2					2		
			マーケティング論基礎	2前		2			1				
			Introduction to Marketing in English	2後		2			1				
			貿易論基礎 経営情報論	2後 ^{2前·後}		2		1					
			コンピュータ基礎 I	2前		2		'					1
			コンピュータ基礎 II	3前		2							1
			情報処理論A	2後		2							1
			情報処理論B	2後		2							1
			小計(14科目)	-	0	28	0	4	2		3		3
	発展	マ	経営管理論	2後		2					1		
	展・	イ ジ	財務管理論 I	3前		2			1				
	応用	<u>ب</u>	財務管理論Ⅱ	3後		2			1				
	科	ŀ	人的資源管理論 I	3前		2					1		
	目	系科	人的資源管理論Ⅱ	3後		2					1		
		Ħ	経営組織論 I 経営組織論 II	3前		2							1
			国際経営論	3後 3後		2		1					1
			経営戦略論	3前		2		'					1
			生産管理論	3前		2		1					'
			中小企業経営論	2後		2		1					
			広島地域ものづくり事情	2前		2			1				2
			情報システム論 I	2前		2							1
			情報システム論 Ⅱ	2後		2							1
			情報社会と情報倫理	3前		2							1
		アカ	中級簿記	1前		4		1	1				
		ウン	中級簿記演習	1後		4		1					
		ティ	財務会計論	2後		2					1		
		ング	原価計算論 管理会計論	2後		2			1				
		系科	会計監査論	3前 3前		2		1			1		
		目	経営分析論	3後		2		1			'		
			税務会計論	3後		2		1					
		マ	マーケティング論	2後		2		Ė	1				
		ー ケ	貿易論	3前		2		1					
	ŀ	ァ	流通システム論 I	2前		2		1					
	l l	ィン	流通システム論 Ⅱ	2後		2		1					
	I I.	グな	マーチャンダイジング論 I	3前		2		1					
		糸科	マーチャンダイジング論 Ⅱ	3後		2		1					
		目	マーケティング・フロンティア	2後		2			1				
			外国為替論	2前		2		1					
			外国為替実務 貿易実務	2後 2後		2		1					
			証券市場論	2饭 2前		2		1					
			サービス・マーケティング論	3後		2		l	1				
		演	ビジネスプランニング I	2前		2			1				
		習系	ビジネスプランニング Ⅱ	2後		2							1
		科	マーケティングプラン演習	2後		2			1				
		目	マーケティングシミュレーション演習	3前		2			1				
	Ц	_	小計(39科目)	-	0	82	0	9	4		3		7
	資格関	i	会社法	3前		2							1
	連科		商法	3前		2							1
	目		職業指導	3後	0	2	0	1					0
级	堂学	細	小計(3科目) 科目(経済学関係分野科目)計	_	10	6 116	0	1					2
WE.	a Ť			H		425又		Η.			-		
		í	合計(259科目)	-	34	425又 は426	30	9	4		3		140
_													

	科目 授業科目の名称 区分			配	<u>í</u>	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
			授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准数	講	助	助	
				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
経営		入 門	経済入門	1後	2								3
営学科		計 目	経営入門 簿記入門	1前 ^{1前・後}	2			1	1		1		1 3
科	•	-	初級簿記 I	前後	2				'		2		3
目(経営学概論	1後	2			2	0		_		1
経済			小計(5科目)	ı	10	0	0	3	1		3		8
済学関		基楚	経営管理論基礎	2前		2					1		
	Ŧ	4	経営史	2前		2		1					
係分野		1	企業形態論 初級簿記演習	2前 2後		2		1					1
科目			初級簿記Ⅱ	2版 2前		2					2		'
)			会計学基礎	2前		2					2		
			マーケティング論基礎	2前		2			1				
			Introduction to Marketing in English	2後		2			1				
			貿易論基礎	2後		2		1					
			経営情報論 コンピュータ基礎 I	2前・後		2		1					
			コンピュータ基礎 I	2前 3前		2							1
			情報処理論A	2後		2							1
			情報処理論B	2後		2							1
			小計(14科目)	-	0	28	0	4	2		3		3
	発展	マネ	経営管理論	2後		2					1		
		ジメ	財務管理論I	3前		2			1				
	応用	ン	財務管理論 II 人的資源管理論 I	3後 3前		2			1		1		
	科目	ト系	人的資源管理論 II	3制 3後		2					1		
	1	八科目	経営組織論 I	3前		2					'		1
		н	経営組織論 Ⅱ	3後		2							1
			国際経営論	3後		2		1					
			経営戦略論	3 後		2							1
			生産管理論 中小企業経営論	3前		2		1					
			中小正未程呂調 広島地域ものづくり事情	2後 2前		2		1	1				2
			情報システム論 I	2前 2前		2			'				1
			情報システム論Ⅱ	2後		2							1
			情報社会と情報倫理	3前		2							1
		アカ・	中級簿記	1前		4		1	0				1
		ウン	中級簿記演習	1後		4		1					
		ティい	財務会計論原価計算論	2後		2			1		1		
) グ系	管理会計論	2後 3前		2		1	'				
		科目	会計監査論	3前		2					1		
		I	経営分析論	3後		2		1					
		Ļ	税務会計論	3後		2		1					
		マー	マーケティング論	2後		2			1				
		ケテ	貿易論 流通システム論 I	3前 2前		2		1					
		1	流通システム論Ⅱ	2削 2後		2		1					
		ング	マーチャンダイジング論 I	3前		2		1					
		系科	マーチャンダイジング論 Ⅱ	3後		2		1					
		目	マーケティング・フロンティア	2後		2			1				
			外国為替論	2前		2		1					
			外国為替実務 貿易実務	2後		2		1					
			_{貝 勿 夫 你} 証券市場論	2後 2前		2		1					
			サービス・マーケティング論	3後		2		ļ '	1				
		演羽		2前		2			1				
		習系	ビジネスプランニング Ⅱ	2後		2							1
		科目	マーケティングプラン演習	2後		2			1				
			マーケティングシミュレーション演習 小計(39科目)	3前	0	2 82	0	n	4		2		7
	j	費	小計(39科日) 会社法	- 3前	0	2	0	9	4		3		7
	E	格関連	商法	3前		2							1
	1	科目	職業指導	3後	L	2		1		L	L		
			小計(3科目)	-	0	6	0	1					2
経	営	学科	科目(経済学関係分野科目)計	1	10	116	0						Ш
1		É	合計(262 科目)	-	34	431又 は432	30	9	4		3		140
ட													

*** E		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担

卒業要件及び履修方法

以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目34単位及び選択科目90単位以上(選択必修科目14単位以上、選択科目76単位以上))を修得す

(科日区分)

- ①共通科目
- 1)必修科目8単位
- 2)選択必修科目14単位以上 3)選択科目8単位以上

- 1)必修科目16単位
- ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目
- 受合は歴紀代は八公田出たは、でナー・スター・ロビューのようでは、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得し た単位数)
- 1)選択科目24単位以上
- ④経営学科科目(経済学関係分野科目)
- 1)必修科目10単位
- 2) 選択科日44単位以上

【履修方法】

履修科目の登録の上限:1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年次 権[修行日の支票が上版: 十八十〇十〇年世、2十八八八十〇年世(十日)/にに、十米十八 生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※ 自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

전 E		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
四刀		次					教				兼
		火	修	択	由	授	授	師	教	手	担

卒業要件及び履修方法

以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目34単位及び選択科目90単位以上(選択必修科目14単位以上、選択科目76単位以上))を修得す

(科日区分)

- ①共通科目
- 1)必修科目8単位
- 2)選択必修科目14単位以上 3)選択科目8単位以上

- 1)必修科目16単位
- ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目

受自加速が行った日間とかいての一本な「一十年」であるが行って、 (能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得し た単位数)

- 1)選択科目24単位以上
- ④経営学科科目(経済学関係分野科目)
- 1)必修科目10単位
- 2) 選択科目44単位以上

【履修方法】

履修科目の登録の上限:1年次40単位、2年次以上48単位(年間)ただし、卒業年次 生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※ 自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。) を 黒字で記入してください。その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- 「英語表現・標準I・Ⅱ」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦5」から「兼任・兼坦3」へ変更
- 「文章表現演習・標準」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦4」から「兼任・兼坦3」へ変更
- · 教育内容充実の理由により、授業科目「日本外交史」「国際関係史」「International Economics」を新規に追加
- · 「世界の歴史 I · Ⅱ」担当者就任辞退の理由により教員の配置を「兼任·兼坦2」から「兼任·兼坦1」へ変更
- ・ 担当教員の本務校業務により、「環境法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「不動産実務法務 I 」の配当年次を「1後」から「1休」に変更
- ・ 「経営実践」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦1」から「准教授1」へ変更
- ・「教職入門」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦2」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・教育内容充実の理由により、「教育制度論」の配当年次を「2前」から「2後」に変更
- ・ 教職再課程認定により、授業科目の名称を「教育方法学」から「教育方法学(教育課程論を含む)」に変更
- · 「教育実習 I · Ⅲ」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任·兼坦4」から「兼任·兼坦3」へ変更
- ・「簿記入門」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦4」から「兼任・兼坦3」へ変更
- ・「初級簿記Ⅰ」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦4」から「兼任・兼坦3」へ変更
- ・「経営学概論」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・ 時間割の都合により、「経営戦略論」の配当年次を「3前」から「3後」に変更
- ・「中級簿記」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	 伏況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
17 科目	226 科目	16 科目	259 科目	17 科目	229 科目	16 科目	262 科目	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 []内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	259	_	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内				容	<u> </u>			備考
(1)		区	分		専		用	共	用		共用する 学校等の			計		
校		校台	小	b		91,	279. 12m²		()m²		0 r	'n	91,	279. 12m	
12		運動]場用地	ļ		120,	117. 63 m ²		()m²		0r	ท์	120,	117. 63 m	
地		小	詴	-		211,	396. 75 m ²		()m²		0r	ที	211,	396. 75 m	
等		そ	の他	!		1,	645. 68m²		()m²		0 r	ท์	1,	645. 68 m	
9		合	計	-		213,	042. 43 m²		()m²		0 r	n	213,	042. 43 m	:
					専		用	共	用		共用する 学校等σ			計		
(2) 校			舎			55,	478. 94m²		()m²		0r	ที่	55,	478. 94 m	
	(55, 478. 94m²)			(0 m²)	(0 m ²)	(5	5, 478. 9	94m²)					
				請	義 室		演習	室室	実験乳	室智室	情報	処理学習	施設	語学学	習施設	
(3) 教		室	等			25室		64室		25室			0室		1室	大学全体
					1						(補助	助職員 0	人) (補助職員	(人)	
(4) 専	任教	(員研究	室				新設学部	等の名称				室 28		数		平成31年3月31日付でスポーツ経営学科専任教員
ļ				ı		-	経営	学部			30				室	2名が退職したため(元)
	*	新設学語	sr.笙		図 書		学術				視聴的	党 資料	機械・器	具 標	基本	学部単位での特定が不
(5)	4	の名称		[5	ち外国書		[うちタ	小国書〕	電子ジャ							能なため、大学全体の 数
						⊞	4 000 5	種	〔うちタ			点		点	点 ————	
図書		経営学	部		0 [133, 108 210 [128, 932		4, 969 ((5, 099	1, 314) [1, 300])	7, 050 ((2, 545 ((5.	6, 120 428)	(0)	0		電子ジャーナル:抄録や書誌情報のみのもの
設				(478, 8	310 (127, 424))	<u>(4, 909 [</u>	1, 294)	(6, 407 [6, 327)		960)	(0)	0	(0)	は除外したため(元)
備		計		(483, 2	0 [133, 108 210 [128, 932	((4, 969 ((5, 099	[1, 300])	7, 050 ((2, 545 ((5,	6, 120 428)	(0)	U	(0)	視聴覚資料:除籍のため(元)
				(478, 8	310 〔127, 424 面))	(4, 909〔 積	1, 294)	(6, 407〔 閲 覧 座		(5, (9 60)	納可	能 冊		
(6) 図		書	館				8, 685, 28	8 m²	K 54. 2	E/m 3X	441席	12	וייו ניזיו			_
					面		積			体育館以		ピーツ施言	ひ概要		,	
(7) 体		育 館 <u>- 項</u> 9,906.56m				6㎡ 総合グラ	ラウンド・フ			ı		- -		大学全体		
			Σ	ζ.	分	開	引 設年度	完成年度	芝 区	分	開設前	前年度	開設年度	美	尼成年度	
(8)			教員 1	人当り)研究費等	Ě	500千円	500 1	- 円 図書	購入費	3, 9	60千円	5, 000 1	円 5	5,000千円	
経費の積り及		積り	共 同	研 :	究費等	F	一 千円	- +	-円 設備	購入費	50, 0	00千円	22, 350 1	-円 22	2, 350千円	-
維持方の概	法	学生 1		第	1 年次		第2年次	第	3 年次	第4年	F次	第 5	年次	第6	6年次	
		納付			880千円	3	880	-円	880千円	8	880千円		一 千円		一 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要			•												

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広 島	経え	齐 大 :	学 							備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在	王地		
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		年度		
経済学部			^									
経済学科	4	330	若干	1320	学士 (経済学)	0. 95		昭和42年度	広島県広島市5 五丁目37番1号	安佐南区祇園		
経営学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		昭和49年度	同	上	※平成31 生募集停	止
ビジネス情報学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成14年度	同	上	※平成31 生募集停	止
メディアビジネス学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成16年度	同	上	※平成31 生募集停	
スポーツ経営学科	4	-	-	-	学士 (スポーツ経 営学)	-		平成23年度	同	上	※平成31 生募集停	
<u>経営学部</u>												
経営学科	4	310	若干	310	学士 (経営学)	1. 00		平成31年度	広島県広島市5 五丁目37番1号	安佐南区祇園		
<u>スポーツ経営学科</u>	4	70	-	70	学士 (スポーツ経 営学)	0. 82		平成31年度	同	上		
<u>メディアビジネス学部</u>												
<u>ビジネス情報学科</u>	4	80	若干	80	学士 (経営学)	0. 90		平成31年度	広島県広島市5 五丁目37番1号	安佐南区祇園		
<u>メディアビジネス学科</u>	4	60	若干	60	学士 (経営学)	1. 11		平成31年度	同	上		
大学全体	4	850	若干	1840	-			-	-	_		
大学院経済学研究科 経済学専攻												
博士課程後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0. 22		平成2年度				
博士課程前期課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0. 95		昭和54年度				

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 経営学科>

(1)一① 担当教員表

(今和	ㅠ:	玍	麼

	_	担当教員表	「	n元年	庄 】
恵任・	引時又	は届出時】	専任・	1元年	ſ
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		小谷 幸生 (67(高)) 〈平成31年4月〉 Master of Business Administration (アメリカ)			小谷 幸生 (67(高)) 〈平成31年4月〉 Master of Business Administration (アメリカ)
専	教授 (学長)	大学入門ゼミ 規動・ 大学入門ゼミ フレゼミ 済富 I わが人生の転機 I (教職員編) 管理会計論 経営分析論	専	教授 (学長)	大学入門ゼミ 典動人入門ゼミ ブレゼミ 漢書 I 赤富丁 わが人生の転機 I (教職員編) 智理会計論 経営分析論
		糠谷 英輝 (58) 〈平成31年4月〉 法学士			糠谷 英輝 (58) 〈平成31年4月〉 法学士
専	教授 (学科 主任)	大学入八八円ゼミ 大学入八八円ゼミ 見動しゼミ フレゼミ フィース 東京本市本計画 東京本市本計画 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	専	教授 (学科 主任)	大学入門ゼミ 大学入門ゼミ 見動人ではミ プレゼミ プレゼミ プレゼミ プロイミ 富富 I I I I I I I I I I I I I I I I I I
		石川 明美 (61) 〈平成31年4月〉 経済学修士※			石川 明美 (61) 〈平成31年4月〉 経済学修士※
専	教授	大学入門ゼミ 関動人入門ゼミ ブレゼミ 演習 I マーチャンダイジング論 I マーチャンダイジング論 I	専	教授	大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ ブレゼミ 演習 I 演習 I マーチャンダイジング論 I マーチャンダイジング論 I
		岡田 斎 (65) 〈平成31年4月〉 博士(経営学),博士(工学)			岡田 斎 (65) 〈平成31年4月〉 博士(経営学),博士(工学)
専	教授	大学人門ゼミ 規動人人門ゼミ ブルロ・ブルゼミ 済富I インターンシップ I (国内) 経営体型論※ 経営体理論 生産管管理論	専	教授	大学入門ゼミ 別動人入門ゼミ ブレゼミ 流雷 I 流電子 インターンシップ I (国内) 経営学報論 生産管理 動 生産管理 動 生産管理 動
		瀬戸 正則 (60) 〈平成31年4月〉 博士(マネジメント)			瀬戸 正則 (60) 〈平成31年4月〉 博士(マネジメント)
専	教授	大学入門ゼミ 関動人入門ゼミ ブレゼミ ブレゼミ 国 京 高宮 I 京 客営入門 企業形態 音 中小企業経営 論	専	教授	大学入門ゼミ 開動人入門ゼミ ブレゼミ ブルゼミ 海湾宮 I 展営公門 企業形態 中小企業経営 論
		広田 堅志 (48) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)			広田 堅志 (48) 〈平成31年4月〉 (令和元年底海外哲学) 博士(経済学)
専	教授	大学入門ゼミ 見動レイ門ゼミ ブレゼミ ブルゼミ 落審団 エ ボームとあう 観覚 見 観覚 とよう 質 男 協議 変 見 別 別 論 基礎 質 別 別 論 基礎	専	教授	大学入門ゼミ 貝則 人入門ゼミ ブレゼミ ブレゼミ 湾雷 I ゲームを通じてグローバル社会を理 様しよう 貿易論基礎 貿易 製品
			兼任	跳師	栗原 理 (63) 〈平成31年4月〉 博士 (南学)
		ámai			ゲームを通じてグローパル社会を 理解しよう
専	教授	細井 謙一 (51) (平成3年4月) 修士(南学)※ 大学入門ゼミ 同動人入門ゼミ ブ選官 II 海営 II 経済選別 経済選別 経済選挙の表子、絶 I	専	教授	細井 謙一(51) (平成3年4月) 修 (南学)※ 大学入門ゼミ (東教人人門ゼミ) 大学入門ゼミ 大学入門ゼミ 大学 (東教人人門ゼミ) 大学習 国教 (東京) 東京 (東京)
		流通システム論 I 流通システム論 I 堀江 浩司 (47) (平成31年4月) 修士(経営学)※			流通システム論 I 流通システム論 I 堀江 浩司 (41) (平成31年4月) 修士(経営学)※
専	教授	大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 東の動人入門ゼミ インターンシップ I (国内) 経営利制 経営組織論 I 経営組織論 I	専	教授	大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ 興動人入門ゼミ インターンシップI(国内) 経営組織論 I 経営組織論 I 経営集略論

専任・ 兼担 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	堀江 浩司 (48) (令和2年4月) 修士(経営学)※	兼担	教授	堀江 浩司 (48) (今和2年4月) 修士(経営学)※
		インターンシップ I (国内) 経営入門 経営組織論 I 経営組織論 I			インターンシップ I (国内) 経営入門 経営組織論 I 経営組織論 I 経営機 等
		餅川 正雄 (63) 〈令和2年4月〉 経済学士			餅川 正雄 (63) 〈令和2年4月〉 経済学士
専	教授	大男ブ演演商売生物 (1 年 1 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年	専	教授	大学助人門ゼミ 大学助人門世記 大学助人 大学助人 大学助人 大学助人 世紀 大学助人 世紀 大学助人 世紀 大学助人 世紀 大学助人 大学加入 大学
		餅川 正雄 (62) 〈平成31年4月〉 経済学士			餅川 正雄 (62) 〈平成31年4月〉 経済学士
兼担	教授	商業科教育法I 商業徒,提出 有美雄、進路I 可美漢記述 中美漢記述 中美漢記述 中級解集計 中級解集計 傳 報 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	兼担	教授	わが人生の転機工(同度生職) 商業科科教育法工 商業科科教育法 市業科科教育法 市業科科教育法 市業科科教育 市業科科教育 市業科科教育 市業科科教育 市業科科教育 市業科科教育 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市業科科 市場 市場 市場 市場 市場 市場 市場 市場 市場 市場
		山内 昌斗 (42) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)			
専	教授	大学入門ゼミ 規動人式門ゼミ フレゼミ フレゼミ 漢漢宮 I 未満宮 I わが人生の転機 I (同窓生編) 移営史 国際経営論			
					松川 佳洋 (59) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)
			*	敬授	大学入門ゼミ 東海人人門ゼミ ブレゼミ ブレゼミ 瀬雪 I 瀬雪 I 松音史 国際経営論
		幸田 圭一朗 (34) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)※			幸田 圭一朗 (34) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)
専	准教授	大学入門ゼミ 見助レゼミ ブレゼミ ブレゼミ ブルボット 海電I 電話 電話 大学 電話 では では では では では では では では では では	専	准教授	大学入門ゼミ 見動人門ゼミ ブレゼミ ブルボミ ブ凛震官 I 湾記入門 財務管理論 ビジネスプランニング I
		坂間 十和子 (31) 〈平成31年4月〉 修士(商学)※			坂間 十和子 (31) 〈平成31年4月〉 修士(商学)※
専	准教授	大学入門ゼミ 大学入門ゼミ 対しゼミ ブ演演習II マーケティング論基礎 なマーケティング論 サービス・マーグケティング論	専	准教授	大学入門ゼミ 開動と対き フルゼミ ブ海湾宮II マーケング論基礎 広マーケティング論基礎 ムマーケティング論 サービス・マーゲラィング論 サービス・マーゲラィング論
		Kenneth I. Tsuye (66) 〈平成31年4月〉 Doctor of Business Administration(アメワカ)			Kenneth I. Tsuye (66) 〈平成31年4月〉 Doctor of Business Administration(アメリカ)
専	准教授	大学入門ゼミ 開動人入門ゼミ ブレゼミ 演習 I 演習 I Independent Study II Independent Study IV Introduction to Marketing in English マーケティング・フロンティア マーケティング・フロンティア マーケティング・フロンティア マーケティング・フロン演習	専	准教授	大学入門ゼミ 開動人入門ゼミ アレゼミ 演習 I 「加付ependent Study II Independent Study IV Introduction to Marketing in English マーケティング・フロンティア マーケティング・フロンティア マーケティング・フロン演習 図 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
			I	<u> </u>	

		-			
専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名	<u> </u>		担当授業科目名
		天王寺谷 達将 (33) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)			
専	准教授	大学入門ゼミ 関リと 関リと 東京留I 東京留 I 東京と 東京留 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京			
					藤原 久間 (52) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
			*	准教授	大学入門ゼミ 舞動人人門ゼミ プレゼミ 演習 I 演習 I 初帯準配工 報告表表表 報告表表表
					天王寺谷 連将 (33) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)
			兼任	講師	経営学標論※ 中級排配※
		東 幸代 (30) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)			東 幸代 (30) 〈平成31年4月〉 令和元年度宵休 修士(経営学)
専	助教	大学動 化 で と で で で で で で で で で で で で で で で で で	専	助教	大学入八年 男助化せミ 男助化せミ 月間で記事 第四記記 第四記 第四
		角 裕太 (28) 〈平成31年4月〉			角 裕太 (28) 〈平成31年4月〉
専	助教	博士(経営学) 大学入門ゼミ 規則レゼミ ブ海宮 I 河路宮田 初級練落記 I 初会計等記述 報告記述 報告記述 報告報記記 初会計等	専	助教	博士(経営学) 大学入門ゼミ 現別レゼミ 漢書 I 東書 I 和級薄部 I 和級薄部 I 和公主 受計算記 受計算金 受計算金 対象
		宮辻 渉 (35) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)			宮辻 渉 (35) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)
専	助教	大学入八門ゼミ 関助人入門ゼミ 関助人入門ゼミ 国第四	専	助教	大学入門が記しています。 関助しています。 関助しています。 東部国工所ではます。 東部国工所では、 東部国工所では 東部国工所では 東部国工所では 東部国工所では 東部国工所では 東部国工所では 東部国工所では 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東部国工所で 東語工所で
		新垣 繁秀 (55) 〈平成31年4月〉 経済学修士※			新垣 繁秀 (55) 〈平成31年4月〉 経済学修士※
兼担	教授	プレゼミ 演習 I 人の行動を経済学で読み解く【隔 年】	兼担	教授	プレゼミ 演習 I 人の行動を経済学で読み解く【隔 年】
		小笠原 礼以 (50) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※			小笠原 礼以 (50) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
兼担	教授	プレゼミ 演習 I 演習 I オンターンシップ I (国内) 経済入門	兼担	教授	プレゼミ 演習 I 演習 I インターンシップ I (国内) 経済入門
		岡本 恵子 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士			岡本 恵子 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士
兼担	教授	日本語文章表現 ビジ表スは演算 ビジネスは演算 ビジネスは演算 大学入門では 大学入門では 大学入門では リンピアのでは アンプエ 「国内) アンプエ 「国内) アンプエ 「国内) アンプエ 「国内)	兼担	教授	日本語文章表現 ビジネス日本語演習 ビジネス以前 ・ 発展 大学入門ゼビミ カルロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		岡本 貞雄 (66) 〈平成31年4月〉 文学修士※			岡本 貞雄 (66) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼担	教授	日本の思想と文化 日本の思想と文化 日本の宗教 大学入門ゼミ 男動人入門ゼミ ブレゼミ 演習 I 演習 I で元気なこころとからだを つくろう	兼担	教授	日本の思想と文化 日本の宗教 大学入門ゼミ 異勢人入門ゼミ ブレゼミ 漢書 I 漢書 I 次書 I で元気なこころとからだを つくろう

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	神田 義浩 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士※ 社会心理学 大学入門ゼミ 規動人入門ゼミ 教育心理学 I	兼担	教授	神田 義浩 (60) (7年成31年4月〉 文学修士※ 社会心理学 大学入門ゼミ 現動人入門ゼミ 教育心理学 I
		教育文習 I 教育実習 I 教育実習 I 北野 尚人			教育心理学 II 教育実習 I 教育実習 I 北野 尚人 (62)
兼担	教授	〈平成31年4月〉 経済学士 コピーライティング実践講座	兼担	教授	〈平成31年4月〉 経済学士 コピーライティング実践講座
兼担	教授	宜名眞 勇 (68) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy(7メリカ) プレゼミ 演習 I	兼担	教授	宣名眞 勇 (68) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy (アメリカ) プレゼミ 演習 [
		演習 II International Trade			演習 II International Trade
兼担	教授	重本 洋一 (54) (令和2年4月) 博士(経済学) プレゼミ 演習 I	兼担	教授	重本 洋一 (54) (今和2年4月) 博士(経済学) プレゼミ 演習I
		演習Ⅱ			演習Ⅱ
兼担	教授	末広 菜穂子 (63) 〈令和2年4月〉 経済学修士※	兼担	教授	末広 英穂子 (63) 《令和2年4月》 経済学修士※ プレゼミ
		演習 I 演習 I			演習 I 演習 I
		高石 哲弥 (51) 〈平成31年4月〉 博士(理学)			高石 哲弥 (51) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
兼担	教授	数学名 数学名 数学学と 自然科科学名 自然科科学日 見少野人八門ゼミ デ教人人門ゼミ ファッカンで I 国本演演会 A 世紀 2 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の大学 は 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	兼担	教授	数学A 数学A 数学P 数学P 自然科学A 自然科学B 見が要した。 第一位 第一位 第一位 第一位 第一位 第二位 第二位 第二位 第二位 第二位 第二位 第二位 第二位 第二位 第二
		田中 泉 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※			田中 泉 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼担	教授	広島の歴史と文化※世界の歴史1 世界の歴史1 世界の歴史1 世界の天教※ 大学入門社でミ 広島とハフイマ学ぼう!めざせ国 参議、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 新聞、大門2 大門2 大門3 大門4 大門4 大門4 大門4 大門4 大門4 大門4 大門4 大門4 大門4	兼担	教授	広島の歴史と文化※ 世界の歴史1 世界の歴史1 世界の天教※ 大学入門ゼミ 広島とハフイで学ぼう!めざせ国際 参考楽習! 教育実習! 教育実習面
		田中 章司郎 (62) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			田中 章司郎 (62) (平成31年4月) 博士(学術)
兼担	教授	Environment and Business コンピュータ基礎 I コンピュータ基礎 I 情報処理論 A	兼担	教授	Environment and Business コンピュータ基礎 I コンピュータ基礎 I 情報処理論 A
兼担	教授	田辺 洋子 (64) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼担	教授	田辺 洋子 (64) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		必修英語 A I 必修英語 A II			必修英語AI 必修英語AⅡ
兼担	教授	胤森 裕暢 (53) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	兼担	教授	胤森 裕暢 (53) 〈平成31年4月〉 博士(教育学) 大学入門ゼミ
2011	7010	大学入門ゼミ 規動方実習 I 教育実習 I 教職実践演習(中・高)	26.11	72.12	興動人入門ゼミ 敬職入門 教育実習 I 教育実習 正 教職実践演習 (中・高)
					专本 康利 (65) 〈平成31年4月〉 博士(法学)
			兼担	教授	大学入門ゼミ 実施入門ゼミ プレゼミ 演者 I 監督 I 日本外交史 国際関係史
兼坦	教授	George R. Harada (46) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼坦	教授	得達 原義 (46) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)
		人の行動を経済学で読み解く【隔年】			人の行動を経済学で読み解く【隔年】

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) 《就任(予定)年月〉 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼坦	教授	担当70条件日右 中嶋 削夫 (53) (令和2年4月) 修士(経済学)※ プレゼミ 演習 I 演習 I	兼坦	教授	世ョ攻条件は右 中嶋 則夫 (53) (令和2年4月) (修士(終済学)※ プレゼミ 漢雷! 漢雷!
兼坦	教授	永田 靖 (525) (平成31年4月) 博士(マネジメント) インターンシップI(国内) 経営実践			
			兼坦	教授	株 和夫 (62) (今和2年4月) 修士(優賞学) インターンシップI(個内)
兼坦	教授	西脇 廣治 (69) (平成31年4月) 博士(経済学) 大学人門ゼミ 泉動人入門ゼミ	兼坦	教授	西脇 廣治 (69) 〈平成31年4月〉 博士(経済学) 大学入門ゼミ
兼坦	教授	丹羽 啓一 (47) (今和2年4月〉 博士(工学) 情報処理論B	兼坦	教授	丹羽 啓一 (47) (令和2年4月) 博士(工学) 情報処理論B
兼坦	教授	野北 晴子 (55) 〈甲成31年4月〉 経済学修士※ ブレゼミ 漢音 I 経済入門 広島地域ものづくり事情	兼坦	教授	野北 晴子 (55) 〈甲成1年4月〉 経済学修士※ ブルゼミ 演演習 I 経済入門 伝島地域ものづくり事情
兼坦	教授	長谷川 泰志 (60) (61) (7年成3年4月) 文学修士派 日本語文章表現 日本語文章表現 日本語文章表現 日本語文章 日本文学 日本文学 日本文学 日本文学 日本文学 日本文学 日本文学 日本文学	兼坦	教授	長谷川 泰志 (60) 〈甲戌/年4月〉 文学修士派 日本語文章表現 日本語文章表現 日本語文章表現 日本文学名日本語演習 日本文学名 日本文学名 「日本文学名」 「日本文学名」 「日本文学名」 「日本文学名」 「日本文学名」 「日本文学名」 「日本文学名」 「日本文学名」 「日本文学名」 「日本文学名」
兼坦	教授	瀬田 敏彦 (57) (年成)年4月) 文学修士※ 日本の歴史I 広島の歴史とと化※ 大学入門ゼミ プレゼミ プレゼミ 満習I 満習I 新月内海地域の魅力を発信しよう	兼坦	教授	源田 敏彦 (57) (7年以1年4月) 文学修士※ 日本の歴史I 広島の歴史と七化※ 大学入門ゼミ ブレゼミ ブレゼミ 漢書I 漢書I 瀬澤田 1
兼坦	教授	George R. Harada (59) 〈平成31年4月〉 法学等士※ 日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 現代社会人名 大学入門代表 (大学入門代表) 「ACT ACT ACT ACT ACT ACT ACT ACT ACT ACT	兼坦	教授	George R. Harada (59) 〈平成14年月〉 法学修士※ 日本国憲法 I 日本国憲法 I 現代社会とと 大学入門では に1世界に現立せるう Practical Management Theory for International Students I Practical Management Theory for International Students I Practical Management Theory for International Students I Independent Study I Japanese Law and Society I Japanese Law and Society I Japanese Law and Society I Theory and Practice of Budow Study on International Issues and Challenges
兼坦	教授	ー橋 信之 (66) (66) (67) (64) (64) (64) (64) (64) (64) (64) (64	兼坦	教授	ー橋 信之 (66) (66) (60) (61) (64) (64) (64) (64) (64) (64) (64) (64
兼坦	教授	平岡 賢治 (68) (平成3)年4月> 理学修士※ 数学A 数学A 数学A 数学A 数学A 数学A	兼坦	教授	平岡 賢治 (688) (FR531年4月〉 理学修士※ 数学A 数学B 数学C 社会人基礎学力応用
兼坦	教授	平本 質了 (55) (7年成1年4月) 修士(経済学)※ インドネシア語 I インドネシア語 I スター・ス・ファップ II (海外)	兼坦	教授	平本 賢丁 (55) (年成1年4月) 修士(経済学)※ インドネシア語 I インドネシア語 I インドネシア語 I スティップ I (海外)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
***	495.200	福居 信幸 (64) 〈令和2年4月〉 経済学士	****	*** 110	福居 信幸 (64) 〈令和2年4月〉 経済学士
兼坦	教授	プレゼミ 演習 I 演習 I 資都市場の役割と証券投資	兼坦	教授	プレゼミ 演習 I 演習 I 資習 エ 資本市場の役割と証券投資
兼坦	教授	藤谷 則夫 (66) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼坦	教授	藤谷 則夫 (66) 〈令和2年4月〉 経済学士
		プレゼミ 演習 I 広島地域ものづくり事情			プレゼミ 演習 I 演習 I 広島地域ものづくり事情
兼坦	教授	堀江 真由美 (54) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)	兼坦	教授	堀江 真由美 (54) (今和2年4月〉 博士(経済学)
		演習 I 演習 I			演習 I 演習 I
兼坦	教授	松本 耕二 (51) 〈平成31年4月〉 修士(体育学)	兼坦	教授	松本 耕二 (51) 〈平成31年4月〉 修士(体育学)
		スポーツ実習 宮岡 弥生			スポーツ実習 宮岡 弥生
	***	ロ画 がエ (52) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) 大学入門ゼミ			西岡 が生 (52) (平成31年4月) 博士(学術) 大学入門ゼミ
兼坦	教授	教授 大学入門ゼミ 規動人門ゼミ ブルゼミ 河宮 I 河宮 I 日本語(基礎B) 日本語(基礎B)	兼坦	教授	「興動 リブロ 東晋 東晋 国 正 正 正 正 正 に 基礎 田 本語 (基礎 田 本 に は と に に に に に に に に に に に に に
\vdash		宮畑 加奈子 (55)			宮畑 加奈子
		〈平成31年4月〉 博士(法学)			(35) 〈平成31年4月〉 博士(法学)
兼坦	教授	日本の法律 大興動しゼミ 東海リンゼミ 河宮 II 演演習 II	兼坦	教授	日本の法律 大学入門ゼゼミ 見がしせき ブロゼゼミ 演習習I
		インターンシップⅡ(海外)			インターンシップⅡ(海外)
- #18	教授	森田 裕司 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼坦	教授	森田 裕司 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士
26-72	70.10	大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ メンタルヘルス論 教育相談	20.00	72.12	大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ メンタルヘルス論 教育相談
	教授	柳川 和優 (60) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)		教授	柳川 和優 (60) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)
兼坦	(部)	スポーツ科学 スポーツ実習 インターンシップ I (国内) わが人生の転機 II (同窓生編)	兼坦	(学部長)	大学人門ゼミ 異動人人門ゼミ スポーツ科学 スポーツ実習 インターンシップⅠ(国内) わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)
兼坦	教授	山本 公平 (54) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※			
		「笑い」のパワー・生きるカ 経営戦略論			
			兼任	計師	山本 公平 (54) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
					「美い」のパワー・生きるカ
		山本 貴裕 (52) 〈平成31年4月〉 文学修士※			山本 貴裕 (52) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼坦	教授	Academic Writing in English 世界の思想と現代社会 I 広い世界に飛び出そう 広島とハワイで学ぼう! めざせ国 際人 Japanese Religion and Culture	兼坦	教授	Academic Writing in English 世界の思想と現代社会 I 広い世界に飛び出そう 広島とハワイで学ぼう! めざせ国際 人 Japanese Religion and Culture
		山本 雅昭 (55) 〈平成31年4月〉 Philosophy of Doctor(イギリス)			山本 雅昭 (55) 〈平成31年4月〉 Philosophy of Doctor(イギリス)
兼坦	教授	大学入門ゼミ 興動シス門ゼミ デテクノロンと社会・経済 情報とネットモワーク社会 情報処理の基準 インターンシップ I (国内)	兼坦	教授	大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ テクノロンと社会・経済 情報とネットワーク社会 情報処理の基礎 インターンシップI(国内)
				<u> </u>	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼坦	教授	楊 義申 (48) (令和2年4月〉 博士(経済学) ブレゼミ 演習 I 演習 I	兼坦	教授	楊 義申 (48) 〈令和2年4月〉 博士(経済学) プレゼミ 演習 I 演習 I
兼坦	教授	インターンシップⅡ (海外) 渡辺 勇一 (68) 〈令和2年4月〉 法学士	兼坦	教授	インターンシップⅡ(海外) 渡辺 勇一 (68) 〈令和2年4月〉 法学士
		インターンシップ I (国内) 石田 優子			インターンシップ I (国内) 石田 優子
兼坦	准教授	(45) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※ ブレゼミ 演習 I	兼坦	准教授	(45) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※ ブレゼミ 演習 I
		演習 II わが人生の転機 I (教職員編)			演習Ⅱ わが人生の転機Ⅰ(教職員編)
			兼担	准板授	風方 開 (45) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) 大学入門ゼミ
					大学入門ゼミ 異動人入門ゼミ
兼坦	准教授	梶原 英二 (51) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※ 必修英語A.I.	兼坦	准教授	梶原 英二 (51) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※ 必修英語A.I.
		必修英語 A Ⅱ			必修英語 A Ⅱ
		本本 一成 (60) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) 日本語文章表現			本本 一成 (60) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) 日本語文章表現
兼坦	准教授	文章検索管 相等 日本語現演管 標準 日文章表現演管 伊展 大学入門ゼミ 大学入門ゼミ ブ源 第0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼坦	教授	「文章技術の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
		追田 奈美子 (44) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(イギリス)			迫田 奈美子 (44) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(イギリス)
兼坦	准教授	必修英語 I 必修英語 I 必修英語 B I 必修英語 B I 可	兼坦	准教授	必修支語 A I 必修英語 A I 必修英語 B I 区 修 英語 B I 区 校 英語 B I 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		澤 滋久 (54) 〈平成31年4月〉 修士(理学)※			澤 滋久 (54) 〈平成31年4月〉 修士 (理学)※
兼坦	准教授	世界の宗教※ 大学入門ゼミ 東動人人門ゼミ ブレゼミ 演習 I 演習 I ィンシップ I (国内)	兼坦	准教授	世界の宗教※ 大学入門ゼミ 東動人人門ゼゼミ ブレゼミ 演習 I インターンシップ I (国内)
		重野(白田) 裕美 (35) 〈平成31年4月〉 博士(学術)			重野(白田) 裕美 (35) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
兼坦	准教授	ビジネス日本語演響 文章条人の 文章条人の 大東教 大東教 大東教 レゼミ 演習 II コミュニケーション実践	兼坦	准教授	日本語文章表現 ビジネス日本語演習 文章表現海習・標準 大学教刊社会 大学教刊社会 ブレ智! 京演習 II コニュニケーション実践
兼坦	准教授	杉山 克典 (45) 〈令和2年4月〉 修士(経済学)	兼坦	准教授	杉山 克典 (45) (今和2年4月) 修士(経済学)
		情報システム論 I 情報システム論 Ⅱ			情報システム論 I 情報システム論 Ⅱ
		竹林 栄治 (53) 〈平成31年4月〉 経済学修士※			竹林 栄治 (53) 〈平成31年4月〉 経済学修士※
兼坦	准教授	ドイツ語 I ドイツ語Ⅲ ブレゼミ 演演習Ⅱ	兼坦	准教授	ドイツ語 I ドイツ語 I プレゼミ 演演習 I

専任・ 兼担・ 衆別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼坦	准教授	田中(植野) 佑美 (42) (平成31年4月) 修士(地域研究)※ Master of Education (TESOL International) (オーストラリア) 必修英語 B I 必修英語 B I			
		英語表現·標準I 英語表現·標準I			
					合田 優子 (30) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※
			兼坦		必修実際日 I 必修実際日 I 必修実際日 I 実際表現・標準 I 実施表現・標準 I 資格実際II 資格実際IV
兼坦	准教授	土屋 祐子 (48) 〈平成31年4月〉 修士(学際情報学)	兼坦	准教授	土屋 祐子 (48) 〈平成31年4月〉 修士(学際情報学)
		「私たちの広島」PR実践			「私たちの広島」PR実践
		中村 隆行 (61) 〈平成31年4月〉 法学修士※			中村 隆行 (61) 〈平成31年4月〉 法学修士※
兼坦	准教授	身近なポランティア活動 NPO・NGOの立ち上げと活動 同動館プロジェクトの計画と実施 同動館プロジェクトの評価と改善 同動館プロジェクトの経営戦略	兼坦	准教授	身近なポランティア活動 NPO・NGOの立ち上げと活動 側動館プロジェクトの計画と実施 開動館プロジェクトの評価と改善 関動館プロジェクトの経営戦略
		宮地 英和 (45)			宮地 英和 (45)
兼坦	准教授	〈平成31年4月〉 博士(芸術) ユニパーサルデザイン実践	兼坦	准教授	〈平成31年4月〉 博士(芸術) ユニパーサルデザイン実践
		三山 緑 (44) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)※			
兼坦	准教授	大学人人と 大学人人と 大学人人と 「世代」 「世代」 「一世代」 「一			
					岡本 徹 (66)
			兼任	跳師	〈令和2年4月〉 教育学修士※
					後有何皮胎
			兼任	跳師	宮崎 康子 (49) (平成31年4月) 修士(徽育学)
		本岡 亜沙子 (38)			本岡 亜沙子 (38)
		〈平成31年4月〉 博士(文学)			〈平成31年4月〉 博士(文学)
兼坦	准教授	英語理解·基礎徹底 I 英語理解·基礎徹底 I 外国文学 A ※	兼坦	准教授	英語理解·基礎徹底I 英語理解·基礎徹底I 外国文学A※
兼坦	准教授	森山(丹羽) 玲子 (47) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼坦	准教授	森山(丹羽) 玲子 (47) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
20.72	78.70.10	プレゼミ 演習 I 演習 I 女子学生のためのキャリア形成入 門	26.2	7E 7A 1A	プレゼミ 演習 I 演習 I 女子学生のためのキャリア形成入門
		山根(大和田) 智沙子 (41) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)			山根(大和田) 智沙子 (41) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)
兼坦	准教授	ブレゼミ 演習 I オンターンシップ I (国内) 人の行動を経済学で読み解く【隔 年】	兼坦	准教授	ブレゼミ 演習 I オンターンシップ I (国内) 人の行動を経済学で読み解く【隔 年】
		John. A. S. Wild (54) 〈平成31年4月〉 Master of Social Science(アメリカ)			John. A. S. Wild (54) 〈平成31年4月〉 Master of Social Science(7メリカ)
兼坦	准教授	英語表現・発展 I 英語表現・発展 I 海外研修英語 I 海外ス英語 I ビジネス英語 I ビジネス英語 I	兼坦	准教授	英語表現・発展 I 英語表現・発展 I 海外研修英語 I 海外部 修英語 I ビジネス英語 I ビジネス英語 I
		こ ジネス英語 11			C J T A A A A A A A A A A A A A A A A A A

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼坦	准教授	渡辺 泰弘 (39) 〈平成31年4月〉 博士(スポーツ健康科学)	兼坦	准教授	渡辺 泰弘 (39) 〈平成31年4月〉 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツ実習			スポーツ実習
		藤田 香織 (40) 〈平成31年4月〉 学士(人文学)			藤田 香織 (40) 〈平成31年4月〉 学士(人文学)
兼坦	講師	必修英語BI 必修英語BI	兼坦	講師	必修英語 A I
		Forrest, Richard Andrew (55) 〈平成31年4月〉 Master of Public Policy※(7メリカ)			Forrest, Richard Andrew (55) 〈平成31年4月〉 Master of Public Policy※(7州))
兼坦	講師	必修英語日I 必修英語日I 英語表現·標準I 英語表現·標準I Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment	兼坦	講師	必修英語日 I 必修英語日 I 英語表現·標準 I 英語表現·標準 I Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment
		森谷 浩士 (47) 〈平成31年4月〉 修士(文学)			森谷 浩士 (47) 〈平成31年4月〉 修士(文学)
兼坦	講師	必修英語AI 必修英語BI 必修英語BI 必修英語CI	兼坦	講師	必修英語AI 必修英語BI 必修英語BI 必修英語CI
***	B++*	Mark J. Tankosich (60) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(アメリカ)		B++*	Mark J. Tankosich (60) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(アメリカ)
兼坦	助教	竞展英会話 I 竞展英会話 I Theory and Practice of Budo※	兼坦	助教	発展英会話 I 発展英会話 I Theory and Practice of Budo※
****	n. *L	平下 義記 (33) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	****	准备	平下 義記 (33) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
兼坦	助教	日本の歴史 I ブレゼミ 演習 I 経済入門	兼坦	漫	日本の歴史 I ブレゼミ 演習 I 練習 I 経済入門
		藤山 和久 (36) 〈平成31年4月〉 修士(英米言語文化)※			藤山 和久 (36) 〈平成31年4月〉 修士(英米言語文化)※
兼坦	助教	必修英語AI 必修英語AI 英語理解・標準I 外国文学A※	兼坦	助教	必修英語A I 必英語A I 必英語 A II 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 準 第 工 学 工 大 学 入 ラ ラ ス ラ ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス
		森 瑞樹 (38) 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)			森 瑞樹 (38) 〈平成31年4月〉 博士(富語文化学)
兼坦	助教	必修支語 A I 必修英語 A I 必修英語 A I 必修英語 B A I 必修英語 B C I 展 I 英格英語 I 資格英語 I 資格英語 I 資外 國文学 A ※	兼坦	准敬授	必修英語 A I 必修等英語 A II 必必修英語 B A II 必必修英語 G I 展 I 英语语理解 P 発展 II 英格英英語 I 資格 展 II 資 M B A B A B A B A B A B A B A B A B A B
兼任	講師	青木 利夫 (54) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)	兼任	講師	青木 利夫 (54) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)
		スペイン語 I スペイン語 I Montgomery Tyler Addison (38)			スペイン語 I スペイン語 II
兼任	講師	(30) (平成31年4月) 修士(国際学) 必修英語BI 必修英語BI			
-					寺童 理英子 (62)
			兼任	糖師	〈平成31年4月〉 修士(学術)
<u> </u>					必修英語BI 必修英語BI
兼任	講師	安部 貴彦 (58) 〈平成31年4月〉 準学士 禅(ZEN)で元気なこころとからだを	兼任	講師	安部 貴彦 (58) 〈平成31年4月〉 準学士 禅(ZEN)で元気なこころとからだを
<u> </u>		つくろう			つくろう
兼任	講師	池松 由紀 (44) 〈令和2年4月〉 準学士	兼任	講師	池松 由紀 (44) 〈令和2年4月〉 準学士
		キャリアスキルズ I			キャリアスキルズ I
兼任	講師	石田 知美 (45) 〈令和2年4月〉 学士(文学)	兼任	講師	石田 知美 (45) 〈令和2年4月〉 学士(文学)
		資産運用実務 I 資産運用実務 I			資産運用実務 I 資産運用実務 I

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	l		担当授業科目名
兼任	講師	伊豆田 功 (52) 〈平成31年4月〉 経済学士	兼任	講師	伊豆田 功 (52) 〈平成31年4月〉 経済学士
		ビジネス・シミュレーション・ ゲーム			ビジネス・シミュレーション・ゲー ム
兼任	講師	大多 正人 (56) 〈令和2年4月〉 文学士	兼任	講師	大多 正人 (56) 〈令和2年4月〉 文学士
		キャリアスキルズⅡ			キャリアスキルズⅡ
兼任	講師	岡田 高嘉 (41) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼任	講師	岡田 高嘉 (41) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)
		世界の憲法			世界の憲法
			兼任	計師	校野 党 (53) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
		落谷 淑江			International Economics 落谷 淑江
兼任	講師	(50) 〈平成31年4月〉 文学士	兼任	講師	(50) 〈平成31年4月〉 文学士
		情報処理入門 I 情報処理入門 II			情報処理入門 I 情報処理入門 II
兼任	講師	梶川 正 (67) 〈令和3年4月〉 商学修士	兼任	講師	梶川 正 (67) 〈令和3年4月〉 商学修士
		情報社会と情報倫理	l L		情報社会と情報倫理
兼任	講師	柏木 士郎 (47) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼任	講師	柏木 士郎 (47) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
		社会人基礎学力基礎			社会人基礎学力基礎
兼任	講師	蟹井 靖司 (50) (令和2年4月) 高等学校	兼任	講師	蟹井 靖司 (50) (令和2年4月) 高等学校
		初級簿記演習			初級簿記演習
兼任	講師	金原 光広 (56) (平成31年4月) 社会科学士	兼任	講師	金原 光広 (56) 〈平成31年4月〉 社会科学士 ビジネス・シミュレーション・ゲー
		ビジネス・シミュレーション・ ゲーム			ム
兼任	講師	家村(宮岸)伸子 (50) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	兼任	講師	家村(宮岸)伸子 (50) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)
X.I.	ar or	日本語文章表現 日本語(基礎C) 日本語(基礎D) 日本語(発展A) ビジネス日本語A	ALL.	are an	日本語文章表現 日本語(基礎C) 日本語(基礎D) 日本語(発展A) ビジネス日本語A
兼任	講師	河口 忠史 (57) 〈平成31年4月〉 工学士	兼任	講師	河口 忠史 (57) 〈平成31年4月〉 工学士
		不動産実務法務 I 不動産実務法務 I 不動産実務法務Ⅲ			不動産実務法務 I 不動産実務法務 II 不動産実務法務Ⅲ
兼任	講師	河野 弥生 (53) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※	兼任	講師	河野 弥生 (53) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※
		日本の政治			日本の政治
兼任	講師	河本 雅志 (45) 〈平成31年4月〉 博士(マネジメント)	兼任	講師	河本 雅志 (45) 〈平成31年4月〉 博士(マネジメント)
		簿記入門 初級簿記 I			簿記入門 初級簿記 I
兼任	講師	金 炫勇 (45) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	兼任	講師	金 炫勇 (45) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)
		韓国語 I 韓国語 I			韓国語 I 韓国語 I
兼任	講師	木村 亮子 (49) (平成31年4月) 学士(心理学)	兼任	講師	木村 亮子 (49) (平成31年4月) 学士(心理学)
		情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 I			情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 I
兼任	講師	本村 亮平 (39) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)	兼任	講師	木村 亮平 (39) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)
		プロスポーツによる広島活性化講 座			プロスポーツによる広島活性化講座
兼任	講師	久保 博雅 (27) 〈平成31年4月〉 修士(学術)	兼任	講師	久保 博雅 (27) 〈平成31年4月〉 修士(学術)
		日本語文章表現			日本語文章表現
		•	. —		•

4.0			-		
専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		久保田 浩二 (62)			久保田 浩二 (62)
兼任	講師	〈平成31年4月〉 工学士	兼任	講師	〈平成31年4月〉 工学士
		ビジネス・シミュレーション・ ゲーム			ビジネス・シミュレーション・ゲー ム
兼任	講師	倉橋 孝博 (48) 〈平成31年4月〉 学士(教育学)	兼任	講師	倉橋 孝博 (48) 〈平成31年4月〉 学士(教育学)
		ライフプラン(人生設計)でやる気 づくり			ライフプラン(人生設計) でやる気づくり
		黒住 奏 (37) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※			黒住 奏 (37) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※
兼任	講師	英語表現・基礎徹底 I 英語表現・基礎徹底 I	兼任	講師	必修英語BI 必修英語BI 英語表現・基礎徹底 I 英語表現・基礎徹底 I
# <i>1</i> ~	SMOT	河内 紀彦 (32) 〈平成31年4月〉 修士 (学術)	**	SM AT	河内 紀彦 (32) 〈平成31年4月〉 修士 (学術)
兼任	請	必修英語 A I 必修英語 A II	兼任	講師	必修英語 A I 必修英語 A II
兼任	講師	坂本 小百合 (51) 〈平成31年4月〉 教育学士	兼任	講師	坂本 小百合 (51) 〈平成31年4月〉 教育学士
		情報処理入門 I 情報処理入門 I			情報処理入門 I 情報処理入門 I
兼任	講師	坂本 はるえ (45) 〈平成31年4月〉 修士(文学)	兼任	講師	坂本 はるえ (45) 〈平成31年4月〉 修士(文学)
. see data	2000	日本語 B ※ 日本語 (発展 C) ビジネス日本語 B	rob lide		日本語 B ※ 日本語 (発展 C) ビジネス日本語 B
兼任	講師	佐藤 道雄 (55) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼任	講師	佐藤 道雄 (55) 〈平成31年4月〉 文学修士
		日本語 A ※ 日本語 B ※			日本語 A ※ 日本語 B ※
兼任	講師	志賀 誠治 (63) 〈平成31年4月〉 教育学士	兼任	講師	志賀 誠治 (63) 〈平成31年4月〉 教育学士
		興動館プロジェクトとコミュニ ケーション			興動館プロジェクトとコミュニケー ション
兼任	講師	周 躍 (29) 〈平成31年4月〉 修士 (文学)			
		資格英語Ⅲ 資格英語Ⅳ			
兼任	講師	鈴木 正彦 (64) 〈令和3年4月〉 法学修士※	兼任	講師	鈴木 正彦 (64) 〈令和3年4月〉 法学修士※
		商法【隔年】			商法【隔年】
兼任	講師	先坊 幸子 (44) 〈平成31年4月〉 博士(文学)			
		日本語文章表現 文章表現演習・標準			
			兼任	跳師	明尾 香達 (25) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
			ALC.		日本語文章表現
兼任	講師	Frank Thornton (58) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Behavioral Science(7メリカ)	兼任	講師	Frank Thornton (58) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Behavioral Science(7 メリカ)
		スポーツで学ぶ共生力			スポーツで学ぶ共生力
兼任	講師	田尾 芳子 (60) 〈平成31年4月〉 修士(商学),修士(法学)			
		簿記入門 初級簿記 I			
兼任	講師	竹内 孝美 (65) 〈令和2年4月〉 Master of Arts(7がか)			
. see data	3	英語表現・標準 I 英語表現・標準 I			
##	±e o≖	竹本 伸 (64) 〈平成31年4月〉 文学士	#17	58 AZ	竹本 伸 (64) 〈平成31年4月〉 文学士
兼任	請	日本の地理 世界の地理 I 世界の地理 I	兼任	講師	日本の地理 世界の地理 I 世界の地理 I

雷戸		ı	東戸		T
専任・ 兼担・ ・ ・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	竹本 真希子 (47) 〈平成31年4月〉 Dr. rer. pol.(boetor rerum politicarum)(ドイツ)	兼任	講師	竹本 真希子 (47) 〈平成31年4月〉 Dr. rer. pol.(Doctor rerum politicarum)(ドイツ)
		世界の思想と現代社会Ⅱ			世界の思想と現代社会Ⅱ
兼任	講師	田中 健 (54) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	田中 健 (54) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		生命倫理			生命倫理
兼任	講師	田中 美帆 (26) (平成31年4月) 修士(学術)	兼任	講師	田中 美帆 (26) (平成31年4月) 修士(学術)
		日本語文章表現			日本語文章表現
兼任	講師	棚橋 久美子 (661) (平成31年4月) 文学修士※	兼任	講師	様橋 久美子 (61) (平成31年4月) 文学修士※
		谷川 充美	-		谷川 充美
兼任	講師	会川 九美 (39) (39) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	台川 九美 (39) 〈平成31年4月〉 博士(文学) 日本語文章表現
		土山 ゆかり			土山 ゆかり
兼任	講師	(52) 〈平成31年4月〉 経済学士	兼任	講師	エロ ゆかり (52) (平成31年4月) 経済学士
		情報処理入門 I 情報処理入門 I I T戦略とマネージメント 情報化技術			情報処理入門 I 情報処理入門 I I T戦略とマネージメント 情報化技術
兼任	講師	常山 慶三 (55) (令和2年4月) 経済学士	兼任	講師	常山 慶三 (55) 〈令和2年4月〉 経済学士
		資産運用実務 I 資産運用実務 II			資産運用実務 I 資産運用実務 II
兼任	講師	土居 智典 (46) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	土居 智典 (46) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		世界の思想と現代社会Ⅲ			世界の思想と現代社会Ⅲ
		豊島 桂子			豊島 桂子
兼任	講師	(64) 〈令和2年4月〉 Master of Arts(アメリカ)	兼任	講師	(64) 〈令和2年4月〉 Master of Arts(アメリカ)
		英語理解 基礎徹底 I 英語理解 基礎徹底 I 英語理解 標準 I 英語理解 標準 I			英語理解 - 基礎徹底 I 英語理解 - 基礎徹底 II 英語理解 - 標準 I 英語理解 - 標準 I
兼任	講師	中谷 文代 (52) 〈平成31年4月〉 準学士	兼任	講師	中谷 文代 (52) 〈平成31年4月〉 準学士
		情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 I 情報処理の基礎IV			情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 I 情報処理の基礎IV
兼任	講師	中野 登志美 (47) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)			
		日本語文章表現			
			兼任	計師	版水 貴司 (29) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		仲村 正彦			日本語文章表現 仲村 正彦
兼任	講師	(60) 〈平成31年4月〉 農学士	兼任	講師	(60) 〈平成31年4月〉 農学士
		森の社会貢献実践			森の社会貢献実践
兼任	講師	中元 さおり (43) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	中元 さおり (43) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		日本語文章表現 文章表現演習・標準			日本語文章表現 文章表現演習・標準
兼任	講師	中山(佐藤) 真美 (51) (令和3年4月) 学士(文学)	兼任	講師	中山(佐藤) 真美 (51) 〈令和3年4月〉 学士(文学)
		教職教養 思考力開発 西森 章子			教職教養 思考力開発 西森 章子
兼任	講師	四株 早十 (48) 〈令和2年4月〉 修士(人間科学)	兼任	講師	四栞 早十 (48) (今和2年4月〉 修士(人間科学)
		教育方法学			教育方法学 (教育課程論を含む)

142			-		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		野本 敏生 (55) 〈平成31年4月〉			野本 敏生 (55) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	修士(法学)※ 環境法	兼任	講師	修士(法学)※ 環境法
		橋本 朝子	-		橋本 朝子
兼任	講師	(61) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	(61) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		必修英語BⅡ 必修英語BⅡ			必修英語BⅡ 必修英語BⅢ
		橋本 弘 (37) 〈平成31年4月〉			橋本 弘 (37) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	学士(商学)	兼任	講師	学士(商学) 簿記論 I
		簿記論Ⅱ 財務諸表論Ⅱ 財務諸表論Ⅱ			簿記論 Ⅱ 財務諸表論 Ⅰ 財務諸表論 Ⅱ
		波多間 純子 (52) 〈令和2年4月〉			波多間 純子 (52) 〈令和2年4月〉
兼任	講師	文学士 資産運用実務 I	兼任	講師	文学士 資産運用実務 I 資産運用実務 I
		資産運用実務Ⅱ 原田 浩幸	-		原田 浩幸
兼任	講師	(58) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	(58) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		自然科学C			自然科学C
		藤井 稔久 (38) 〈平成31年4月〉 修士(法学)			藤井 稔久 (38) 〈平成31年4月〉 修士(法学)
兼任	講師	簿記入門 初級簿記 I	兼任	講師	簿記入門 初級簿記 I
		藤川 晴基 (62)			藤川 晴基 (62)
兼任	講師	〈平成31年4月〉 経済学修士	兼任	講師	〈平成31年4月〉 経済学修士
		簿記入門 初級簿記 I			簿記入門 初級簿記 I
兼任	講師	古川 朋子 (48) 〈令和3年4月〉 修士(法学)※	兼任	講師	古川 朋子 (48) 〈令和3年4月〉 修士(法学)※
		会社法			会社法
		古田 ユミ (47) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※			古田 ユミ (47) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※
兼任	講師	修工(文字)※ 必修英語BI 必修英語BI	兼任	講師	必修英語BI 必修英語BI
		必修 英語 Ⅱ 英語 理解・標準 Ⅱ 資格 英語 Ⅲ 資格 英語 Ⅱ			必修兵語2日 英語理解・標準 I 資格英語 I 資格英語 I 資格英語 I
)(格央語 II Matthew Thomas Vaughan (41)	-)(俗央語 II Matthew Thomas Vaughan (41)
兼任	講師	(41) 〈令和2年4月〉 Bachelor of International Studies (オーストラリア)	兼任	講師	(41) 〈令和2年4月〉 Bachelor of International Studies (オーストラリア)
		英語表現·標準I 英語表現·標準I			英語表現·標準 I 英語表現·標準 I
		細川 志織 (44) 〈平成31年4月〉			細川 志織 (44) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	学士(外国研究)	兼任	講師	学士(外国研究)
		興動館プロジェクトと企画力 堀江 清二			興動館プロジェクトと企画力 堀江 清二
兼任	講師	(46) 〈平成31年4月〉 学士(文学)	兼任	講師	(46) 〈平成31年4月〉 学士(文学)
		みんなで教材を創ろう			みんなで教材を創ろう
*		堀田 哲一郎 (61) 〈令和2年4月〉 修士(教育学)※		50.A-	堀田 哲一郎 (61) 〈令和2年4月〉 終十、教育學〉※
兼任	講師	修士(教育字)※ 特別支援教育概論	兼任	講師	修士(教育学)※ 特別支援教育概論
		本間 啓朗 (28) 〈平成31年4月〉			
兼任	講師	(平成31年4月/ 修士(教育学) 日本語文章表現			
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			波橋 恭子 (25)
			兼任	講師	(25) 〈平成31年4月〉 修士(文学) 日本語文章表現
		松浦 久幸 (49)	\parallel		松浦 久幸 (49)
兼任	講師	(49) 《平成31年4月》 学士(経済学)	兼任	講師	(49) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)
		戦略MG (マネジメントゲーム)			戦略MG(マネジメントゲーム)

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	世ョ文本行日名 三木 島彦 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士 フランス語 I フランス語 I	兼任	講師	担当70条件日右 三木 島彦 (60) (平成31年4月) 文学修士 フランス語 I フランス語 I
兼任	講師	宮本 英征 (46) (平成31年4月) 博士(教育学) 世界の歴史 I 世界の歴史 I			
兼任	講師	矢澤 利弘 (55) (今和2年4月) 博士(学術) ビジネスプランニングⅡ	兼任	講師	矢澤 利弘 (55) (令和2年4月) 博士(学術) ビジネスプランニングⅡ
兼任	講師	矢野 宗宏 (62) 〈平成31年4月〉 法学士 「笑い」のパワー・生きるカ	兼任	講師	矢野 宗宏 (62) 〈平成31年4月〉 法学士 「笑い」のパワー・生きるカ
兼任	講師	山崎 初枝 (64) 〈平成31年4月〉 修士(人間文化学) 健康科学	兼任	講師	山崎 初枝 (64) 《平成31年4月》 修士(人間文化学) 健康科学
兼任	講師	山中 康子 (55) (平成3年4月) 修士(教育学) 日本語(基礎 A) 日本語(基礎 E) 日本語(養健 E) ビジネス日本語 C	兼任	講師	山中 康子 (55) (平成3年4月) 修士(教育学) 日本語名※ 日本語名を報名) 日本語名を提出) ビジネス日本語の
兼任	講師	山田 浩之 (57) (令和3年4月〉 博士(教育学) 特別活動・総合的な学習の時間の 指導法	兼任	講師	山田 浩之 (577) (令和3年4月) 博士(教育学) 特別活動・総合的な学習の時間の指 導法
兼任	講師	Yoshioka Connie (43) 《平成31年4月》 Master of Arts(TESOL) (付刊) 英語表現・標準工 英語表現・標準工 基礎英会話I 基礎英会話I			
			兼任	計解	Devid Williams (45) (45) (45) Bachelor of Arte, Bachelor of Science(分が) 基礎美全話 I 基礎美全話 I
兼任	講師	吉田 舞 (41) 〈平成31年4月〉 淳学士 情報処理の基礎Ⅱ 情報処理の基礎Ⅲ	兼任	講師	吉田 舞 (41) 〈平成31年4月〉 準学士 「情報処理の基礎I 情報処理の基礎I 情報処理の基礎I
兼任	講師	吉村 千里 (43) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※ 必修英語 B I 必修英語 B I	兼任	講師	吉村 千里 (43) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※ 必修英語 日 I
兼任	講師	羅 讀 (53) 《平成31年4月》 修士(学術) 中国語 I	兼任	講師	羅 類 (53) (平成3) 年4月〉 修士 (学術) 中国語 I

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 「認可時又は届出時り」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可能又は風田時から変更となっている自所は大学の表字としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の選年**競を記入してください。
・ 再任、専門職大学等は第、実等、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

```
【令和元年度】
- 広田至志教授 (東田) 令和元年度第外間字。当該年次の担当科目については、単在教員及び業原理議師 (兼任) が代行。
広田至志教授 (東田) 今和元年度第外間字。当該年次の担当科目については、単在教員及び業原理議師 (兼任) が代行。
広田至志教授 (東田) の場付部字により、「かて金を選したりローバルは金を増削しより新日担当と解これのより は 1 日本のより 1
```

- (注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - **膠可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (A(教員審査) を受けてください。**AC教員審査を受けずに事任教員として授業等を担当することは出来ません。** ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15	8
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専仟教員数【大学】

	Ī	役置時の計画	画		現在(報告時)の状況							
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)			
9	4	0	3	16	9	4	0	3	16			
(9)	(4)	(0)	(3)	(16)								
£	見在(報告	寺)の完成4	年度時の状況	兄	現在(報告時)の完成年度時の計画							
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)			
9	4	0	3	16	9	4	0	3	16			
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]			

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、教員審査を受審済みであり、
 - 完成**年度までに就任する教員教を加えた教を配入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	4
歳	名	名

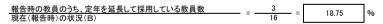
- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の!	担	当予定科目	後	任補充状	況	京	尤任辞 退	【未	:就任) の理	由		
				必修	大	学入門ゼミ		1								
				必修	興動	動人入門ゼ	1	1								
				必修		プレゼミ		1								
4	教授	山内 昌斗	H31. 3	必修		演習 I		1		H31. 3. 31付	他大学·	へ転と	出のため就任	辞退		
'	报技	ши вт	1131.3	必修		演習Ⅱ		1		(元)	(元)					
				選択	わが人	生の転機Ⅱ(同窓生	主編)	2								
				選択		経営史		1								
				選択		国際経営論		1								
				必修	大	大学入門ゼミ ①										
				必修	興動	動人入門ゼ	11	1								
				必修		プレゼミ		1								
2	准教授	天王寺谷 達将	H30. 9	必修		演習 I		1		H30. 9. 30付他大学へ転出のため就任辞退						
_	在秋汉	人工寸音 连付	1100.0	必修	演習Ⅱ 経営学概論※			1		(元)						
				必修				2								
				選択	-	中級簿記※		2								
				選択	原	価計算論		1								
		合計	(D)						往	长任補充状況	の集計	(E))			
5	就任を辞	退した教員数	担当科	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	十数 (b))	③の合計	十数 (c))	
		•	必	修	11	科目	必修	10	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	
			選	択	5	科目	選択	3	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	
	2	人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
			Ī	it	16	科目	計	13	科目	計	3	科目	計	0	科目	

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番	号	職	位	車	専任教員氏名 時期 🕬 · 選択 · 自由の別 担当予定科							後任補充状況			辞任等の理由							
合計(F)									後任補充状況の集計 (G)													
辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)								(p) + (c)		①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数					Ͱ数(c)	女 (c)						
							必	修	0	科目	!	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
							選	択	0	科目	j	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
	0 人		人		人		人		自	由	0	科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		ī	†	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目							

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字に</mark>て記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	員数	担当科目数の合	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			十数 (a)	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)		
		必修	11	科目	必修	10 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	
		選択	5	科目	選択	3 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	
2	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	16	科目	計	13 科目	計	3 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	2 _	_	125	06
(2)-②設置時の計画(A)	_	16		12.5	70

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 「該当なし」

番	号職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充状況			辞任等の理由						
	合計						後任補充状況の集計									
	7	辞任し	ンた教員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合詞			計数 (c)						
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
	0 人		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) · 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 山内昌斗教授及び天王寺谷達将教授の他大学への転出による退職にあたり、当該教員の担当科目については、新規に教員を採用(松川佳洋 教授及び藤原久嗣准教授)したことで、学生に影響がないように対応できている。

時間割表、履修ガイダンス、ガイドブック等により周知を行っている。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区	分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
		該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

〈経営学部 経営学科〉

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

	設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし		

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育・学習支援委員会を設置(平成18年)

委員会の事務組織として教育・学習支援センターを設置(平成18年)

(※関係規程は添付資料①のとおり)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

8月・12月・3月を除いて月1回開催を定例としている。

必要に応じて、学長が出席。各学科・部会等から教員9名、関係事務部門長等5名により構成。

- c 委員会の審議事項等
 - ・FD研修会の実施について
 - ・授業アンケート、学修アンケート等各種アンケートの実施について
 - ・授業公開について

その他、入学前教育・初年次教育・学習サポートコーナーの運用など学習支援に関すること。

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・授業アンケート、学習アンケート、卒業生アンケートの実施
 - 授業公開(教員相互の授業参観)の実施
 - · F D 研修会、授業研究会の実施
 - b 実施方法
 - ・授業アンケートは年2回前後期末、学修アンケートは年1回11月、卒業生アンケートは年1回卒業時に、実施要項を委員会に諮り、承認を得た上で、教授会にて報告、実施している。授業アンケート、学修アンケートは学内ポータルサイトを利用してWebにて実施している。全てのアンケートについて、集計、取り纏め後、フィードバックを行っている。
 - ・授業公開(教員相互の授業参観)は前期、後期それぞれ約6週間の授業公開期間を設け教員相互の授業参観を実施。参観者は、参観後参観した授業に対するコメントの返信やアドバイスなど授業改善に努めている。全教員が原則、全ての授業を公開としている。
 - · F D 研修会、授業研究会の実施
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ·授業改善研修FD 「卒業論文指導」
 - ・授業改善研修FD 「明徳館の活用法」
 - ・授業改善研修FD 「成績評価について」
 - ・報告SD 「大学生基礎カレポート結果報告」
 - ・学生対応研修SD 「学生対応を考える」
 - ・授業改善研修FD 「授業公開・参観と授業改善研究会」
 - ・学生と教員による授業研究会FD「授業評価報告と学生FDプロジェクトと参加教員との意見交換」
 - ・授業改善研修FD 「シラバスの書き方と授業運営」 ~効果的なシラバス~
 - ・授業改善研修FD 「アクティブ・ラーニングの推進」④~アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の評価基準 (ルーブリック) について~
 - ・授業改善研修FD 「ICTの活用法」③ ~学内教学システムの利用と授業改善~

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

IRデータを活用しての研修会、授業参観を利用しての授業研究会、テーマごとに設定された研修会など各種研修会を通して、工夫された授業方法を共有できること、ディスカッション、ワークショップなどを通して教員相互で研鑚を行うことによって、よりよい授業改善へとつなげていく。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

実施の有無:有

実施時期:前期、後期それぞれの学期末に、開講されているすべての科目について、学生による授業アンケートを Webにより実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート実施後は集計結果を各教員へ返却、教員は今後の授業改善に役立てるとともに、アンケート結果に対する感想・意見、今後の取組についてのコメントを提出し学生へフィードバックを行う。なお、集計結果については、ホームページ並びに冊子にして学内で公開している。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学科では、経営学の諸領域における教育研究を行い、専門的知識の習得を目指すと共に、論理的な思考力及び応用力を活かして、適切な経営判断や企業活動のできる実践的な人材を養成する。また、教育においては、適切な企業活動や経営判断を行うための基礎知識と専門知識、論理的な思考力及び応用力を身につけさせる。そして、税理士、公認会計士、社会保険労務士などの専門職に加えて、金融・保険・製造・小売り等の一般企業や公務員など幅広い分野で活躍できる人材の養成を目的としている。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・令和元年7月1日頃に公表予定
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、本学図書館で閲覧可能とする。
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和元年7月1日頃)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和4年度に評価機関(財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中
- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書(令和元年度)	
a	a ホームページへの公表予定の有無	(有 無)
k	o 公表有の場合の公表(予定)時期	(令和元年 7月1日)
k	o 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) · 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人石田学園

- (2) 大 学 名 広島経済大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒731-0192 広島県広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長	(イシダ ツネオ) 石田 恒夫 (現職就任平成11年9月)		
学長	(オダニ ユキオ) 小谷 幸生 (現職就任平成29年4月)		
学 部 長	(ヤナガワ カズマサ) 柳川 和優 (現職就任平成31年4月)		
学科長等	(フジグチ ミツノリ) 藤口 光紀 (現職就任平成31年4月)	(ヤナガワ カズマサ) 柳川 和優 (現職就任平成31年4月)	人事異動に伴い平成31年4月1 日に変更(元)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30) 令和元年度に報告する内容 → (元)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)です</u>が、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

	学位又は学科の		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1m − 75
経営学部スポーツ経営学科	経済学関係	年 4	70	年次 人 —	人 280	
学士 (スポーツ経営学)	体育関係					

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度		令和元年度		令利	12年度		令和3年度		ŕ	令和4年度		ŕ	3和5	5年度	Ę	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考		
区	分		春季入学	その他の学期	春季入	学そ	その他の学期	春季入	、学	その他の学規	春季	入学	その	他の学期	春季	入学	その他の)学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	VĦ	7
			人 7	'0	,		Y		人	X		人		人		人		人				
Α		入学定員	(-	-)	()	()		()		()					
			[-	-]	[]	[]	[]	[]]				
		TT> 44L	228	_	,		, ,	,		, ,	,		,	,	,	,	,	,				
	心质	顧者数	(-)	(-)	() (()	()	()	()	()	()	()				
			[-]	[-]	L] [L J	L		LJ	L		L	J	L	J	L					
			226	_																		
	受關	験者数	(-)	(-)	() (()	()	()	()	()	()	()	0.82倍	_		
			[-]	[-]	[] [[]	[]	[]]]	[]	[]	[]	5. 52 III			
			102	_										_								
	合柞	恪者数	(-)	(-)	() (()	()	()	()	()	()	()				
			[-]	[-]	[] [[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]				
			58	_																		
В		入学者数	(-)	(-)	() (()	()	()	()	()	()	()				
			[-]	[-]	[] [[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]				
入章		₹員超過率 ✓ A	0.	82		•							•									

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。
 - 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	令和元	元年度	令和:	2 年度	令和	3年度	令和	4 年度	令和	5年度	備考
学	年	春季入学	その他の学期									
		58	_									
	1 年次	[0]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
		(-)	(-)	()	()	()	()					!
	2 年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
				()	()	()	()	()	()	()	()	
	3 年次					[]	[]	[]	[]	[]	[]	
						()	()	()	()	()	()	
	4 年次					/		[]	[]	[]	[]	
								()	()	()	()	
		5	8									
	計	[0]	[]	[]	[]	[]	
		(-	-)	()	()	()	()	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数

 を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		主な退学理由
対象年度	在学者数(b)	退字者数(a)	入学した年度	退学	者数 うち留学生数	(留学生の理由は[]書き)
令和元年度	58 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人		令和元年度	人	人	
7 和2 牛皮	^	^	令和2年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
i i i i i i i i i i i i i i i i i i i		,	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - - たせなどのなった中でしる日光老の割入

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

 令和元年度の退学者数(a)
 =
 0
 =
 0

 令和元年度の在学者数(b)
 58
 =
 0

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 スポーツ経営学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

特別	Γ,	C-1 E-1	_		配业	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
京書 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日				授業科目の名称		必	選	自	教		講	助	助	
1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1	#	か	其	心体革無人「			択	由	授	授	師	教	手	
(金字学学科共通) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	诵	玉	礎											
1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目	語科												
	へ 全		_											
	学													
英語理解・基礎檢定 2前 2	学				. —									
英語理解・基礎機應 2倍				英語理解・基礎徹底 I	. —		1							
英語理解・発展I 2後 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	通)			英語理解・基礎徹底 Ⅱ			1							
英語理解・発展 2後 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				英語理解•標準 I	2前		1							2
英語表現 2後 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				英語理解・標準 Ⅱ	2後		1							2
英語表現・基礎徹底 2後 1				英語理解・発展 I	2前		1							2
英語表現・基礎物能 I 2後 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				英語理解・発展Ⅱ	2後		1							2
英語表現・標準 I 2前 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				英語表現・基礎徹底 I	2前		1							2
英語表現・標準 I 2後 1 1							1							2
英語表現・発展 I 2前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
英語表現・発展 I 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
海外研修英語 1前														1
海外研修英語 1後	ĺ	1												
ビジネス英語 I														
送機英会話I 1後 1 1 1 1 1 1 1 1	ĺ													
基礎英会話 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
基礎英会話 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
発展英会話 I 1前 1 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2														
発展英会話Ⅱ 1後 1 1 2 2 2 3 4 5 5 5 5 5 5 6 5 6 5 7 0 1 2 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
資格英語 1後 1 1 1 1 1 1 1 1				発展英会話Ⅱ			1							1
資格英語Ⅲ 1前 1 1 1 1 1 1 1 1				資格英語 I	1前		1							2
資格英語IV Academic Writing in English 7ランス語 I 1前				資格英語Ⅱ	1後		1							2
Academic Writing in English 7ランス語 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				資格英語Ⅲ	1前		1							1
フランス語 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				資格英語Ⅳ	1後		1							1
フランス語 I 1後 1 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				Academic Writing in English	2休		1							1
ドイツ語 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1							1
ドイツ語 I 1後 1 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														1
スペイン語 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														1
スペイン語 I 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														1
中国語 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
中国語 I 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
韓国語 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
韓国語 II 1後 1 インドネシア語 I 1前 1 小計(43科目) - 6 37 0 29 日本語文章表現文章検演習 1前・後 2 文章検演習・表表現演習・標準表表現演習・標準日本語演習・発展文章表現演習・表面で表現また。 1 日本の歴史 I 1前 2 日本の思想と文化 1後 2 日本の地理日本の法律 1後 2 日本の法律 1後 2 日本の法律 1後 2 日本の法律 16 2														
インドネシア語 I 1前 1 1 1 1 1 1 1 1	ĺ	1												
インドネシア語 I 1後 1 1 1 1 1 1 1 1	ĺ	1												
日 日本語文章表現	ĺ			インドネシア語 Ⅱ		L	_1		L		L	L		1
本 京章検演習		L		小計(43科目)	-	6	37	0						29
語文章検演習 4 m · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						2								
章表現演習・標準 1前・後 2 1 現料目 日本語演習・発展 2前 2 大章表現演習・発展 2前・後 2 1 小計(7科目) - 2 10 2 日本の歴史 I 1前 2 1 日本の歴史 I 1前 2 1 日本の歴史 I 16 2 1 日本の歴史と文化 1後 2 1 日本の思想と文化 1前 2 1 日本の宗教 1後 2 1 日本の地理 1前・後 2 1 日本の法律 1後 2 1	ĺ	Ē	吾					2						
表現 日本品演習・標準	ĺ													
日本語演習・発展 文前 文章表現演習・発展 水計(7科目) 2 1 小計(7科目) - 2 10 2 8 日本の歴史 I 1前 日本の歴史 I 日本の歴史 I 1前 日本の歴史 I 1前 日本の歴史 I 1前 日本の歴史と文化 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ĺ	ā	長											
日本語規論 予発展 2前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ĺ													1
小計(7科目) - 2 10 2 8 目 日本の歴史 I 1前 2 1 理 日本の歴史 II 1前 2 1 日本の歴史と文化 1後 2 1 日本の思想と文化 1前 2 2 日本の思想と文化 1前 2 1 日本の宗教 1後 2 1 日本の地理 1前・後 2 1 日本の法律 1後 2 1	ĺ													1
自 日本の歴史 I 1前 己 理 日本の歴史 I 1前 日本の歴史 II 1前 解日本の歴史と文化 1後 日本の思想と文化 1前 日本の思想と文化 1前 日本の宗教 1後 日本の地理 1前・後 日本の法律 1後 2 1 日本の法律 1後 2 1 1 2 1 1 1 2 1 3 1 3 2 3 3 4 4 4 5 5 6 6 7 6 7 <td>ĺ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td>	ĺ					2		2						-
己 理 日本の歴史 I 1前 2 1 解 日本の歴史 I 1後 2 1 系 広島の歴史と文化 1後 2 日本の思想と文化 1前 2 日本の宗教 1後 2 日本の地理 I 即・後 2 日本の法律 1後 2 1	ĺ													_
日本の歴史Ⅲ 1後 2 1 1 2 日本の歴史と文化 1後 2 2 日本の思想と文化 1前 2 日本の宗教 1後 2 日本の地理 1前・後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ĺ													
系 科 日本の思想と文化 1後 2 日本の思想と文化 1前 2 日本の宗教 1後 2 日本の地理 1前 2 日本の法律 1後 2	ĺ		_											
日本の思想と文化 1前 2 1 日本の宗教 1後 2 1 日本の地理 前後 2 1 日本の法律 1後 2 1	ĺ			広島の歴史と文化										
日本の地理 前・後 2 1 日本の法律 1後 2 1	ĺ			日本の思想と文化										1
日本の法律 1後 2 1	ĺ			日本の宗教	1後		2							1
	ĺ			日本の地理	1前・後		2							1
日本の政治 1前・後 2 1		1		日本の法律	1後		2							1
	L			日本の政治	1前・後		2							1

【令和元年度】

				配	È	单位数	ا ل	車	任教	員等	の配	置	兼
	斗 E ス ケ		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
Ŀ	<u>≏</u> 7.)		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
共	外		必修英語A I	1前	1		ш	JX	-12	Hily	72		6
通科	国語	礎科	必修英語AⅡ	1後	1								6
目	科	Ħ	必修英語B I	1前	1								11
全型	目		必修英語BⅡ	1後	1								11
学部			必修英語C I	1通	1								2
学科			必修英語CⅡ	2通	1								1
共通			英語理解・基礎徹底 I	2前		1							2
貝)			英語理解・基礎徹底 Ⅱ	2後		1							2
			英語理解•標準 I	2前		1							2
			英語理解·標準Ⅱ	2後		1							2
			英語理解・発展 I	2前		1							2
			英語理解·発展Ⅱ ※語志明 # 歴第度 Ⅰ	2後		1							2
			英語表現·基礎徹底 I 英語表現·基礎徹底 II	2前		1							2
			英語表現·標準 I	2後		1							2
			英語表現·標準Ⅱ	2前 2後		1							2
			英語表現·発展I	2前		1							1
			英語表現・発展Ⅱ	2後		1							1
			海外研修英語 I	1前		1							1
			海外研修英語Ⅱ	1後		1							1
			ビジネス英語 I	1前		1							1
			ビジネス英語Ⅱ	1後		1							1
			基礎英会話 I	1前		1							1
			基礎英会話Ⅱ	1後		1							1
			発展英会話 I	1前		1							1
			発展英会話Ⅱ	1後		1							1
			資格英語 I	1前		1							2
			資格英語 Ⅱ	1後		1							2
			資格英語Ⅲ	1前		1							1
			資格英語Ⅳ	1後		1							1
			Academic Writing in English			1							1
			フランス語 [1前		1							1
			フランス語Ⅱ	1後		1							1
			ドイツ語 I	1前		1							1
			ドイツ語 Ⅱ スペイン語 I	1後		1							1
			スペイン語Ⅱ	1前		1							1
			中国語 I	1後 1前		1							1
			中国語Ⅱ	1後		1							1
			韓国語Ⅰ	1前		1							1
			韓国語Ⅱ	1後		1							1
			インドネシア語 [1前		1							1
			インドネシア語 Ⅱ	1後		1							1
			小計(43科目)	-	6	37	0						28
		7 E	日本語文章表現	1前・後	2								5
		百	文章検演習	4前・後			2						2
	3	之章	ビジネス日本語演習	1前・後		2							3
	7	麦	日本語演習・標準	1前・後		2							1
		見斗	文章表現演習•標準	1前・後		2							3
		1	日本語演習・発展	2前		2							1
			文章表現演習・発展	2前・後		2							1
	F	≐	小計(7科目)	- 1前	2	10	2						7
	Ē	Ξ.	日本の歴史Ⅰ	1前		2							1
		里解	日本の歴史 Ⅱ 日本の歴史Ⅲ	1前		2							1
	3	1	広島の歴史と文化	1後 1後		2							2
		라 를	日本の思想と文化	1仮 1前		2							1
	-	1	日本の宗教	1後		2							1
			日本の地理	1前後		2							1
			日本の法律	1後		2							1
			日本の政治	1前・後		2							1
1	-			_		-							—

			配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	¥目 函分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	≥ 77		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
共	科自	日本国憲法 I	1前	19	2	Щ	18	12	Dily	77	7	1
	目己理	日本国憲法Ⅱ	1後		2							1
科目	理解		. 12		_							
$\hat{}$	系	小計(11科目)	_	0	22	0						9
全 学	他	世界の歴史 I	1前		2	_						2
部	者理	世界の歴史Ⅱ	1後		2							2
部学科共	解	世界の思想と現代社会 I	1前・後		2							1
共	系	世界の思想と現代社会 II	1後		2							1
通	科目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2							1
		世界の宗教	1前		2							2
		世界の地理 I	1後		2							1
		世界の地理Ⅱ	1前		2							1
		世界の憲法	1後		2							1
		小計(9科目)	-	0	18	0						8
	基	社会心理学	1後		2							1
	礎 教	生命倫理	1前		2							1
	養	日本文学A	1前		2							1
	科目	日本文学B	1後		2							1
	н	外国文学A	1後		2							3
		現代社会と人権	1後		2							1
		環境法	1後		2							1
		テクノロジーと社会・経済	1前		2							1
		情報とネットワーク社会	1後		2							1
		数学A	1前		2							1
		数学B	1後		2							1
		数学C	2前		2							1
		自然科学A	1前		2							1
		自然科学B	1後		2							1
		自然科学C	1休		2							1
		スポーツ科学	1後		2		1					
		健康科学	1後		2							1
		メンタルヘルス論	1後		2							1
		スポーツ実習	1前・後		1		2	1				
		小計(19科目)	-	0	37	0	2	1				14
	情	情報処理入門 I	1前・後		2							3
	報 処	情報処理入門Ⅱ	1前・後		2							3
	理	情報処理の基礎 I	1前・後		2							2
	科目	情報処理の基礎Ⅱ	1前・後		2							3
	_	情報処理の基礎Ⅲ	1前		2							1
		情報処理の基礎Ⅳ	1後		2							1
		情報処理の基礎Ⅴ	1前・後	L	2		L	L	L	L		1
		小計(7科目)	1	0	14	0						7
		共通科目計	-	8	138	2						
_		大学入門ゼミ	1前・後	2			6	5				1
全学	ゼ	興動人入門ゼミ	1前・後	2			6	5				1
部学	Ξ	プレゼミ	2後	2			6	5				
全学部学科共	科目	演習 I	3通	4			6	5				
通	1	演習Ⅱ	4通	6			6	5				
\sim		小計(5科目)	ı	16	0	0	6	5				1
L		ゼミ科目計	-	16	0	0						

	科目 授業科目の名称		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	¥目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
	2/1		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
共	科自	日本国憲法 I	1前	שיו	2	ш	12	12	ши	72		1
通科	目己理	日本国憲法Ⅱ	1後		2							1
目	解	日本外交史	1前		2							1
へ 全	系	小計(12科目)	-	0	24	0						10
学	他	世界の歴史 I	1前		2							1
部	者理	世界の歴史Ⅱ	1後		2							1
学科	解	世界の思想と現代社会 I	1前・後		2							1
科共	系科	世界の思想と現代社会 I	1後		2							1
通)	目	世界の思想と現代社会Ⅲ	1休		2							1
		世界の宗教	1前		2							2
		世界の地理 I	1後		2							1
		世界の地理Ⅱ	1前		2							1
		世界の憲法	1後		2							1
		国際関係史	1後		2							1
		小計(10科目)	-	0	20	0						8
	基	社会心理学	1後		2							1
	礎教	生命倫理	1前		2							1
	養	日本文学A	1前		2							1
	科目	日本文学B	1後		2							1
	П	外国文学A	1後		2							3
		現代社会と人権	1後		2							1
		環境法	1前		2							1
		テクノロジーと社会・経済	1前		2							1
		情報とネットワーク社会	1後		2							1
		数学A	1前		2							1
		数学B	1後		2							1
		数学C	2前		2							1
		自然科学A	1前		2							1
		自然科学B	1後		2							1
		自然科学C	1休		2							1
		スポーツ科学	1後		2		1					
		健康科学	1後		2							1
		メンタルヘルス論	1後		2							1
		スポーツ実習	1前・後		1		2	1				
		小計(19科目)	ı	0	37	0	2	1				14
	情報	情報処理入門 I	1前・後		2							3
	処	情報処理入門Ⅱ	1前・後		2							3
	理	情報処理の基礎 I	1前・後		2							2
	科目	情報処理の基礎Ⅱ	1前・後		2							3
		情報処理の基礎Ⅲ	1前		2							1
		情報処理の基礎Ⅳ	1後		2							1
		情報処理の基礎V	1前・後		2							1
		小計(7科目)	-	0	14	0						7
L		共通科目計	-	8	142	2						
<u>.</u>		大学入門ゼミ	1前・後	2			4	5				2
全学	ゼ	興動人入門ゼミ	1前・後	2			4	5				2
部学	Ξ	プレゼミ	2後	2			4	5				
全学部学科共通	科目	演習I	3通	4			4	5				
通		演習Ⅱ	4通	6			4	5				
L		小計(5科目)	-	16	0	0	4	5				2
		ゼミ科目計	-	16	0	0						

Γ			配	Ì	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
	7 /)		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	目①	簿記論 I	1前	12	4	Н.	*^	-,^	HTP	32		1
力開	税理	簿記論Ⅱ	1後		4							1
発		財務諸表論 I	1前		4							1
科目	関係	財務諸表論Ⅱ	1後		4							1
_	科	小計(4科目)	_	0	16	0						1
全学	F 1. 2	資産運用実務 I	2前		4							3
部	ドルプラン 開係トーン	資産運用実務 Ⅱ	2後		4							3
学到	H (A	小計(2科目)	_	0	8	0						3
科共	士③ 関宅	不動産実務法務I	1後		4							1
通	係地	不動産実務法務Ⅱ	2前		2							1
$\overline{}$	科建 目物	不動産実務法務Ⅲ	2前		2							1
	取引	小計(3科目)	_	0	8	0						1
	ト ④ 関 I	IT戦略とマネージメント	2前		4							1
	係T科パ目ス	情報化技術	2後		4							1
	ロベボー	小計(2科目)	_	0	8	0						1
	関(S 係務野 科し村	資本市場の役割と証券投資	2前		2							2
	科 O 打 前提證 供券	小計(1科目)	-	0	2	0						2
	ブ大名ロ学中グ校小	中小企業大学校研修プログラム ※受講する科目数によって単位を決定	2		1又は2							
	ク収小 ラ研史 ム修業	小計(1科目)	-	0	1又は2	0						
Г	能	6力開発科目計	-	0	43又は 44	0						
+		キャリアスキルズ I	2前		2							1
ヤリ	日本学園保存日というよう	キャリアスキルズ Ⅱ	2後		2							1
ア	8.5	小計(2科目)	_	0	4	0						2
科口	関② 係就	社会人基礎学力基礎	1前		2							1
	科職 日対	社会人基礎学力応用	1後		2							1
全	策試験	小計(2科目)	-	0	4	0						2
学部	関③	教職教養	3後		2							1
学	科員 目採	思考力開発	3後		2							1
科共	用試驗	小計(2科目)	-	0	4	0						1
通	日文名 技女	女子学生のためのキャリア形成入門	1前		2							3
$\overline{}$	留子 信学 科生	小計(1科目)	-	0	2	0						3
	シ® ッイ	インターンシップ I (国内)	2前		2		2					8
	ブン タ	インターンシップ Ⅱ (海外)	3通		4		_					3
	۱ ۷	小計(2科目)	-	0	6	0	2					11
	798	学校インターンシップ	2		2							
	プランシック	小計(1科目)	_	0	2	0						
г	=	キャリア科目計	_	0	22	0						
興	元	わが人生の転機I(教職員編)	1前		2							2
動館	気力	わが人生の転機 II (同窓生編)			2		1					1
科	71	「笑い」のパワー・生きるカ			2		1					1
目		禅(ZEN)で元気なこころとからだをつくろう			2		l .					2
へ 全		ライフプラン(人生設計)でやる気づくり	1前・後		2							1
全学		小計(5科目)	-	0	10	0	2					7
部学科	企	瀬戸内海地域の魅力を発信しよう	1前	Ť	2		Ť					1
科	画力	企画力養成講座	1前		2							1
共通	וו	経営実践	1休		2		1					
Ü		みんなで教材を創ろう	1前		2							1
		プロスポーツによる広島活性化講座			2							1
		「私たちの広島」PR実践	1後		2							1
		文芸創作実践	1後		2							1
		コピーライティング実践講座	1前		2							1
		興動館プロジェクトと企画カ	1前		2							1
		人の行動を経済学で読み解く	1後		2							3
		小計(10科目)	-	0	20	0	1					11
	行	ビジネス・シミュレーション・ゲーム	1前	Ť	2	_	Ė					3
	動	身近なボランティア活動	1後		2			1				Ĭ
	カ	NPO・NGOの立ち上げと活動			2			1				
		戦略MG(マネジメントゲーム)	1前・後		2			'				1
		興動館プロジェクトの計画と実施	1前		2			1				
		興動館プロジェクトの評価と改善	1後		2			1				
		森の社会貢献実践	1休		2			'				1
		興動館プロジェクトの経営戦略	1後		2			1				
1			· 12	_	16	0		1	 			5
		小計(8科目)	-	0	110							

			配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗目 ≅分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
能力	目①	簿記論 I	1前		4							1
力開	税理	簿記論Ⅱ	1後		4							1
発	士	財務諸表論 I	1前		4							1
科目	関係	財務諸表論Ⅱ	1後		4							1
_	科	小計(4科目)	ı	0	16	0						1
全学	F ル ② C ブ フ ン ラ ア	資産運用実務 I	2前		4							3
部	関シイ係ナナ科トン	資産運用実務 Ⅱ	2後		4							3
学科	H ~ D A T	小計(2科目)	-	0	8	0						3
共	士③ 関宅	不動産実務法務I	1休		4							1
通)	係地 科建	不動産実務法務Ⅱ	2前		2							1
	目物 取	不動産実務法務Ⅲ	2前		2							1
	51 F (4)	小計(3科目)	-	0	8	0						1
	関I 係T	IT戦略とマネージメント	2前		4							1
	料パ目スポ	情報化技術	2後		4	_						1
	i	小計(2科目)	-	0	8	0						1
	開(数 係 務 り 提 度 条	資本市場の役割と証券投資	2前	_	2							2
		小計(1科目)	-	0	2	0						2
	プテヤ クラック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファ	※受講する科目数によって単位を決定	2	_	1又は2	_	<u> </u>					<u> </u>
μ		小計(1科目)	_	0	1又は2 43又は	0						
+	= 0	き力開発科目計	_ 	0	44	0	-					-
ャ	ング関係料 日 シ	キャリアスキルズ I キャリアスキルズ II	2前		2							1
リア	87 87 89	小計(2科目)	2後	_	2	_						1
科	M 2	社会人基礎学力基礎	1 80	0	4	0						2
目	係就 料職 目対	社会人基礎学力応用	1前		2							1
へ 全	策試	小計(2科目)	1後	0	2	0						2
学如	関③	教職教養	3後	0	2	U						1
部学	係教 科員 目採	思考力開発	3後		2							1
科共	用 試	小計(2科目)	31久	0	4	0						1
通	験 目女(3) 損女	女子学生のためのキャリア形成入門	1前	0	2	0						3
\sim	間子 係 学 料 生	小計(1科目)	- LH I	0	2	0						3
	シ⑤	インターンシップ I (国内)	2前	0	2	0	2					8
	ブンタ	インターンシップⅡ(海外)	3通		4		_					3
	ーン	小計(2科目)	-	0	6	0	2					11
	796 19	学校インターンシップ	2	Ť	2	_						
	ン教 シイ ッン	小計(1科目)	_	0	2	0						
Г	=	キャリア科目計	-	0	22	0						
興	元	わが人生の転機 I (教職員編)	1前		2							2
動館	気力	わが人生の転機 II (同窓生編)	1後		2		1					1
科	,,	「笑い」のパワー・生きるカ	1休		2		0					2
目		褌(ZEN)で元気なこころとからだをつくろう	1前・後		2							2
全		ライフプラン(人生設計)でやる気づくり	1前・後		2							1
学部		小計(5科目)	ı	0	10	0	1					8
学	企画	瀬戸内海地域の魅力を発信しよう	1前		2							1
科共	力	企画力養成講座	1前		2							1
通		経営実践	1休		2		0					1
\sim		みんなで教材を創ろう	1前		2							1
		プロスポーツによる広島活性化講座	1 13/3		2							1
		「私たちの広島」PR実践	1後		2							1
1		文芸創作実践	1後		2							1
		コピーライティング実践講座	1前		2							1
		興動館プロジェクトと企画力	1前		2							1
		人の行動を経済学で読み解く	1後	Ļ	2		<u> </u>					3
1	4 =	小計(10科目)	-	0	20	0	0					12
	行動	ビジネス・シミュレーション・ゲーム	1前		2							3
	カ	身近なボランティア活動	1後		2			1				
		NPO・NGOの立ち上げと活動	1前		2			1				١.
		戦略MG(マネジメントゲーム)	1前・後		2							1
		興動館プロジェクトの計画と実施	1前		2			1				
		興動館プロジェクトの評価と改善	1後		2			1				
		森の社会貢献実践	1休		2							1
		興動館プロジェクトの経営戦略	1後	_	2	•	-	1				-
Ш		小計(8科目)	-	0	16	0	l	1				5

			配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	¥目 ≤分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	投授	師	教	手	担
與動	共生	広い世界に飛び出そう	1後		2							2
総料目	エカ	ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう	1後		2							1
~ 全 学		スポーツで学ぶ共生力	1前		2							1
部学		コミュニケーション実践	1後		2							1
科共通		広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人	1前		2							2
~		興動館プロジェクトとコミュニケーション	1後		2							1
		ユニバーサルデザイン実践	1後		2							1
Ш		小計(7科目)	-	0	14	0						8
L		興動館科目計	-	0	60	0						
留学	正 規	日本語A	1前・後		2							2
生	留	日本語B	1前・後		2							2
科目	学生	日本語(基礎A)	1前		1							1
$\overline{}$	の	日本語(基礎B)	1前		1							1
全学	日本	日本語(基礎C)	1前		1							1
部	語	日本語(基礎D)	1後		1							1
学科	関	日本語(基礎E)	1後		1							1
共	係科	日本語(基礎F)	1後		1							1
通	目	日本語(発展A)	2前		1							1
\sim		日本語(発展B)	2前		1							1
		日本語(発展C)	2前		1							1
		ビジネス日本語A	2後		1							1
		ビジネス日本語B	2後		1							1
		ビジネス日本語C	2後		1							1
	-	小計(14科目)	-	0	16	0						5
	交換	Practical Management Theory for International Students I	1前		2							1
	留	Practical Management Theory for International Students II	1後		2							1
	学 生	Independent Study I	1前		2							1
	科	Independent Study II	1後		2							1
	目	Independent StudyⅢ	1前		2							1
		Independent StudyIV	1後		2							1
		Japanese Law and Society I	1前		2							1
		Japanese Law and Society II	1後		2							1
		International Trade	1前・後		2							1
					_							,
		Environment and Business	1前・後		2							1
		Theory and Practice of Budo			2							2
		Issues in Contemporary Japan	1前・後		2							1
		Japan and the Environment			2							1
		Study on International Issues and Challenges	1前・後		2							1
		Japanese Religion and Culture	1前・後	_	2							1
μ		小計(15科目)	_	0	30	0						7
		留学生科目計	_	0	46	0						

			配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗目 ≅分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
剪動	共生	広い世界に飛び出そう	1後		2							2
典數館科目	力	ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう	1後		2							1
へ 全 学		スポーツで学ぶ共生力	1前		2							1
部学		コミュニケーション実践	1後		2							1
料共通		広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人	1前		2							2
~		興動館プロジェクトとコミュニケーション	1後		2							1
		ユニバーサルデザイン実践	1後		2							1
		小計(7科目)	-	0	14	0						8
rsn		興動館科目計	-	0	60	0						
留学	正規	日本語A	1前・後		2							2
生	留	日本語B	1前・後		2							2
科目	学生	日本語(基礎A)	1前		1							1
<u>^</u>	の	日本語(基礎B)	1前		1							1
全学	日本	日本語(基礎C)	1前		1							1
部	語	日本語(基礎D) 日本語(基礎E)	1後		1							
学科	関係	日本語(基礎F)	1後 1後		1							1
共	科	日本語(発展A)	2前		1							1
通	目	日本語(発展B)	2削 2前		1							1
		日本語(発展C)	2前		1							1
		ビジネス日本語A	2後		1							1
		ビジネス日本語B	2後		1							1
		ビジネス日本語C	2後		1							1
		小計(14科目)	-	0	16	0						5
	交	Practical Management Theory for International Students I	1前		2							1
	換留	Practical Management Theory for International Students II	1後		2							1
	学	Independent Study I	1前		2							1
	生科	Independent Study II	1後		2							1
	目	Independent StudyⅢ	1前		2							1
		Independent Study IV	1後		2							1
		Japanese Law and Society I	1前		2							1
		Japanese Law and Society II	1後		2							1
		International Trade	1前・後		2							1
		International Economics	1前・後		2							1
		Environment and Business	1前・後		2							1
		Theory and Practice of Budo	1前・後		2							2
		Issues in Contemporary Japan	1前・後		2							1
		Japan and the Environment			2							1
		Study on International Issues and Challenges	1前・後		2							1
		Japanese Religion and Culture		_	2							1
H		小計(16科目) 	-	0	32	0						8
		留学生科目計	-	0	48	0			1	1		

Γ				配	<u>í</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗 E 区 分		授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
ス	2		経済入門	1前	<u>修</u>	択	由	授 1	授	師	教	手	担
ポ 	月	4	経営入門	1後	2			1					
ツ経	E	1	スポーツ経営入門 初級簿記 I	1前 ^{1前・後}	2	2		1					6
営学			小計(4科目)	- 1削・仮	6	2	0						6
科科	退		スポーツ文化論	1後	2				1				
目	和 毛 目	4	スポーツ経営学スポーツ産業論	2前	2				1				
経済		-	スポーツを未細スポーツマーケティング論	2前 2後	2	2			1				
学関			スポーツ英語	2後		1							1
係			経営学	2前		2		1					
体			マーケティング論基礎会計学基礎	2前 2前		2							1 2
育関			経済学基礎	1後		2		1					_
係分			経済政策論基礎	2後		2							1
野科			Sport Culture in Japan The Worlds Top Athletes from Japan	2後 2前		2		1	1				
目			Major Sports in Japan	2 1 2 後		2		1					
			小計(13科目)	-	6	19	0	3	2				5
		経済	コミュニティビジネス論	3後		2			1				1
	· 応	· 経	イベント論 スポーツファイナンス論	2前 3前		2		1					
	用科	営関	プロスポーツ論	3後		2		1					
		医連科	スポーツ組織論	2後		2			1				
		目	スポーツジャーナリズム論 スポーツメディア論	3前		2							1
			産業組織論	3後 3後		2							1
			国際経済学	3後		2		1					
			スポーツ統計	3後		2							1
			アジア経済 アメリカ経済	3前 2後		2		1					1
			スポーツ経済論	2 2前		2							1
			組織マネジメント論	2後		2		1					
			経営戦略論 財務会計論	3前		2		1					
			経営分析論	2後 3後		2							1
			管理会計論	3前		2							1
		スポ	スポーツ社会学	2後		2		1					
		ーツ	地域スポーツ論 スポーツコーチング論	2前 3後		2		1	1				
		関連	スポーツトレーニング論	2前		2			1				
		足科目	-	3後		2							1
			スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス	2前		2		1					
			スポーツ医学	3後 3後		2							1
			スポーツ栄養学	3後		2							1
			救急処置法	3休		2							1
			健康運動プログラム論 レクリエーションスポーツ論	3後 2前		2		1	1				
			スポーツ施設マネジメント	3前		2			1				
		実験	スポーツ指導法演習	2前		2			2				
		主実	スポーツトレーニング実習 スポーツ生理学実験	2後 2後		1		1	1				1
		習・	スポーツトレーナー実習	2後 2後		1		'					1
		演	レクリエーションスポーツ実習 I (ゲーム)	2後		1		1					
		習科	レクリエーションスポーツ実習 II (キャンプ)	2休		1		1					1
		目	レクリエーションスポーツ実習II(スノー) スポーツトレーナー演習	2休 2前		1 2		1					1
1			地域スポーツ貢献演習	2後		2			1				1
1			スポーツビジネス演習Ⅰ	2前		2		1					1
1			スポーツビジネス演習 II スポーツマネジメント演習	2後 2前		2		1	2				1
1			スポーツビジネス視察 I (国内)	2則		1		1	1				
1			スポーツビジネス視察 II (海外)	2休		1		2					
1			チームビルディング	2前		1							1
1			チームマネジメント 小計(47科目)	2後 -	0	2 85	0	6	5				1 17
r	(47		スポーツ経営学科科目 体関係・体育関係分野科目)計	_	12	106	0	Ť	Ť				<u> </u>
H	・中生		計(247科目)	_	36	415又	2	6	5				133
L		ŗ	- HI (- 1/17 H)		50	は416	_	٠	,				رد

				配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	斗 E ス ケ		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
	<u>-</u> /.	,		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
スポ	7		経済入門	1前	2			1					
/\ 	月毛		経営入門	1後	2			0					1
ツ経	E	1	スポーツ経営入門	1前	2			0	1				
営			初級簿記I	1前・後		2							5
学科	+	+	小計(4科目)	-	6	2	0	1	1				6
科	基础		スポーツ文化論	1後	2				1				
目(利 E		スポーツ経営学 スポーツ産業論	2前	2				1				
経文	-	7	スポーツマーケティング論	2前 2後	2	2			1				
済学			スポーツ英語	2後		1			'				1
関係			経営学	2前		2		0					1
٠			マーケティング論基礎	2前		2		•					1
体育			会計学基礎	2前		2							2
関			経済学基礎	1後		2		1					
係分			経済政策論基礎	2後		2							1
野			Sport Culture in Japan	2後		2			1				
科目			The Worlds Top Athletes from Japan	2前		2		1					
\sim			Major Sports in Japan	2後		2		1					
	<i>a-</i> '		小計(13科目)	-	6	19	0	2	2				6
		経済	コミュニティビジネス論	3後		2			1				1
			イベント論	2前		2		1					
		経営		3前		2		0					1
	科	関	プロスポーツ論	3後		2		1					
	目	連科	スポーツ組織論	2後		2			1				
		Ħ	スポーツジャーナリズム論	3前		2							1
			スポーツメディア論	3後		2							1
			産業組織論	3後		2							1
			国際経済学	3後		2		1					
			スポーツ統計 アジア経済	3後		2							1
			アメリカ経済	3前		2		1					
			スポーツ経済論	2後		2							1
			組織マネジメント論	2前 2後		2		_					1
			経営戦略論	21友		2		0					1
			財務会計論	3後 2後		2		U					1
			経営分析論	3後		2							1
			管理会計論	3前		2							1
		ス	スポーツ社会学	2後		2		1					Ė
		ポー	地域スポーツ論	2前		2		1					
			スポーツコーチング論	3後		2			1				
		関連	スポーツトレーニング論	2前		2			1				
		科	スポーツ心理学	3後		2							1
		目	スポーツ生理学	2前		2		1					
			スポーツバイオメカニクス	3後		2							1
			スポーツ医学	3後		2							1
			スポーツ栄養学	3後		2							1
			救急処置法	3休		2							1
			健康運動プログラム論	3後		2		1					
			レクリエーションスポーツ論	2前		2			1				
			スポーツ施設マネジメント	3前		2			1				
		実験	スポーツ指導法演習	2前		2			2				
			スポーツトレーニング実習	2後		1			1				
		実習	スポーツ生理学実験	2後		1		1					1
		•	スポーツトレーナー実習	2後		1		١.					1
		演習	レクリエーションスポーツ実習 I (ゲーム)	2後		1		1					1
		科	レクリエーションスポーツ実習Ⅱ(キャンプ)	2休		1		1					1
		目	レクリエーションスポーツ実習皿(スノー)	2休		1		1					1
			スポーツトレーナー演習 地域スポーツ貢献演習	2前		2			-				1
			地域スポーツ貝献演習 スポーツビジネス演習 I	2後		2		1	1				1
			スポーツビジネス演習Ⅱ	2前 2谷				1					1
			スポーツビン不入演省॥ スポーツマネジメント演習	2後		2		1	2				1
			スポーツマインメント演音スポーツビジネス視察 I (国内)	2前 1休		1		1	2				
			スポーツビジネス視察 I(国内)	11小 1休		1		1 2	'				
			チームビルディング	2休		1							1
			チームヒルティング	2 <mark>1小</mark> 2後		2							1
			小計(47科目)	- 区	0	85	0	4	5				21
H	!		スポーツ経営学科科目	H				-	J				
	(経		学関係·体育関係分野科目)計	_	12	106	0						
		4	合計(250 科目)	-	36	421又 は422	2	4	5		l		138

51 E		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担

卒業要件及び履修方法

以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選択科目88単位以上(選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上))を修得す

(科日区分)

- ①共通科目
- 1)必修科目8単位
- 2)選択必修科目14単位以上 3)選択科目8単位以上

- 1)必修科目16単位
- ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目
- 受合は歴紀代は八公田出たは、でナー・スター・ロビューのようでは、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得し た単位数)
- 1)選択科目24単位以上
- ④スポーツ経営学科科目(経済学関係、体育関係分野科目)
- 1) 必修科月12単位
- 2)選択科目42単位以上(経済・経営関連科目10単位以上、スポーツ関連科目8単 位以上、実験·実習·演習科目6単位以上)

【履修方法】

「限修み」の 履修科目の登録の上限: 1年次40単位、2年次以上48単位(年間) ただし、卒業年次 生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※ 自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

-	-		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担

卒業要件及び履修方法

以下の科目区分に定める単位数を満たし、124単位以上(必修科目36単位及び選択科目88単位以上(選択必修科目14単位以上、選択科目74単位以上))を修得す

- (科目区分)
- ①共通科目
- 1)必修科目8単位
- 2)選択必修科目14単位以上 3)選択科目8単位以上

- 1)必修科目16単位
- ③自由選択科目※自由に選択できる卒業要件単位に含まれる科目

受自加速が行った日間とかいてのサースリー 上げに日 64のの行り (能力開発科目、キャリア科目、興動館科目、留学生科目及び、他学部学科科目、単位互換科目、語学留学振替単位、共通科目・学科科目で必要単位数を超えて修得し た単位数)

- 1)選択科目24単位以上
- ④スポーツ経営学科科目(経済学関係、体育関係分野科目)
- 1)必修科目12単位
- 2)選択科目42単位以上(経済・経営関連科目10単位以上、スポーツ関連科目8単 位以上、実験・実習・演習科目6単位以上)

【履修方法】

「限度・ハム」 履修科目の登録の上限: 1年次40単位、2年次以上48単位(年間) ただし、卒業年次 生に限り、後期に履修制限単位数の他に、8単位までの追加履修登録を認める。※ 自由科目(卒業要件に参入しない科目)は履修制限単位数には含まない。

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 担当者就任辞退及びクラス再編の理由により、外国語科目の教員の配置小計を「兼任・兼坦29」から「兼任・兼坦28」へ変更
 - 「文章表現演習・標準」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦4」から「兼任・兼坦3」へ変更
- ・ 教育内容充実の理由により、授業科目「日本外交史」「国際関係史」「International Economics」を新規に追加
- · 「世界の歴史 I · II 」担当者就任辞退の理由により教員の配置を「兼任·兼坦2」から「兼任·兼坦1」へ変更
- ・ 担当教員の本務校業務により、「環境法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・「ゼミ科目」専任教員就任辞退の理由により、教員の配置を「教授6」から「教授4」へ変更
- ・「大学入門ゼミ」「興動人入門ゼミ」科目教育内容充実の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦1」から「兼任・兼坦2」へ変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「不動産実務法務 I 」の配当年次を「1後」から「1休」に変更
- ・ 「笑い」のパワー・生きる力」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・ 「経営実践」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・ 「経営入門」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・「スポーツ経営入門」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「教授1」から「准教授1」へ変更
- ・「初級簿記 I | 担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「兼任・兼坦6 | から「兼任・兼坦5 | へ変更
- ・ 「経営学」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・ 「スポーツファイナンス論」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・「組織マネジメント論」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・ 「経営戦略論」担当者就任辞退の理由により、教員の配置を「教授1」から「兼任・兼坦1」へ変更
- ・時間割の都合により、「経営戦略論」の配当年次を「3前」から「3後」に変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「レクリエーションスポーツ実習 I (ゲーム)」の教員の配置を「兼任・兼坦0」から「兼任・兼坦1」に変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「スポーツビジネス視察Ⅱ (海外)」の配当年次を「2休」から「1休」に変更
- ・ 教育内容充実の理由により、「チームビルディング」の配当年次を「2前」から「2休」に変更
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科日数

	設置時	の計画			変	更状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	佣石
18 科目	228 科目	1 科目	247 科目	18 科	■ 231 ≉ [3	.目 1 科目	250 科目 [3]	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	247	_	" "

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内					7	\$				備考
(1)		区	分		専	用		共	用			ŧ用する ∳校等の			ī	it		
校		校 含	き敷 地	<u>t</u>		91, 279	9. 12m²			0m²			0	mi	(91, 27	9. 12m²	
12		運動	場用地	!	120, 117. 63㎡		7. 63m²	0m²		0m²	0m²		m²	120, 117. 63 m²		7. 63 m ²		
地		小	計	-		211, 396	ô. 75 ㎡			0m²			0	m²	2	11, 39	6. 75 m²	
等		そ	の他	!		1, 645	5. 68m²			0m²			0	m [*]		1, 64	5. 68 m²	
9		合	計			213, 042	2. 43m²			0m²				m	2	13, 04	2. 43 m²	
					専	用		共	用			ŧ用する ≠校等の			Ī	it		
(2) 校			舎			55, 478	3. 94m²			0m²			0	m²	į	55, 47	8. 94m²	
					(55, 4	78. 94m	ก๋)	(0m²)		(0 m ²)	(55, 478	8. 94n	ń)	
				講	義室		演習	室	実験:	実習室	Ē	情報	処理学習	施設	語学:	学習旅	拖設	
(3) 教		室	等		2	5室		64室			25室			0室			1室	大学全体
						°		0.1			201	(補助	助職員 ()人) (補助聯	哉員	0人)	
(4) 専	仟教	(員研究	字			新	設学部等	の名称					室		数			平成31年3月31日付でス ポーツ経営学科専任教員
							経営学	部					2 (3 (室	2名が退職したため(元)
	±	ᄕᆖᇝᄽᅼᇸ	cn 445		図 書		学術雑	誌				視聴覚	党 資料	機械・器	具	標	本	学部単位での特定が不
(5)	木	新設学語 の名和		〔う	ち外国書〕		[うち外]	国書〕	電子ジ	ャーナ	トル							能なため、大学全体の 数
						₩		種	[うち	外国書	書)		点		点		点	
図書		経営学	部		0 (133, 108) !10 (128, 932)		, 969 〔1, 5, 099 〔1	-	7, 050 (2, 545			(5, 4	6, 120		0			電子ジャーナル: 抄録 や書誌情報のみのもの
• 設				(478, 8	110 (127, 424)) –(4	, 909 [1,	294]	(6, 407	(6, 32	7)	(5, (960)	(0)	1	((0)	は除外したため(元)
備		計			0 (133, 108) !10 (128, 932)		, 969 〔1, 5, 099 〔1	-	7, 050 (2, 545			(5, 4	6, 120 428)		0		0	視聴覚資料:除籍のため(元)
				(478, 8	110 (127, 424)	-(4	, 909 [1,		(6, 407	[6, 32	7)	(5, (960)	(0)			0)	() () () () () () () () () () () () () (
(6) 図		書	館		面	積		2	閲覧	座席	数		収	納可	能			
							, 685. 28r -	ń			- ^	441席		- Ing		4//	, 750冊	
(7) 体		育	館		面	積		2 40 4 12 -	- 4 . 18 .					設の概要 				大学全体
	- 1			7	Λ				ラウンド・				ļ			= +	左曲	
(8)		経費の見	数 昌 1		分	開設:		完成年度			分		前年度	開設年月 5,000-			年度 00千円	
(O) 経費の)見	積り			り研究費等 		00千円	500∓		書購入 一一			60千円	22, 350=				
積り及維持方	び i法	学生 1			究 費 等 ———— 1 年次		千円 2 年 27		·円 設信 3 年次	構購入 	第4年		1	 5 年次			50千円 	
の概	要	子生り納り	J		880千円		2 年次 880千F		880千円	1		80千円	第 5) 一 一 千 円		第6年	-火 千円	
	F			וואיי	- 000〒円 維持方法の	柳亜	00071	1	000干円		0	∪∪ <u>-</u> [7]		干巾			- [1]	•
		子土	かりり立	メントリバ	唯时刀法贝	1以女												

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広 島	経え	齐 大 :	学						備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年度	
経済学部			人							
経済学科	4	330	若干	1320	学士 (経済学)	0. 95		昭和42年度	広島県広島市安佐南区祇園 五丁目37番1号	
経営学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		昭和49年度	同上	※平成31年4月学 生募集停止
ビジネス情報学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成14年度	同上	※平成31年4月学 生募集停止
メディアビジネス学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-		平成16年度	同上	※平成31年4月学 生募集停止
スポーツ経営学科	4	-	-	-	学士 (スポーツ経 営学)	-		平成23年度	同上	※平成31年4月学 生募集停止
経営学部										
経営学科	4	310	若干	310	学士 (経営学)	1. 00		平成31年度	広島県広島市安佐南区祇園 五丁目37番1号	
スポーツ経営学科	4	70	-	70	学士 (スポーツ経 営学)	0. 82		平成31年度	同上	
<u>メディアビジネス学部</u>										
<u>ビジネス情報学科</u>	4	80	若干	80	学士 (経営学)	0. 90		平成31年度	広島県広島市安佐南区祇園 五丁目37番1号	
<u>メディアビジネス学科</u>	4	60	若干	60	学士 (経営学)	1. 11		平成31年度	同上	
大学全体	4	850	若干	1840	-			-	-	
大学院経済学研究科 経済学専攻										
博士課程後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0. 22		平成2年度		
博士課程前期課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0. 95		昭和54年度		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 スポーツ経営学科>

<経	営学部	スポーツ経営学科>			
	_	担当教員表	7 A 2	n = Æ	m 1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	は届出時】 氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	及』 氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		柳川 和優 (60) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)			柳川 和優 (60) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)
専	教授(学部長)	スポーツ料学 スポーツ実習 大学及列化と 大学及列化と 対して 高麗智リーンシップ I (国内) カンボーンを観測 (国際生編) スポーツ生理学ラス論 スポーツ生理学ラス論 スポーツ生理学テ実験	専	教学 業工 任)	スポーツ料学 スポーツ実習 実験も人と同じます。 大学教力と同じます。 大学教力と同じます。 変習とリーンシップI(国内) カがパーツまで経費「同窓生編) スポーツ生理学実験 スポーツ生理学実験
		藤口 光紀 (69(高)) <平成31年4月> 文学士			藤口 光紀 (69(高)) <平成31年4月> 文学士
専	教授 (学科 主任)	大学入門ゼミ 東京ボーツ経営本門 ブロスボージを3 フロスボージが スポーツビジネス演習 I スポーツビジネス演習 I	専	教授 (学科 主任)	大学入門ゼミ 東勢人人門ゼミ スポーツ経営入門 プロスポーツ館 ブロスポーツ エポーツビジネス演習 I スポーツビジネス演習 I
		永田 智章 (54) 〈平成31年4月〉 教育学修士,修士(経済学)※			永田 智章 (54) 〈平成31年4月〉 教育学修士,修士(経済学)※
専	教授	大学入門ゼミ 貝勒人人門ゼミ フレゼミ ブレゼミ 漢字 漢字 漢字 英子 英子 英子 英子 英子 英子 デン ジー ジー フシア ジャ フシア ジャ フシア ジャ フシア ジャ フシア フシア ジャ フシア フシア フシア フェア フェア フェア フェア フェア フェア フェア フェア フェア フェ	専	教授	大学入門ゼミ 関動人人門ゼミ 関動人人門ゼミ フレゼミ フレゼミ 高麗音工 経済大学基礎 国際経済学 アジア経済学 アジア経済学 アンボーツビジネス視察 I (海外)
專	教授	*A田 博 (52) (平成3)年4月> 博士(マネジメント) 博士(マネジメント) 大学入門ゼミ 同動人入門ゼミ ブレゼミ 湾雷Ⅱ インを支援 スポーツビジネス演習Ⅱ スポーツビジネス演習Ⅱ スポーツビジネス演習Ⅱ			
			兼坦	准骸	藤原 久間 (52) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
					経営実践
			兼坦	准骸	幸田 圭一朝 (38) (令和3年4月) 博士(経営学) スポーツファイナンス論
—		濱口 博行			濱口 博行
専	教授	(70(高)) <平成31年4月> 政治学士 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ	専	教授	(70(高)) <平成31年4月> 政治学士 大学入門ゼミ 興動人入門ゼミ
		Major Sports in Japan イベント論 林 和夫			Major Sports in Japan イペント論 林 和夫
		(61) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)			(61) <平成31年4月> 修士(経営学) 大学入門ゼミ
専	教授	大学入門ゼミ 関動人人門ゼミ ブレゼミ ブレゼミ 漢書 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	専	教授	興動人入門ゼミ 方電『 方電『 元電』 インターンシップ【(国内) スポーツマーケティング論 The World's Top Atthietes from Japan Sports in Japan フロスポーツビジネス要■ スポーツビジネス要■ スポーツビジネス接電 スポーツビジネス接電 スポーツビジネス接電 スポーツビジネス接票 スポーツビジネス接票 (国内)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名
		松本 耕二 (51) <平成31年4月> 修士(体育学)				松本 耕二 (51) <平成31年4月> 修士(体育学)
專	教授	スポーツ実習 大学入門付きミ 対しせき 見効レゼミ アルゼミ アルギュニーツ 大学スポーツ 大学スポーツ 大学スポーツ (ゲーム) レクリエーションスポーツ実習 (キャン) (キャン) レクリエーションスポーツ実習 (スノー)		専	教授	スポーツ実を 大学入門はミ 対しれる。 対した。 対した。 清潔計 ツ社会学 地域スポーツ論 ングリエーションスポーツ実習 「 (ゲーム) レクリエーションスポーツ実習 「 (キャン) レクリエーションスポーツ実習 「 (スノー)
		山本 公平 (54) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※				
専	教授	大学入門ゼミ 見知人門ゼミ プレゼミ ブレゼミ ブルゼミ 河演習I 「美営入門 経営大門 経営大門 経営大門 経営戦略論				
				兼坦	教授	石川 明美 (61) 〈平成31年4月〉 経済学修士※
						経営入門
				兼坦	教授	松川 佳洋 (60) (今和2年4月) 博士(総営学) 組織マネジメント論
			ŀ			宫丝 渗
				兼坦	助數	(38) 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
						山本 公平 (54) 〈平成31年4月〉 俸士(経済学)※
				兼任	講師	「笑い」のパワー・生きるカ
		渡辺 勇一 (67(高)) <平成31年4月> 法学士				渡辺 勇一 (67(高)) <平成31年4月> 法学士
専	教授	大学入門ゼミ 同動シーンシャンナリス がターンシャンナリスム コスポーツビシネティスカ海宮 スポーツビジネス演習 I スポーツビジネス		専	教授	大学入門ゼミ 見動シープシャンナ I (国内) インシャンナリズム カープシャンナリズム カープシャンナリス スポーツビジネスス演習 I スポーツビジネスス演習 I
		渡辺 勇一 (70) <令和4年4月> 法学士				渡辺 勇一 (70) <令和4年4月> 法学士
兼任	講師	スポーツジャーナリズム論 スポーツメディア論 スポーツビジネス演習 I スポーツビジネス演習 I		兼任	講師	スポーツジャーナリズム論 スポーツメディア論 スポーツビジネス演習 I スポーツビジネス演習 I
		尾方 剛 (45) <平成31年4月> 修士(教育学)				尾方 剛 (45) <平成31年4月> 修士(教育学)
専	准教授	大学入門ゼミ 男勢人人と 男勢人と言 法漢音 法漢音 スポーツ報告 スポーツ報事法漢言 スポーツ報事法漢言 スポーツ報事法漢言 スポーツマネジメント演言		専	准教授	大学入門ゼミ 男勢・ゼミ 男勢・ゼミ 著書日 本藩音II スポーツ経コーチン法 スポーツ日本法書 スポーツ日本法書 スポーツオネジメント演習
		岡安 功 (45) <平成31年4月> 博士(スポーツ健康科学)				岡安 功 (45) <平成31年4月> 博士(スポーツ健康科学)
專	准教授	大学入門ゼミ 東勢人入門ゼミ 東海 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)		専	准教授	大学入門ゼミ 開動人入門ゼミ 関動人入門ゼミ 末書官 I 末書官 I スポーツを来論 Sport Culture in Japan レクリエーションスポーツ論 スポーツビジネス視察 I (国内)
Щ.	l	<u> </u>	ı		l	<u> </u>

専任・			i	専任・		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名
		中村 隆行 (61) < 平成31年4月> 法学修士※				中村 隆行 (61) <平成31年4月> 法学修士※
專	准教授	大学队人代表 大学队人人を 大学队人人を を を を を で の の の の の の の の の の の の の		専	准教授	大学 入一村 と 大学 入一村 と ドラ 大 ・
		松田 充 (39) 《平成31年4月》 修士(経済学),修士(教育学)				松田 亮 (39) <平成31年4月> 修士(経済学),修士(教育学)
専	准教授	大学入門ゼミ 大学入門ゼミ 実動人ゼミ 東京ボーツトレーニ演 京ボーツトレーニ演習 スボーツトレーニ演習 ススボーツトレーニ演習 ススボーツマネジス スズボーツマネジススボーツマネジススボーツマネジススボーツマネジススボーツマネジススポーツマネジススポーツマネジススポーツマネジススポーツマネジススポーツマネジスマ		専	准教授	大学入門ゼミ 貝勢人人門ゼミ ブレゼミ ブルゼミ ブ 演習 国 ズボーツを営入門 スポーツトレーニング 油 スポーツトレーニング 油 スポーツを ボーツで ボーツで スポーツで スポーツで スポーツで スポーツで スポーツを ストを ストを ストを ストを ストを ストを ストを スト
		渡辺 泰弘 (39) <平成31年4月> 博士(スポーツ健康科学)				渡辺 泰弘 (39) <平成31年4月> 博士(スポーツ健康科学)
専	准教授	スポーツ大学を受け、アンスを対しています。 スポーツ 大学入門人門 できる アンス		専	准教授	スポーツ実習大学入門ゼミ ス大学入門付き 見プレア・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー
兼坦	教授	新垣 繁秀 (55) 〈平成31年4月〉 経済学修士※ 人の行動を経済学で読み解く【隔		兼坦	教授	新垣 繁秀 (55) 〈平成31年4月〉 経済学修士※ 人の行動を経済学で読み解く【隔
		年】				年]
兼坦	教授	小笠原 礼以 (51) 〈令和2年4月〉 修士(経済学)※		兼坦	教授	小笠原 礼以 (51) (今和2年4月) 修士(経済学)※
		インターンシップ I (国内)				インターンシップ I (国内)
兼坦	教授	岡田 斎 (66) (令和2年4月) 博士(経営学),博士(工学)		兼坦	教授	岡田 斎 (66) 〈令和2年4月〉 博士(経営学),博士(工学)
		インターンシップ I (国内)				インターンシップ I (国内)
		岡本 恵子 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士				岡本 恵子 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士
兼坦	教授	ビジネス日本語演習 文章表現演習・発展 日本文学A インターンシップ I (国内) 文 芸創作実践		兼坦	教授	ビジネス日本語演習 文章表現演 日本文学人 大学入門ゼミ スシスト門ゼミ インターアシップ I (国内) 文芸創作実践
		岡本 貞雄 (66) 〈平成31年4月〉				岡本 貞雄 (66) 〈平成31年4月〉
兼坦	教授	文学修士※ 日本の思想と文化 日本の宗教 禅(ZEN)で元気なこころとからだを つくろう		兼坦	教授	文学修士※ 日本の思想と文化 日本の宗教 禅(ZEN)で元気なこころとからだを つくろう
		小谷 幸生 (67) 〈平成31年4月〉 Master of Business Administration(7メリカ)				小谷 幸生 (67) 〈平成31年4月〉 Master of Business Administration(7メリカ)
兼坦	教授 (学長)	わが人生の転機 I (教職員編) 経営分析論 管理会計論		兼坦	教授 (学長)	わが人生の転機 I (教職員編) 経営分析論 管理会計論
兼坦	教授	神田 義浩 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士※		- 本中	教授	神田 義浩 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士※
100		社会心理学 大学入門ゼミ 興動館入門ゼミ		兼坦		社会心理学 大学入門ゼミ 興動館入門ゼミ
兼坦	教授	北野 尚人 (62) 〈平成31年4月〉 経済学士		兼坦	教授	北野 尚人 (62) 〈平成31年4月〉 経済学士
		コピーライティング実践講座				コピーライティング実践講座

東岸.			1	東/7		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名
兼坦	教授	宜名眞 勇 (68) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy(7⅓⅓)		兼坦	教授	宣名眞 勇 (68) 〈平成31年4月〉 Doctor of Philosophy (アメリカ)
		International Trade				International Trade
		高石 哲弥 (51) 〈平成31年4月〉 博士(理学)				高石 哲弥 (51) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
兼坦	教授	数学A 数学B 数学C 自然科学A 自然科学B 自然系列等B 社会人基礎学力応用 インターンシップ I (国内)		兼坦	教授	数学A 数学B 数学C 自然科学A 自然科学B 社会人基礎学力応用 インターンシップI(国内)
		田中 泉 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※				田中 泉 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼坦	教授	広島の歴史と文化※ 世界の歴史 I 世界の歴史 II 世界の宗教※ 広島とハワイで学ぼう!めざせ国際人		兼坦	教授	広島の歴史と文化※ 世界の歴史 I 世界の歴史 II 世界の宗教※ 広島とハワイで学ぼう!めざせ国際 人
兼坦	教授	田中 章司郎 (62) 〈平成31年4月〉 博士(学術)		兼坦	教授	田中 章司郎 (62) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		Environment and Business				Environment and Business
- 兼坦	教授	田辺 洋子 (64) 〈平成31年4月〉 博士(文学)		養坦	教授	田辺 洋子 (64) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
**=	4×1×	必修英語A I 必修英語A I 英語理解・標準 I 英語理解・標準 I		**	4X1X	必修英語A I 必修英語A I 英語理解·標準 I 英語理解·標準 I
				兼担	教授	寺本 康利 (65) 〈平成31年4月〉 博士(法学)
						日本外交史 国際関係史
		人の行動を経済学で読み解く【隔年】 スポーツ統計		***		得津 康義 (46) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)
兼坦	教授			兼坦	教授	人の行動を経済学で読み解く【隔 年】 スポーツ統計
兼坦	教授	中嶋 則夫 (53) 〈令和2年4月〉 修士(経済学)※		兼坦	教授	中嶋 則夫 (53) 〈令和2年4月〉 修士(経済学)※
		スポーツ経済論				スポーツ経済論
兼坦	教授	糠谷 英輝 (59) 〈令和2年4月〉 法学士		兼坦	教授	糠谷 英輝 (59) 〈令和2年4月〉 法学士
		資本市場の役割と証券投資				資本市場の役割と証券投資
		長谷川 泰志 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士※				長谷川 泰志 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼坦	教授	日本語文章表現 文章検演習 ビジネス日本語演習 日本文学日 企画力養成講座		兼坦	教授	日本語文章表現 文章検演習 ビジネス日本語演習 日本文学日 企画力養成講座
		渡田 敏彦 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士※				渡田 敏彦 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼坦	教授	日本の歴史Ⅱ 広島の歴史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう		兼坦	教授	日本の歴史Ⅱ 広島の歴史と文化※ 瀬戸内海地域の魅力を発信しよう
		George R. Harada (59) 〈平成31年4月〉 法学修士※				George R. Harada (59) 〈平成31年4月〉 法学修士※
兼坦	教授	日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 現代社会 人様 区 小世景に 夏公出 そう Practical Management Theory for International Students I Practical Management Students I Independent Students II Independent Students II Japanese Law and Society II Japan		兼坦	教授	日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 日本国憲法 I 現代社会 人様 にい世界に飛び出そう Practical Management Theory for International Students I Practical Management Theory for International Students I Independent Study I Japanese Law and Society I Japanese Law and Societ

専任・			専任・		I
専仕・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		平岡 賢治 (68) 〈平成31年4月〉 理学修士※			平岡 賢治 (68) 〈平成31年4月〉 理学修士※
兼坦	教授	数学 A 数学 B 数学 C 社会人基礎学力応用	兼坦	教授	数学 A 数学 B 数学 C 社会人基礎学力応用
		平本 賢了 (55) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※			平本 賢了 (55) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
兼坦	教授	インドネシア語 I インドネシア語 I インターンシップ II (海外)	兼坦	教授	インドネシア語 I インドネシア語 I インターンシップ II (海外)
兼坦	教授	広田 堅志 (48) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	兼坦	教授	広田 堅志 (48) 〈平成31年4月〉 ※令和元年度海外哲学 博士(経済学)
		ゲームを通じてグローバル社会を 理解しよう			ゲームを通じてグローバル社会を理解しよう
			兼任	動師	(63) 〈平成31年4月〉 博士(商学)
					ゲームを選じてグローパル社会を 理解しよう
兼坦	教授	福居 信幸 (64) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼坦	教授	福居 信幸 (64) 〈令和2年4月〉 経済学士
		資本市場の役割と証券投資 アメリカ経済			資本市場の役割と証券投資 アメリカ経済
兼坦	教授	堀江 浩司 (48) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)※	兼坦	教授	堀江 浩司 (48) 〈令和2年4月〉 修士(経営学)※
		インターンシップ I (国内)			インターンシップ I (国内) 経営戦略論
兼坦	教授	堀江 真由美 (55) (今和3年4月) 博士(経済学) 産業組織論	兼坦	教授	堀江 真由美 (55) (令和3年4月) 博士(経済学) 産業組織論
		宮岡 弥生			宮岡 弥生
兼坦	教授	(52) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼坦	教授	(52) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		日本語(基礎 B) 日本語(基礎 F)			日本語(基礎 B) 日本語(基礎 F)
兼坦	教授	宮畑 加奈子 (55) 〈平成31年4月〉 博士(法学)	兼坦	教授	宮畑 加奈子 (55) 〈平成31年4月〉 博士(法学)
× =	76.14	日本の法律 インターンシップⅡ(海外)		70.10	日本の法律 インターンシップⅡ(海外)
兼坦	教授	森田 裕司 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼坦	教授	森田 裕司 (57) 〈平成31年4月〉 文学修士
		メンタルヘルス論 山内 昌斗			メンタルヘルス論
兼坦	教授	(42) 〈平成31年4月〉 博士(経営学)			
		わが人生の転機 II (同窓生編)			
			兼组	教授	餅川 正雄 (62) 〈平成31年4月〉 経済学士
					わが人生の転機Ⅱ(同窓生編)
		山本 貴裕 (52) 〈平成31年4月〉 文学修士※			山本 貴裕 (52) 〈平成31年4月〉 文学修士※
兼坦	教授	必修英語BI 必修英語BI 必修英語BI 必修英語CI Anademic Writing in English 世界の思想と現代社会I 広山世界に飛び化会I 広島とハワイで学ぼう!めざせ国 勝とハワイで学ぼう!めざせ国 別とのない。	兼坦	教授	必修英語BI 必修英語BI 必修英語GI Anademic Writing in English 世界の思想と現代社会I 広い世界に廃化社そう 広島とハフイで学ぼう!めざせ国際 人類panese Religion and Culture
		山本 雅昭 (55) 〈平成31年4月〉			山本 雅昭 (55) 〈平成31年4月〉
兼坦	教授	Philosophy of Doctor (イギリス) テクノロジーと社会・経済 情報とネットワーク社会 情報の用の基礎 V	兼坦	教授	Philosophy of Doctor (イギリス) テクノロジーと社会・経済 情報とネットワーク社会 情報の其磁収
		インターンシップ I (国内)			インターンシップI(国内)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼坦	教授	楊 義申 (49) (令和3年4月) 博士(経済学)	兼坦	教授	楊 義申 (49) 〈令和3年4月〉 博士(経済学)
		インターンシップⅡ(海外)			インターンシップⅡ(海外)
兼坦	准教授	石田 優子 (45) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼坦	准教授	石田 優子 (45) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
		わが人生の転機 I (教職員編) 経済政策論基礎			わが人生の転機 I (教職員編) 経済政策論基礎
兼坦	准教授	梶原 英二 (51) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※ 必修英語AI	兼坦	准教授	梶原 英二 (51) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※ 必修英語AI
		必修英語AI			必修英語AI
兼坦	准教授	本本一成 (60) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) 日本語文章表現 文章表現 日本語文演習 標準 日本語文章	兼坦	教授	木本 一成 (60) 〈平成31年4月〉 修士(教育学) 日本語文章表現 文章検演習 日本語文章表現
		文章表現演習・標準 日本語演習・発展 女子学生のためのキャリア形成入			文章表現演習・標準 日本語演習・発展 女子学生のためのキャリア形成入門
兼坦	准教授	版間 十和子 (32) (令和2年4月) 修士(商学)※	兼坦	准教授	坂間 十和子 (32) 〈令和2年4月〉 修士(商学)※
		マーケティング論基礎			マーケティング論基礎
		迫田 奈美子 (44) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(イギリス)			追田 奈美子 (44) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(イギリス)
兼坦	准教授	必修英語BI 必修英語BI 英語理解・発展I 英語理解・発展I 女子学生のためのキャリア形成入 門	兼坦	准教授	必修英語BI 必修英語BI 英語理解・発展I 英語理解・発展I 英子学生のためのキャリア形成入門
兼坦	准教授	澤 滋久 (54) (マ成31年4月) 修士(理学)※ 世界の宗教※	兼坦	准教授	澤 滋久 (54) (平成31年4月) 修士(理学)※ 世界の宗教※
		インターンシップI(国内)			インターンシップ I (国内)
兼坦	准教授	重野(白田) 裕美 (35) 〈平成31年4月〉 博士(学術) 養担	准教授	重野(白田) 裕美 (35) 〈平成31年4月〉 博士(学術) 日本語文章表表	
		ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践			ビジネス日本語演習 文章表現演習・標準 コミュニケーション実践
兼坦	准教授	竹林 栄治 (53) 〈平成31年4月〉 経済学修士※	兼坦	准教授	竹林 栄治 (53) 〈平成31年4月〉 経済学修士※
		ドイツ語 I ドイツ語 I			ドイツ語 I ドイツ語 II
兼坦	准教授	Kenneth I. Tsuye (66) 〈平成31年4月〉 Doctor of Business Administration(7メリカ)	兼坦	准教授	Kenneth I. Tsuye (66) 〈平成31年4月〉 Doctor of Business Administration(7月月)
		Independent Study III Independent Study IV			Independent Study III Independent Study IV
兼坦	准教授	土屋 祐子 (48) 〈平成31年4月〉 修士(学際情報学)	兼坦	准教授	土屋 祐子 (48) 〈平成31年4月〉 修士(学際情報学)
		「私たちの広島」PR実践			「私たちの広島」PR実践
兼坦	准教授	宮地 英和 (45) 〈平成31年4月〉 博士(芸術)	兼坦	准教授	宮地 英和 (45) 〈平成31年4月〉 博士(芸術)
		ユニバーサルデザイン実践			ユニバーサルデザイン実践
兼坦	准教授	本岡 亜沙子 (38) (平成31年4月) 博士(文学)	兼坦	准教授	本岡 亜沙子 (38) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		必修英語AI 必修英語CI 外国文学A※			必修英語 A I 必修英語 C I 必修英語 C X 外国文学 A ※
兼坦	准教授	森山(丹羽) 玲子 (47) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※	兼坦	准教授	森山(丹羽) 玲子 (47) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)※
		女子学生のためのキャリア形成入 門			女子学生のためのキャリア形成入門
		山根(大和田) 智沙子 (41) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)	بـ		山根(大和田) 智沙子 (41) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)
兼坦	准教授	インターンシップ I (国内) 人の行動を経済学で読み解く【隔 年】	兼坦	准教授	インターンシップI(国内) 人の行動を経済学で読み解く【隔 年】

東/7 .		·	W/T -		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼坦	准教授	John. A. S. Wild (54) (平53)年4月) Master of Social Science(7月9点) 必修英語日 I 夫語表別・発展 I 夫語表別・発展 I 美語表別・発展 I 光音表記を記・大きにより、 というな、 というな、 というな というな、 というな というな、 というな、 というな、 というな、 というな、 というな、 というな、 というな というな、 というな というな というな というな というな といる というな といる というな というな というな というな というな といる といる といる といる といる といる といる といる といる といる	兼坦	准教授	John A. S. Wild (54) (平成31年4月) Master of Social Science (749角) 必修英語日 I 来語表現・発展 I 東語表現・発展 I 海外研修英語 I 海外研修英語 I ビジネス英語 I ビジネス英語 I
			****		合田 優子 (30) 〈平成31年4月〉 修士 (学術)※
			兼组	計師	必修英語 B I 必修英語 B I 責格英語 II 責格英語 IV
兼坦	講師	藤田 香機 (40) 〈平成31年4月〉 学士(人文学) 必修英語 A II	兼坦	講師	藤田 香機 (40) 〈平成31年4月〉 学士(人文学) 必修英語 A II
		必修英語 A II 必修英語 C I Forrest, Richard Andrew (55) 〈平成31年4月〉			必修英語 A II 必修英語 C I Forrest, Richard Andrew (55)
兼坦	講師	本作成31年4月) Master of Public Policy※(7月別) 必修英語B-II 英語表現・基礎機度II 英語表現・基礎機度II Issues in Contemporary Japan Japan and the Environment	兼坦	講師	《平成訂年4月》 Master of Public Policy※(759前) 必修英語日 I 天語表現 - 基礎徹底 I 天語表現 - 基礎徹底 I 天語表現 - 基礎徹底 I 正 表面表現 - 國際 I Contemporary Japan Japan and the Environment
兼坦	講師	森谷 浩士 (47) 〈平成31年4月〉 修士(文学) 必修英語(A I	兼坦	講師	森谷 浩士 (47) 〈平成31年4月〉 修士(文学) 必修英語(A I
兼坦	助教	必修英語A II 東 幸代 (30) (平成31年4月) 修士(経営学) 初級簿記 I	兼坦	助教	東 幸代 京 幸代 (平成31年4月) 令和元年度育休 修士(経営学) 初級簿記 I
兼坦	助教	会計学基礎 角 裕太 (28) (平成31年4月) 博士(経営学)	兼坦	助教	会計学基礎 角 裕太 (28) (平成31年4月) 博士(経営学)
		初級簿記I 会計学基礎 財務会計論 Mark J. Tankosich			初級簿記 I 会計学基礎 財務会計論 Mark J. Tankosich
兼坦	助教	(60) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(アメリカ)	兼坦	助教	(60) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(アメリカ)
		必修英語BI 発展英会話I 発展文会話I Theory and Practice of Budo※ 平下 義記			必修英語BI 発展英会話I 免版英会話I Theory and Practice of Budo※
兼坦	助教	で 機能 (33) (33) (平成31年4月) 博士(文学) 日本の歴史 I	兼坦	准教授	サド 機能 (33) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
	Dh.#h	藤山 和久 (36) 〈平成31年4月〉 修士(英米言語文化)※	* 40	Dt. 201	藤山 和久 (36) 〈平成31年4月〉 修士(英米言語文化)※
兼坦	助教	必修英語BI 必修英語BI 外国文学A※	兼坦	助教	必修英語BI 必修英語BI 外国文学A※
兼坦	助教	森 瑞樹 (38) 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)	兼坦	准数	森 瑞樹 (38) 《平成31年4月》 博士(言語文化学)
		英語理解・発展 I 英語理解・発展 I 黃寶格英語 I 外国文学 A ※		费	英語理解・発展 I 英語理解・発展 I 英格英語 I 資格英語 I 外国文学 A ※
兼任	講師	青木 利夫 (54) (平成31年4月) 博士(社会学) スペイン語 I スペイン語 I	兼任	講師	青木 利夫 (54) 〈平成31年4月〉 博士(社会学) スペイン語 I スペイン語 I
兼任	講師	安部 貴彦 (58) 〈平成31年4月〉 準学士 禅(ZEN)で元気なこころとからだを	兼任	講師	安部 貴彦 (58) 〈平成31年4月〉 準学士 禅(ZEN)で元気なこころとからだを
		つくろう 池松 由紀 (44) (令和2年4月) 準学士			つくろう 池松 由紀 (44) (今和2年4月) 準学士
兼任	講師	キャリアスキルズ [兼任	講師	キャリアスキルズ I

# /T .			* 7	1	1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	石田 知美 (45) 〈令和2年4月〉 学士(文学)	兼任	講師	石田 知美 (45) 〈令和2年4月〉 学士(文学)
		資産運用実務 I 資産運用実務 I			資産運用実務 I 資産運用実務 Ⅱ
兼任	講師	伊豆田 功 (52) 〈平成31年4月〉 経済学士 ビジネス・シミュレーション・	兼任	講師	伊豆田 功 (52) 〈平成31年4月〉 経済学士 ビジネス・シミュレーション・ゲー
		ゲーム			4
兼任	講師	岩國 智子 (45) 〈平成31年4月〉 修士(文学) 必修英語BI	兼任	講師	岩國 智子 (45) 〈平成31年4月〉 修士(文学) 必修英語BI
		必修英語BI 英語表現・基礎徹底I 英語表現・基礎徹底I David Williams			必修英語BI 英語表現·基礎徹底I 英語表現·基礎徹底I David Williams
兼任	講師	(45) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Arts, Bachelor of Science(カナダ)	兼任	講師	(45) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Arts, Bachelor of Science(カナダ) 必修英語 B I
		必修英語BI 必修英語BI 磨井 祥夫			必修英語BI 基礎英会話I 基礎英会話I 磨井 祥夫
兼任	講師	(68) 〈令和2年4月〉 教育学修士	兼任	講師	(68) 〈令和2年4月〉 教育学修士
		スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学実験			スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学実験
兼任	講師	大多 正人 (56) 〈令和2年4月〉 文学士	兼任	講師	大多 正人 (56) 〈令和2年4月〉 文学士
		キャリアスキルズⅡ			キャリアスキルズⅡ
兼任	講師	大段 淳義 (42) 〈令和2年4月〉 学士(経済学)	兼任	講師	大段 淳義 (42) 〈令和2年4月〉 学士(経済学)
		スポーツトレーナー実習			スポーツトレーナー実習
兼任	講師	岡田 高嘉 (41) (平成31年4月) 博士(経済学)	兼任	講師	岡田 高嘉 (41) 〈平成31年4月〉 博士(経済学)
		世界の憲法			世界の憲法 荻野 覚
			兼任	計師	(F) (S) (F) (S) (P) (R) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F
		落谷 淑江 (50)			落谷 淑江
兼任	講師	〈平成31年4月〉 文学士 情報処理入門 I 情報処理入門 I	兼任	講師	(50) 〈平成31年4月〉 文学士 情報処理入門 I 情報処理入門 I
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1有報処理人门 II
兼任	講師	修士(経済学)※ 社会人基礎学力基礎	兼任	講師	修士(経済学)※ 社会人基礎学力基礎
		金原 光広 (56) 〈平成31年4月〉 社会科学士			金原 光広 (56) 〈平成31年4月〉 社会科学士
兼任	講師	任 芸科学士 ビジネス・シミュレーション・ ゲーム	兼任	講師	ゼ
		家村(宮岸) 伸子 (50) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)	٠ــ		家村(宮岸) 伸子 (50) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)
兼任	講師	日本語 (基礎 C) 日本語 (基礎 D) 日本語 (発展 A) ビジネス日本語 A	兼任	講師	日本語(基礎 C) 日本語(基礎 D) 日本語(発展 A) ビジネス日本語 A
兼任	講師	河口 忠史 (57) 〈平成31年4月〉 工学士	兼任	講師	河口 忠史 (57) 〈平成31年4月〉 工学士
an it	217 120	不動産実務法務 I 不動産実務法務 I 不動産実務法務 II	AK IL	277301	不動産実務法務 I 不動産実務法務 I 不動産実務法務 II
兼任	講師	河野 弥生 (53) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※	兼任	講師	河野 弥生 (53) 〈平成31年4月〉 修士(学術)※
		日本の政治			日本の政治
兼任	講師	河本 雅志 (45) 〈平成31年4月〉 博士(マネジメント)	兼任	講師	河本 雅志 (45) 〈平成31年4月〉 博士(マネジメント)
		初級簿記I			初級簿記I

東方 .		ī	東行.		1
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名	兼任	講師	担当授業科目名 金 炫勇 (45) 〈平成31年4月〉 博士(教育学)
兼任	講師	韓国語 I 韓国語 I 木村 亮子 (49) (平成31年4月) 学士(心理学)	兼任	講師	韓国語 I 韓国語 I 木村 亮子 (49) 〈平成31年4月〉 学士(心理学)
		情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 I 木村 亮平			情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 I 木村 亮平
兼任	講師	(39) 〈平成31年4月〉 学士(経済学) プロスポーツによる広島活性化講 座	兼任	講師	(39) 〈平成31年4月〉 学士(経済学) プロスポーツによる広島活性化講座
兼任	講師	久保田 浩二 (62) 〈平成31年4月〉 工学士 ビジネス・シミュレーション・	兼任	講師	久保田 浩二 (62) 〈平成31年4月〉 工学士 ビジネス・シミュレーション・ゲー
兼任	講師	ゲーム 倉橋 孝博 (48) (平成31年4月) 学士(教育学)	兼任	講師	点 倉橋 孝博 (48) 〈平成31年4月〉 学士(教育学)
		ライフプラン(人生設計)でやる気づくり 坂水 貴司 (29)			ライフプラン(人生設計)でやる気づくり 坂水 貴司 (29)
兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(学術) 日本語文章表現	兼任	講師	〈平成31年4月〉 博士(学術) 日本語文章表現
兼任	講師	坂本 小百合 (51) 〈平成31年4月〉 教育学士 情報処理入門 I 情報処理入門 I	兼任	講師	坂本 小百合 (51) 〈平成31年4月〉 教育学士 情報処理入門 I 情報処理入門 I
兼任	講師	坂本 聖子 (59) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※ 必修英語B I	兼任	講師	坂本 聖子 (59) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※ 必修英語BI
兼任	講師	必修英語BI 坂本 はるえ (45) 〈平成31年4月〉 修士(文学)	兼任	濃師	必修英語BI 坂本 はるえ (45) 〈平成31年4月〉 修士(文学)
N. II.	ury sep	日本語 B※ 日本語 (発展 C) ビジネス日本語 B	28.12	U1751	日本語 B ※ 日本語 (発展 C) ビジネス日本語 B
兼任	講師	佐藤 道雄 (55) 〈平成31年4月〉 文学修士 日本語 A ※ 日本語 B ※	兼任	講師	佐藤 道雄 (55) 《平成31年4月》 文学修士 日本語 A ※ 日本語 B ※
兼任	講師	塩川 満久 (55) 〈令和4年4月〉 教育学修士※	兼任	講師	塩川 満久 (55) 〈令和4年4月〉 教育学修士※
		スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学実験 志質 誠治 (63) 〈平成31年4月〉			スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学実験 志賀 誠治 (63) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	教育学士 興動館プロジェクトとコミュニケーション	兼任	講師	教育学士 興動館プロジェクトとコミュニケー ション
兼任	講師	周 躩 (29) 〈平成31年4月〉 修士(文学) 資格英語III			
\vdash		页俗英語IV	-		砂橋 異義 (61)
			兼任	計解	〈令和2年4月〉 高等学校 レクリエーションスポーツ実置 I (ゲーム)
兼任	講師	関口 昌和 (51) 〈令和2年4月〉 体育学士	兼任	講師	関口 昌和 (51) (令和2年4月) 体育学士
	•	コミュニティビジネス論※ 地域スポーツ貢献演習		講師	コミュニティビジネス論※ 地域スポーツ貢献演習
兼任	講師	先坊 幸子 (44) (平成31年4月) 博士(文学) 文章表現油習・標準			
Ш		文章表現演習・標準	I L		

専任・		ı	専任・		T
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	Frank Thornton (58) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Behavioral Science(7メリカ)	兼任	講師	Frank Thornton (58) 〈平成31年4月〉 Bachelor of Behavioral Science(7メリカト)
		スポーツで学ぶ共生力			スポーツで学ぶ共生力
兼任	講師	田尾 芳子 (60) 〈平成31年4月〉 修士(商学),修士(法学)			
		初級簿記 I			
兼任	講師	竹本 伸 (64) 〈平成31年4月〉 文学士	兼任	講師	竹本 伸 (64) 〈平成31年4月〉 文学士
		日本の地理世界の地理Ⅰ世界の地理Ⅱ			日本の地理 世界の地理 I 世界の地理 I
兼任	講師	竹本 真希子 (47) 〈平成31年4月〉 Dr. rer. pol.(Doctor rerum politicarum)(ドイツ)	兼任	講師	竹本 真希子 (47) 〈平成31年4月〉 Dr. rer. pol.(Doctor rerum politicarum)(ドイワ)
		世界の思想と現代社会Ⅱ			世界の思想と現代社会Ⅱ
兼任	講師	田中 健 (54) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	田中 健 (54) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		生命倫理			生命倫理
			兼任	#	田中 美帆 (26) 〈平成31年4月〉 修士(学術)
					日本語文章表現
兼任	講師	棚橋 久美子 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※	兼任	講師	棚橋 久美子 (61) 〈平成31年4月〉 文学修士※
		日本の歴史Ⅲ			日本の歴史Ⅲ
		土山 ゆかり (52) 〈平成31年4月〉 経済学士			土山 ゆかり (52) 〈平成31年4月〉 経済学士
兼任	講師	情報処理入門 I 情報処理入門 I I T戦略とマネージメント 情報化技術	兼任	講師	情報処理入門 I 情報処理入門 I I T 戦略とマネージメント 情報化技術
兼任	講師	常山 慶三 (55) 〈令和2年4月〉 経済学士	兼任	講師	常山 慶三 (55) 〈令和2年4月〉 経済学士
		資産運用実務 I 資産運用実務 Ⅱ			資産運用実務 I 資産運用実務 Ⅱ
		土居 智典 (46) 〈平成31年4月〉			土居 智典 (46) 〈平成31年4月〉
兼任	講師	博士(文学) 世界の思想と現代社会Ⅲ	兼任	講師	博士(文学) 世界の思想と現代社会Ⅲ
		豐島 桂子 (64)			豊島 桂子 (64)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 Master of Arts(7がか) 英語理解・基礎徹底 I	兼任	講師	〈令和2年4月〉 Master of Arts(アメリカ) 英語理解・基礎徹底 I
		英語理解·基礎徹底I 中谷 文代			英語理解・基礎徹底Ⅱ 中谷 文代
兼任	講師	(52) 〈平成31年4月〉	兼任	講師	(52) 〈平成31年4月〉 準学士
		情報処理の基礎I 情報処理の基礎II 情報処理の基礎IV			情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 II 情報処理の基礎IV
兼任	講師	仲村 正彦 (60) 〈平成31年4月〉 農学士	兼任	講師	仲村 正彦 (60) 〈平成31年4月〉 農学士
		森の社会貢献実践			森の社会貢献実践
兼任	講師	中元 さおり (43) 〈平成31年4月〉 博士(文学)	兼任	講師	中元 さおり (43) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		日本語文章表現 文章表現演習・標準			日本語文章表現 文章表現演習・標準
兼任	講師	中山(佐藤) 真美 (51) (令和3年4月) 学士(文学)	兼任	講師	中山(佐藤) 真美 (51) 〈令和3年4月〉 学士(文学)
		教職教養 思考力開発			教職教養 思考力開発
兼任	講師	西本 純子 (60) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※ Master of Arts(イギリス)	兼任	講師	西本 純子 (60) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※ Master of Arts(イギリス)
兼仕	6得5印	英語理解 - 基礎徹底 I 英語理解 - 基礎徹底 I 英語理解 - 標準 I 英語理解 - 標準 I	水 性	- 再即	英語理解 - 基礎徹底 I 英語理解 - 基礎徹底 I 英語理解 - 標準 I 英語理解 - 標準 I
					<u> </u>

W 77			TW PC		
専任・ 兼担・ 兼日の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	野本 敏生 (515) (平成315年4月) 修士(法学)※ 環境法	兼任	講師	野本 敏生 (55) (平成31年4月〉 修士(法学)※
兼任	講師	橋本 弘 (37) 〈平成31年4月〉 学士(商学)	兼任	講師	橋本 弘 (37) 〈平成31年4月〉 学士(商学)
711	277	簿記論 I 簿記論 I 財務諸表論 I 財務諸表論 I			簿記論 I 簿記論 I 財務諸表論 I 財務諸表論 I
兼任	講師	波多間 純子 (52) 〈令和2年4月〉 文学士	兼任	講師	波多間 純子 (52) 〈令和2年4月〉 文学士
		資産運用実務 I 資産運用実務 II			資産運用実務 I 資産運用実務 II
兼任	講師	原(村上) 妃斗美 (37) 〈令和3年4月〉 修士(教育学)	兼任	講師	原(村上) 妃斗美 (37) 〈令和3年4月〉 修士(教育学)
		スポーツ心理学			スポーツ心理学
兼任	講師	原田 浩幸 (58) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	原田 浩幸 (58) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		自然科学C			自然科学C
兼任	講師	平野 貴也 (50) (今和2年4月〉 修士(体育学)※	兼任	講師	平野 貴也 (50) (今和2年4月〉 修士(体育学)※
		レクリエーションスポーツ実習Ⅲ (スノー)			レクリエーションスポーツ実習II (スノー)
兼任	講師	福場 良之 (65) 〈令和3年4月〉 医学博士	兼任	講師	福場 良之 (65) (令和3年4月) 医学博士
		スポーツ医学			スポーツ医学
兼任	講師	藤井 稔久 (38) 〈平成31年4月〉 修士(法学)	兼任	講師	藤井 稔久 (38) 〈平成31年4月〉 修士(法学)
		初級簿記I			初級簿記Ⅰ
兼任	講師	藤川 晴基 (62) 〈平成31年4月〉 経済学修士	兼任	講師	藤川 晴基 (62) 〈平成31年4月〉 経済学修士
		初級簿記 I 藤田 雅範	-		初級簿記 I 藤田 雅範
兼任	講師	(68) 〈令和3年4月〉 高等学校	兼任	講師	(68) 〈令和3年4月〉 高等学校
		救急処置法 古田 ユミ	-		教急処置法 古田 ユミ
兼任	講師	(47) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※ 資格英語 I	兼任	講師	日田 ユミ (47) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※
		資格英語Ⅱ			資格英語Ⅱ
兼任	講師	古本 勝則 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼任	講師	古本 勝則 (64) 〈平成31年4月〉 文学修士
		必修英語AI 必修英語AⅡ			必修英語 A II
**	講師	Matthew Thomas Vaughan (40) 〈平成31年4月〉 Bachelor of International Studies (オーストラリア)	*	濃師	Matthew Thomas Vaughan (40) 〈平成31年4月〉 Bachelor of International Studies (オーストラリア)
兼任	645 당시	必修英語BI 必修英語BI 英語表現・標準I 英語表現・標準I	兼任	6등 위기	必修英語BI 必修英語BI 英語表現・標準I 英語表現・標準I
兼任	講師	細川 志織 (44) 〈平成31年4月〉 学士(外国研究)	兼任	講師	細川 志織 (44) 〈平成31年4月〉 学士(外国研究)
		興動館プロジェクトと企画カ			興動館プロジェクトと企画力
兼任	講師	堀江 清二 (46) 〈平成31年4月〉 学士(文学)	兼任	講師	堀江 清二 (46) 〈平成31年4月〉 学士(文学)
L		みんなで教材を創ろう			みんなで教材を創ろう
兼任	講師	本間 啓朗 (28) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)			
		日本語文章表現			
			兼任	跳師	久保 博雅 (27) 〈平成31年4月〉 修士(学術)
					日本語文章表現
					

専任・		T	専任・	1	r
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	芽世・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	松浦 久幸 (49) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)	兼任	講師	松浦 久幸 (49) 〈平成31年4月〉 学士(経済学)
		戦略MG(マネジメントゲーム)			戦略MG(マネジメントゲーム)
兼任	講師	三木 島彦 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士	兼任	講師	三木 島彦 (60) 〈平成31年4月〉 文学修士
		フランス語エフランス語エ			フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	宮本 英征 (46) 〈平成31年4月〉 博士(教育学) 世界の歴史 I			
		世界の歴史Ⅱ			
		門田 卓史 (44) 〈令和2年4月〉 学士(法学)			門田 卓史 (44) 〈令和2年4月〉 学士(法学)
兼任	講師	レクリエーションスポーツ実習 II (キャンプ) チームビルディング チームマネジメント	兼任	講師	レクリエーションスポーツ実習Ⅱ (キャンプ) チームビルディング チームマネジメント
兼任	講師	矢野 宗宏 (62) 〈平成31年4月〉 法学士	兼任	講師	矢野 宗宏 (62) 〈平成31年4月〉 法学士
		「笑い」のパワー・生きるカ			「笑い」のパワー・生きるカ
兼任	講師	山岡(遠藤) 雅子 (46) 〈令和3年4月〉 博士(学術)	兼任	講師	山岡(遠藤) 雅子 (46) 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		スポーツ栄養学			スポーツ栄養学
兼任	講師	山崎 初枝 (64) 〈平成31年4月〉 修士(人間文化学)	兼任	講師	山崎 初枝 (64) 〈平成31年4月〉 修士(人間文化学)
		健康科学			健康科学
		山中 康子 (55) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)			山中 康子 (55) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
兼任	講師	日本語 A※ 日本語 (基礎 A) 日本語 (基礎 E) 日本語 (基酸 B) ビジネス日本語 C	兼任	講師	日本語 A ※ 日本語 (基礎 A) 日本語 (基礎 E) 日本語 (発展 B) ビジネス日本語 C
		Yoshioka Connie (43) 〈平成31年4月〉 Master of Arts(TESOL) (イギリス)			
兼任	講師	英語表現・標準 I 英語表現・標準 I 基礎英会話 I 基礎英会話 I			
兼任	講師	吉川 浩司 (59) 〈令和2年4月〉 Bachelor of Arts(アメリカ)	兼任	講師	吉川 浩司 (59) 〈令和2年4月〉 Bachelor of Arts(アメリカ)
		スポーツ英語			スポーツ英語
兼任	講師	吉田 舞 (41) 〈平成31年4月〉 准学士	兼任	講師	吉田 舞 (41) 〈平成31年4月〉 准学士
		情報処理の基礎 II 情報処理の基礎 II			情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 I 情報処理の基礎 II
兼任	講師	吉村 千里 (43) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※	兼任	講師	吉村 千里 (43) 〈平成31年4月〉 修士(文学)※
		必修英語BI 必修英語BI			必修英語BI 必修英語BI
兼任	講師	米澤 和洋 (55) 〈令和2年4月〉 修士(教育学)	兼任	講師	米澤 和洋 (55) (令和2年4月) 修士(教育学)
		スポーツトレーナー演習 羅 穎			スポーツトレーナー演習 羅 穎
兼任	講師	(53) 〈平成31年4月〉 修士(学術)	兼任	講師	(53) 〈平成31年4月〉 修士(学術)
		中国語I中国語I			中国語工中国語工

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時)には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可能又は周出時から変更となっている重新に大の表明としてください。**・ 各棚の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の選年齢を記入してください。
 ・ 再任 (専門職大学等は第、実等、実 (研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- (注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員数【大学】

	Ī	役置時の計画	E			現在	(報告時) 0	D状況	
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	5	0	0	11	7	5	0	0	12
(9)	(5)	(0)	(0)	(14)					
Ĩ	見在(報告	寺)の完成4	∓度時の状況	兄	3	現在 (報告問	寺)の完成年	₣度時の計画	ΕĪ.
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)
4	5	0	0	9	4	6	0	0	10
[△2]	[]	[]	[]	[△2]	[△2]	[1]	[]	[]	[∆1]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受審済みであり、
 - 完成**年度までに就任する教員教を加えた教を配入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

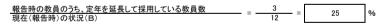
	年齡構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後日	補充状況	兄	京	优任辞退	(未	:就任) の理	由	
				必修	大学入門ゼミ		1							
				必修	興動人入門ゼ	=	1							
				必修	プレゼミ		1							
				必修	演習 I		1							
				必修	演習Ⅱ		1		H01 0 01 /-	1th -11-24 .	. #=1	U	14 'F	
1	教授	永田 靖	H31.3	選択	インターンシップ I (国	内)	1		(元)	他人子?	▶単広に	出のため就任	群返	
				選択	経営実践		2		(30)					
				必修	スポーツ経営入	門	1							
				選択	スポーツファイナン	ス論	2							
				選択	スポーツビジネス演	習I	1							
				選択	スポーツビジネス演	習Ⅱ	1							
				必修	大学入門ゼミ		1							
				必修	興動人入門ゼ	m	1							
				必修	プレゼミ		1							
				必修	演習 I		1							
2	教授	山本 公平	H31. 3	必修	演習Ⅱ		1			他大学へ	ヾ転と	出のため就任	辞退	
	秋1又	шж дт	1101.0	選択	「笑い」のパワー・生き	る力	2		(元)					
				必修	経営入門		2							
				選択	経営学		2							
				選択	組織マネジメン	ト論	2							
				選択	経営戦略論		2							
		合計	(D)					往	长任補充状況	の集計	(E))		
京	尤任を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	(a) + (b) + (c)	①の合語	十数 (a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	数(3)
			必	修	12 科目	必修	11	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
	_		選	択	9 科目	選択	3	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
	2	人	自	由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			Ī	†	21 科目	計	14	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番	号	職	位	専任教員	氏名	時期	必修・選択・自由の5	担	当予定科目		後任補充状況			辞任等の理由					
合計 (F)								後任補充状況の集計(G)											
	辞任した教員数					担当科目	目数の合計	(a) +	(p) + (c)	(①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
						必	修	0	科目	Į.	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			_			選	択	0	科目	ì	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0		人	自	由	0	科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
						ii a	+	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	担当科目数の台	6科目数の合計 (a) + (b) + (c)			十数 (a)	②の合語	十数(b)	③の合	③の合計数 (c)				
		必修	12	科目	必修	11 科目	必修	1 :	4目 必修	0	科目		
		選択	9	科目	選択	3 科目	選択	6	選択	0	科目		
2	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	自由	0	科目		
		計	21	科目	計	14 科目	計	7	計 計	0	科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) = ___ %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 「該当なし」

番	号雕	哉	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	2科目 後任補充状況				辞任	壬等の	理由		
										_						
	_															
				É	計						後任補充物	犬況の賃	集計			
		辞	任し	ンた教員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	数 (a)		②の合計	十数(b))	③の合計	十数 (c)
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	λ	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 永田靖教授及び山本公平教授の他大学への転出による退職にあたり、当該教員担当科目については、当該教員の専門分野がいずれも経営学 であるため、経営学部経営学科の専任教員で対応している。当該学科のゼミ科目についても、学生に影響がないよう対応している。今後 は、留意事項にも従い若手教員の採用を計画中である。

「学生への周知方法」 時間割表、履修ガイダンス、ガイドブック等により周知を行っている。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
届出時 (30年 4 月)	・つに退教高程切も将するい、職員いのと旨用をといる。というという。というという。というという。というとは、はないのとは、はないのとはのないをでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	留意事項	本学では現在63歳を定年年 学では現在63歳を定年年 がよるが、ではのではのではのではのではのではのではのではるのではではではではではではできます。 ではのではいるではいるではではできます。 では、これができます。 では、これができます。 では、これができます。 は、これができますができますができますができますができますができますができますができます	履行済	別紙①のとおり整備した規程のもと、将来構想に若手 登用もふまえ、教員組織編 制を検討する
			平成40年度までの教員組織編制の将来構想として、別紙②のとおり、学科全体の平均年齢を引き下げていくために、若手教員の採用を着実に進める。	履行中	別紙②のとおり、若手教員 の採用を計画している。

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 スポーツ経営学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注)・1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育・学習支援委員会を設置(平成18年)

委員会の事務組織として教育・学習支援センターを設置(平成18年)

(※関係規程は添付資料①のとおり)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

8月・12月・3月を除いて月1回開催を定例としている。

必要に応じて、学長が出席。各学科・部会等から教員9名、関係事務部門長等5名により構成。

- c 委員会の審議事項等
 - ・FD研修会の実施について
 - ・授業アンケート、学修アンケート等各種アンケートの実施について
 - 授業公開について

その他、入学前教育・初年次教育・学習サポートコーナーの運用など学習支援に関すること。

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・授業アンケート、学習アンケート、卒業生アンケートの実施
 - 授業公開(教員相互の授業参観)の実施
 - · F D 研修会、授業研究会の実施
 - b 実施方法
 - ・授業アンケートは年2回前後期末、学修アンケートは年1回11月、卒業生アンケートは年1回卒業時に、実施要項を委員会に諮り、承認を得た上で、教授会にて報告、実施している。授業アンケート、学修アンケートは学内ポータルサイトを利用してWebにて実施している。全てのアンケートについて、集計、取り纏め後、フィードバックを行っている。
 - ・授業公開(教員相互の授業参観)は前期、後期それぞれ約6週間の授業公開期間を設け教員相互の授業参観を実施。参観者は、参観後参観した授業に対するコメントの返信やアドバイスなど授業改善に努めている。全教員が原則、全ての授業を公開としている。
 - · F D 研修会、授業研究会の実施
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ·授業改善研修FD 「卒業論文指導」
 - ・授業改善研修FD 「明徳館の活用法」
 - ・授業改善研修FD 「成績評価について」
 - ・報告SD 「大学生基礎カレポート結果報告」
 - ・学生対応研修SD 「学生対応を考える」
 - ・授業改善研修FD 「授業公開・参観と授業改善研究会」
 - ・学生と教員による授業研究会FD「授業評価報告と学生FDプロジェクトと参加教員との意見交換」
 - ・授業改善研修FD 「シラバスの書き方と授業運営」 ~効果的なシラバス~
 - ・授業改善研修FD 「アクティブ・ラーニングの推進」④~アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の評価基準 (ルーブリック) について~
 - ・授業改善研修FD 「ICTの活用法」③ ~学内教学システムの利用と授業改善~

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

IRデータを活用しての研修会、授業参観を利用しての授業研究会、テーマごとに設定された研修会など各種研修会を通して、工夫された授業方法を共有できること、ディスカッション、ワークショップなどを通して教員相互で研鑚を行うことによって、よりよい授業改善へとつなげていく。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

実施の有無:有

実施時期:前期、後期それぞれの学期末に、開講されているすべての科目について、学生による授業アンケートを Webにより実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート実施後は集計結果を各教員へ返却、教員は今後の授業改善に役立てるとともに、アンケート結果に対する感想・意見、今後の取組についてのコメントを提出し学生へフィードバックを行う。なお、集計結果については、ホームページ並びに冊子にして学内で公開している。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

スポーツ経営学科では、スポーツビジネスに関する学際的な教育研究を行い、専門的知識の習得を目指すと共に、論理的な思考力及びスポーツパーソンとしての素養を育むことにより、スポーツと社会の発展に貢献できる実践的な人材を養成する。また、教育においては、スポーツビジネスや地域社会の発展に貢献するために必要な経営学及び体育・スポーツ科学の専門的知識、スポーツにおけるマネジメント能力を身につけさせる。そして、スポーツ関連産業、スポーツ組織団体など、スポーツと関わるあらゆるフィールドに加えて、金融・保険・製造・小売り等の一般企業や公務員など幅広い分野で活躍できる人材の養成を目的としている。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・令和元年7月1日頃に公表予定
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、本学図書館で閲覧可能とする。
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和元年7月1日頃)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・令和4年度に評価機関(財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書(令和元年度)			
a	a ホームページへの公表予定の有無	(有) ·	無)
k	公表有の場合の公表(予定)時期	(令和元年 7月1日)		
k	o 公表無の場合の特段の理由 ()	

(注) · 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。